

平成 23 年度 第 3 回 帯広市産業振興会議次第

日時：平成 24 年 2 月 8 日（水）18:00～

場所：帯広市役所庁舎 10 階第 5B

I. 会長あいさつ

II. 報 告

1. 「フードバレーとかちの施策展開」と「HFC 国際戦略総合特区」について（産業連携室）
2. 「とかちむら営業実績報告」について（観光課）
3. 帯広市HPについて（工業労政課）

III. 協 議

1. 産業振興ビジョン事業シートと今後の議論の進め方について

IV. その他

V. 閉 会

■配布資料

- 資料 1. フードバレーとかちの施策展開～戦略プラン～（素案）の概要
- 資料 2. フードバレーとかちの施策展開～戦略プラン～（素案）
- 資料 3. H F C 国際戦略総合特区について
- 資料 4. とかちむら営業実績報告について
- 資料 5. 帯広市 HP の改定について
- 資料 6. ビジョン事業シート&評価表
- 資料 7. 第 2 回未調整議事録

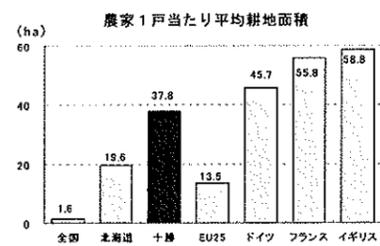
参考資料 1. 帯広市産業振興会議のスケジュール

参考資料 2. 河西委員からの意見

□ 地域産業の現状

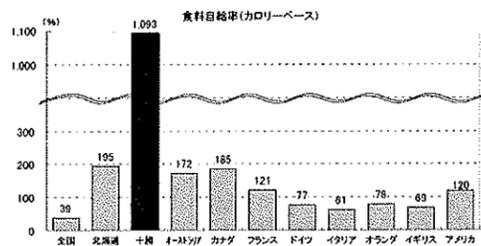
(1) 十勝の農林水産業の現状

- 約26万haの耕地面積
- 年間2,000時間を超える日照時間
- EU農業水準の1戸あたり平均耕地面積
- 生産性の高い土地利用型農業
- 十勝管内農業産出額は約2,500億円
- 約1,100%の圧倒的な食料自給率
- 総面積の約64%を占める森林面積
- 平成21年度漁獲高は約67億円



(2) 食・農林漁業関連産業の現状

- 製造品出荷額等に占める食料品製造業の割合は66.7%
- 年間商品販売額の北海道内シェアが漸増
- 観光客入込数の北海道内シェアは回復傾向
- 道東自動車道やダブルトラック化などの活用
- 成長分野である環境・健康・福祉・医療等の振興



(3) 試験研究機関・研究開発等の現状

- 大学や国立・道立・民間研究機関、企業等の集積
- 中核的産業支援機構による地域産業振興の支援
- 研究開発や多様な主体の連携・協働による取組

□ 地域産業政策の必要性

- 自らの意思と責任に基づき、地域産業の振興を通して発展基盤を強化する必要がある
- 経済のグローバル化の進展、世界的な食料需給環境の変化、食の安全・安心に対する関心の高まりにより、地球規模での環境問題等に対応する必要がある
- 地域特性や優位性等の強みを活かし、農業・関連産業を中心に、産業間連携強化の必要がある
- 付加価値の高い商品開発や、起業化等による域外市場産業の育成等を通して、産業振興や雇用の拡大をはかる必要がある
- 十勝全体の産業に関する共通ビジョンが作成されていないことなどから、効果的な成果につながりにくい状況にある
- 十勝全体がスクラムを組み共通の戦略構築と合意形成をはかり、事業を展開する必要がある

□ 「フードバレーとかち」の展開方策(3つの柱・19の施策)

農林漁業を成長産業にする	食の価値を創出する	十勝の魅力を売り込む
生産振興	製品・研究開発	十勝の魅力の発信
生産基盤整備	創業・企業立地	食・農林水産物情報の発信
担い手育成	経営基盤強化	観光振興
試験研究機関との連携	人材育成	物産振興
農林水産物の安全・安心の確立	ブランド化推進	流通・販路拡大
	連携促進	食育の推進
	関連産業群の集積	地産地消の推進

□ 「フードバレーとかち」の基本方向

- 食や農業に関する産業集積は、比較優位性があり競争力のある分野
- 農林漁業と生産・加工・販売等の連携による十勝型フードシステム形成を推進
- 十勝の経済成長戦略として推進しアジアの食と農林漁業の集積拠点をを目指す
- フードバレーとかちの旗印のもとに、自主・自立の地域経済の確立を目指す

□ 推進体制

- 十勝管内の41関係団体等で構成する「フードバレーとかち推進協議会」を設立
- とかち財団と連携し、生産者・企業・団体等の総合窓口として、プラットフォーム機能、コーディネーター機能を発揮
- 各町村は生産者や企業等の相談や、協議会構成団体と連携して対応
- 協議会の構成団体・機関等が連携し、食と農林漁業に関する取組を進めるための環境づくりを推進



フードバレーとかち

1 フードバレーとかちの施策展開(戦略プラン)について

- 推進プランの施策の柱立てに基づき、施策の取り組みの方向性を示すもの
- 定住自立圏共生ビジョンに盛り込まれた関連事業や市町村が連携した取り組みを展開
- 協議会のプラットフォーム機能を活用し、生産者や企業等との多様な結びつきにより推進

2 施策の取り組みの方向性

農林漁業を成長産業にする

戦略1 生産振興 ～食料生産力を伸ばす～

- 環境負荷軽減に配慮した環境保全型農業の取り組み
- 地域の実情に即した経営多角化
- 自給飼料生産の拡大と品質向上
- 関係機関と連携した鳥獣害防止対策
- 漁業特性等に合わせた稚魚等の放流、漁場の育成
- 森林の整備・保全等と特用林産物の生産振興

戦略2 生産基盤整備 ～活力ある食生産の基盤をつくる～

- 災害に強い農地整備、農業農村整備や治水等の取り組み
- 生産基盤の適切な維持管理と生産性や収益性の確保
- 品種特性等に応じた農産物集出荷施設等の整備促進
- 水産業活動拠点となる水産基盤等の整備
- 森林資源の維持造成

戦略3 担い手育成 ～未来を担う生産者を育てる～

- 生産技術や経営管理手法等の研修実施等担い手育成
- 農林漁業者、就業希望者への情報提供等新規就労・参入者支援
- 農林漁業と商工業の担い手の連携促進

戦略4 試験研究機関との連携 ～知的機関とスクラムを組む～

- IT・AI技術等、先駆的農業の共同研究や連携強化
- 開発中の新品種・技術の研究開発等の関係者への迅速な提供
- 産学官連携の取り組みや開発製品情報等を消費者などへ提供

戦略5 農林水産物の安全・安心の確立 ～食の安全安心を確保する～

- 適性施肥や耕畜連携、有機質資材活用等によるクリーン農業の促進
- エコファーマー認定制度や北のクリーン農産物表示制度等の認定や登録の促進
- 家畜伝染病防疫対策や畜舎環境の配慮等の家畜衛生管理の充実・強化
- GAPやHACCP等を導入した管理促進やトレーサビリティの促進

食の価値を創出する

戦略6 製品・研究開発 ～とかちの食の価値を探り出す～

- 研究成果や地域資源等を活用した新製品・技術等の開発支援
- 研究開発機能等を持つ(仮称)食・農・医連携センターの整備
- 企業間連携機会提供等による新製品・技術開発促進

戦略7 創業・企業立地 ～とかちの価値を活かして起業する～

- 創業・起業家に対する支援体制の充実
- 創業・起業環境の整備
- 首都圏等への企業誘致PR活動
- 産地立地型企業等誘致や地場企業規模拡大等の促進

戦略8 経営基盤強化 ～とかちの企業力を高める～

- 支援制度等の情報提供、事業承継・事業再生の支援
- 生産者や企業等の資金繰り制度の充実・周知
- 企業等の新分野進出支援や経営多角化等の支援

戦略9 人材育成 ～とかちの食の価値を活かす人を育てる～

- 創業・起業、経営多角化等を担う人材育成
- 製品開発技術講習の開催や製品開発スキルの向上促進
- 農商工連携や6次産業化に資する人材育成
- 経営力や生産性向上等の技能を持つ人材の育成・確保

戦略10 ブランド化推進 ～とかちのブランド力を活かす～

- 十勝ブランド認証機構支援、地場産品ブランド化促進
- 企業や団体等の知的財産活動の支援
- 地域ブランドに関する取り組みの情報共有・収集

戦略11 連携促進 ～プレイヤーの結びつきを深める～

- 試験研究成果を活用する団体・企業等との連携促進
- 生産者・団体・企業等との農商工連携機会の提供
- 地域内外の関係団体・企業間の連携機会の提供

戦略12 関連産業群の集積 ～とかちの価値を活かす産業を集積する～

- 地域資源、機械・金属、環境・リサイクル等の関連産業立地支援
- 自然エネルギーの研究開発や産業化支援
- 新しい技術を活用した食関連施設の立地促進

十勝の魅力を売り込む

戦略13 十勝の魅力の発信 ～とかちの価値を発信する～

- 各種メディアを活用した国内外へ十勝の魅力発信
- 国内外での観光客誘致プロモーション活動
- 海外メディア招聘による十勝の情報発信
- 十勝管内の祭りやイベント情報を一体的に発信

戦略14 食・農林水産物情報の発信 ～とかちの食を広げる～

- 食関連イベントと連携した農林水産物等の情報提供
- 様々なメディアを活用した食や農林漁業関連情報の発信
- ビジネスマッチングによる商品情報提供や販路拡大

戦略15 観光振興 ～とかちに人を呼び込む～

- 地域食材を活かした観光の振興
- 産業と観光が結びついた産業観光促進
- 観光案内所や鉄道駅、空港、道の駅等を活用した情報提供
- 広域観光や滞在型・体験型観光の促進
- 観光関連団体と連携したイベントや観光PRの促進

戦略16 物産振興 ～とかちのモノを売り込む～

- 農林水産物・加工品等のPR促進
- 商談会開催や展示会等出展支援による物産振興
- 物産展開催等による農林水産物や加工品の販売促進

戦略17 流通・販路拡大 ～とかちの食を国内外に広げる～

- バイヤーとの商談機会提供等による販路開拓
- 展示会・物産展、ビジネスマッチング等への出展支援
- 農林水産物や食品等の輸出拡大促進
- 十勝管内・他地域との流通網の整備促進
- 港湾等の整備促進

戦略18 食育の推進 ～とかちの食生活・文化を育む～

- 地元食材の普及、食の安全・安心に対する理解促進
- 農林水産業・食産業・食文化等への理解など食育の取り組みを推進

戦略19 地産地消の推進 ～とかちでつくり、とかちで食べる～

- 地産地消に関する情報の入手環境整備
- 食関連イベントとの連携による地産地消推進
- 十勝が連携した地産地消の取組

3 関係団体・機関の取り組み

農林漁業団体の主な取り組み

- 十勝地区農業協同組合長会
 - JAネットワーク十勝の設置
 - 生産履歴・GAPの取り組み
 - 生乳衛生物質迅速検査
 - 和牛育成技術の統一マニュアル
 - 十勝和牛商標登録によるブランド化など
- 十勝管内農業協同組合長会及び十勝地区森林組合振興会
 - オールとかち魅力発信連絡協議会やとかち産業団体協議会への参加など

金融機関の主な取り組み

- 帯広銀行協会及び日本政策金融公庫帯広支店
 - 融資・ビジネスマッチング・販路拡大など
- 帯広信用金庫
 - フードビジネスネットバンク会議等情報提供
 - 大学と共同研究による製品技術開発推進
 - おびしん地域経営塾による経営者育成
 - 専門家による個別相談など

商工業団体の主な取り組み

- 帯広商工会議所
 - とかち産業団体協議会の設立
 - Myとかち推進運動の展開など
- 北海道中小企業家同友会とかち支部
 - 十勝農商工連携部会等の設置
 - 農商工連携人材育成セミナーの開催
 - 海外販路開拓事業
 - 高校生職場体験事業など
- 北海道中小企業団体中央会十勝支部
 - オール十勝の活動の普及啓発活動
 - 関係団体との連携強化など
- 十勝管内商工会連合会
 - 地域振興事業の支援
 - 夢Landとかちブランド認証など
- 十勝観光連盟、帯広物産協会
 - オール十勝体制での観光や物産振興
 - オール十勝での魅力発信の強化など

大学・試験研究機関の主な取り組み

- 帯広畜産大学
 - JICA研究者等の受け入れ
 - 国際的学術交流協定等
 - 地域連携推進センターによる受託研究や共同研究
 - 77がけ 人材育成事業の運営など
- 十勝圏振興機構(とかち財団)
 - 試験研究機関や企業等と連携促進
 - 地域イノベーション戦略支援プログラム推進事業など
- 北海道農業研究センター
 - 業務用野菜の導入を核とした大規模畑作生産システム確立
 - IT等利用による精密・低コスト大規模農業の技術開発など
- 家畜改良センター十勝牧場
 - 肉用牛育種改良、乳用牛優良種雄牛育成・供給
 - めん羊繁殖技術開発、飼料作物種子増殖など
- 十勝農業試験場
 - 大豆等の品種改良、作物栽培、病害虫の試験研究
 - 土壌肥料、経営、農業機械等の研究など
- 畜産試験場
 - 肉牛等の育種改良
 - 家畜疾病予防、受精卵移植の研究
 - 飼料作物栽培及びふん尿処理等の研究など

行政機関の主な取り組み

- 帯広開発建設部
 - 治水、道路、港湾などの整備
 - 農業農村整備、水産基盤整備など
- 十勝総合振興局
 - とかち「農」ブランドパワー10プロジェクト
 - 「食の王国とかち」観光プロジェクト
 - 美しくエコなとかちづくりプロジェクトなど

4 フードバレーとかちの施策の進め方

- 協議会のプラットフォーム・コーディネート機能の発揮
- 協議会の構成メンバーの連携
- 各市町村独自の取り組みの実施
- テーマごとに連携した取り組みの実施
- 国際戦略総合特区などの国の支援制度等の活用

施策の取り組みの方向性

フードバレーとかちの施策展開

～戦略プラン～

(素案)

フードバレーとかち推進協議会

目 次

1	フードバレーとかちの施策展開（戦略プラン）について	2
2	施策の取り組みの方向性	2
	「農林漁業を成長産業にする」	3
	「食の価値を創出する」	10
	「十勝の魅力を売り込む」	18
3	関係団体・機関の取り組み	26
4	フードバレーとかちの施策の進め方	32
5	参考資料	
	(1) 市町村の現状	34
	(2) 関係機関・団体一覧	53

1 フードバレーとかちの施策展開（戦略プラン）について

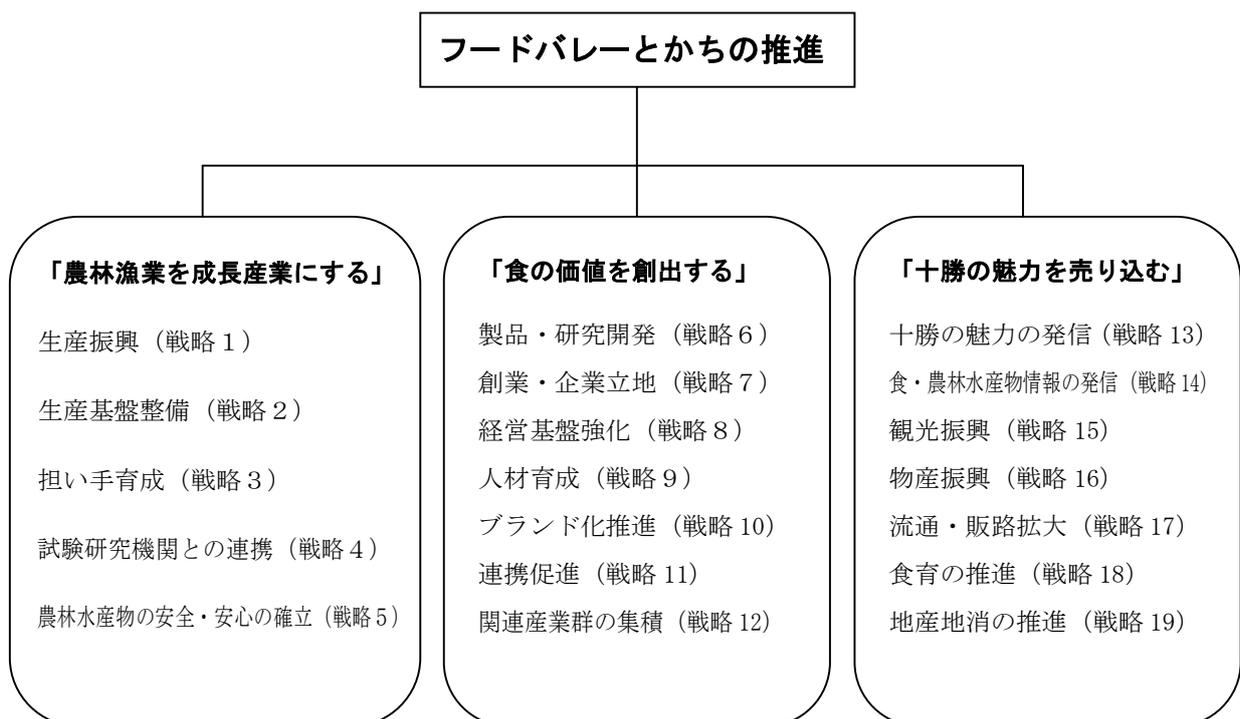
フードバレーとかちの施策展開（戦略プラン）は、フードバレーとかち推進プランの施策の柱立てに基づく施策の取り組みの方向性を示すものであり、経済状況や国等の動向などを踏まえ、十勝一体となってスクラムを組んで進めていきます。

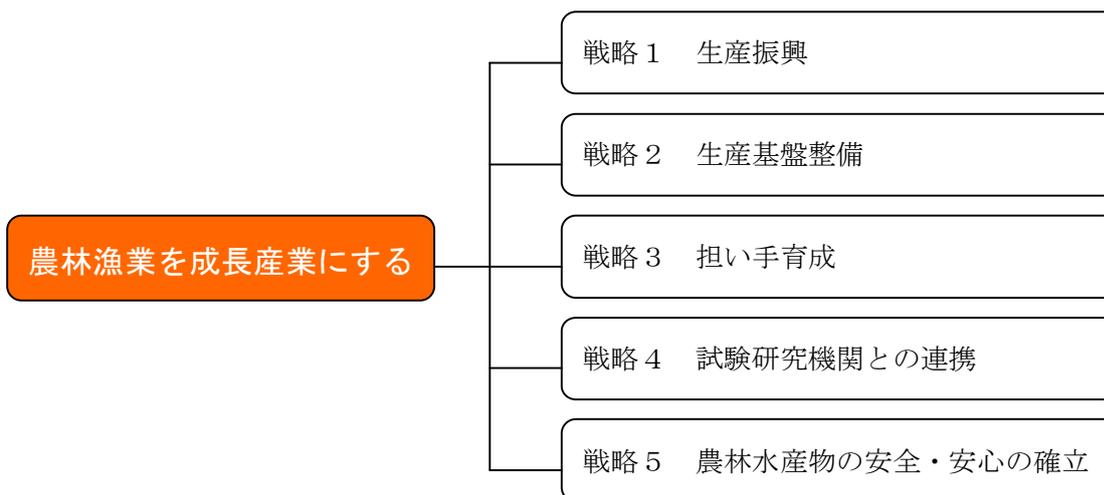
今後、この方向性に沿って、定住自立圏共生ビジョンに盛り込まれた関連事業や市町村が連携した取り組みを展開するとともに、フードバレーとかち推進協議会のプラットフォーム機能を活用し、生産者や企業などと連携しながら、域内・域外との多様な結びつきにより、「フードバレーとかち」を推進していきます。

これにより、十勝の食産業や農林漁業のさらなる発展と、食料自給率の向上などに貢献するとともに、わが国有数の食料基地としての役割や食料の生産・供給を通じて災害時のバックアップ拠点の役割を担うなど、食と農林漁業の集積拠点を目指します。

2 施策の取り組みの方向性

フードバレーとかち推進プランで示した施策の3つの柱立てに基づき、施策ごとの取り組みの方向性を示します。





戦略1 生産振興 ～食料生産力を伸ばす～

【現 状】

十勝の農業は、恵まれた土地資源を活かし、大規模で機械化された生産性の高い農業が展開されており、地域的には中央部では耕種の比率が高く、山麓部や沿海地域では酪農・畜産主体の経営になっています。十勝管内の農業協同組合はもとより、行政機関や農業改良普及センター、農業試験場等が連携しながら生産振興に取り組んでいます。

きのこや山菜などの特用林産物の生産は、生しいたけとふきを中心に行われており、特にふきについては、北海道内の約2割を占め、足寄町の「螺湾（らわん）ブキ」は全国的に知られています。

漁業では、漁獲高の約半分強をさけが占めていますが、シシャモの水揚げは広尾町が日本一になるなど、資源管理を行いながら沿岸漁業を中心とした生産が行われています。

【取組内容】

○家畜排泄物や作物残さなどのバイオマスの利活用や土づくり等を進め、農薬や化学肥料の使用を低減するなど、環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業に

取り組みます。

- 基幹的作物である小麦、てん菜、馬鈴しょ、豆類に加え、大規模畑作経営に適した新たな作目の導入や、多様化する消費者ニーズを踏まえた農畜産物の生産など、地域の実情に即した経営の多角化を進めます。
- 自給飼料生産の拡大と品質向上をはかるため、草地改良や栽培・収穫・調整技術の改善を進めます。
- 鳥獣による農作物被害を防止し、安定的な農業生産を行うため、市町村や関係機関と連携した鳥獣害防止対策に取り組みます。
- 水産資源の確保・増大に向けた栽培漁業を促進するため、漁業関係団体と漁業組合が相互に連携し、漁業資源や漁業の特性に合わせた稚魚等の放流、漁場の育成などを進めます。
- 森林の整備及び保全を進め、森林が有する多面的機能を発揮させるとともに、きのこ・山菜などの特産物の生産を振興します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】			
帯広市	土壌分析・飼料分析促進事業	更別村	農業経営・生産対策推進会議負担金
帯広市	営農技術向上対策事業	更別村	鳥獣害防止総合対策事業
帯広市	飼料自給率向上対策事業	大樹町	家畜衛生対策事業
帯広市	黒毛和牛生産振興事業	大樹町	営農技術向上対策
帯広市	鳥獣害防止総合対策事業	大樹町	鳥獣害防止総合対策事業
帯広市	フードバレーとかち食・農活性化事業	広尾町	鳥獣害防止総合対策事業
帯広市	ニューフロンティア資金	幕別町	鳥獣害防止総合対策事業
帯広市	クリーン農業推進事業	幕別町	ふるさとづくり支援事業
帯広市	バイオマス活用推進事業	幕別町	雌雄判別精液購入助成事業
帯広市	生乳生産安定対策事業	幕別町	優良和牛繁殖雌牛保留対策事業
音更町	鳥獣害防止総合対策事業	幕別町	粗飼料生産基盤向上対策事業
音更町	環境保全型農業直接支援対策事業	池田町	農業団体各種補助金
音更町	野菜苗供給事業	池田町	鳥獣害防止総合対策事業
音更町	公共育成牧場入牧牛検査助成事業	池田町	農業技術研究所運営事業
土幌町	鳥獣害防止総合対策事業	池田町	特産林産推進事業
土幌町	農業振興事業	豊頃町	家畜衛生対策事業
上土幌町	有害鳥獣駆除対策事業	豊頃町	営農技術向上対策事業
鹿追町	畜産振興事業	豊頃町	鳥獣害防止総合対策事業
鹿追町	鳥獣害防止総合対策事業	豊頃町	簡易堆肥盤整備及び堆肥利用補助金
新得町	そば安定収量確保対策事業	本別町	環境保全型農業直接支払事業
新得町	乳成分向上対策事業	本別町	鳥獣被害防止総合対策事業
新得町	新得地鶏生産事業	本別町	農作物被害防止対策事業
新得町	鳥獣害防止総合対策事業	本別町	家畜衛生対策事業
清水町	鳥獣害防止総合対策事業	本別町	酪農ヘルパー事業
清水町	環境保全型農業直接支援対策事業	本別町	生乳生産基盤維持向上・経営安定特別対策事業
芽室町	鳥獣害防止総合対策事業	本別町	黒毛和種資質向上対策優良繁殖雌牛保留促進事業
芽室町	優良馬鈴しょ生産確保対策事業	足寄町	耕畜連携地力増進事業
芽室町	農地・水・環境保全向上対策（営農活動）事業	足寄町	鳥獣害防止総合対策事業
芽室町	環境保全型農業直接支援対策事業	陸別町	陸別町農林推進協議会事業
芽室町	農業振興センター運営事業	陸別町	鳥獣害防止総合対策事業
芽室町	堆肥製造施設運営支援事業	陸別町	有害鳥獣駆除・生息調査事業
中札内村	家畜衛生対策事業	浦幌町	鳥獣害防止総合対策
中札内村	鳥獣害防止総合対策事業	浦幌町	良質粗飼料増産対策事業
		浦幌町	優良肉用繁殖雌牛導入促進事業

【現 状】

安全で良質な農産物を安定的に生産するための基礎となる農業生産基盤整備については、国や北海道、市町村などと生産者が連携し、かんがい排水事業、明渠排水事業、農地再編整備事業、土地改良施設整備事業、治水事業等の事業が行われています。

また、漁業においては、重要港湾である十勝港や漁港の整備のほか、さけ・ますふ化施設やカレイ科マツカワの稚魚の中間育成施設など、水産基盤の整備が行われています。

【取組内容】

- 安全で良質な農林水産物を低コストで安定的に生産できるようにするため、国や北海道の制度を活用しながら、長雨やかんばつ、低温などの災害に強い農地の整備などの農業農村整備や治水などの取り組みを進めます。
- 関係機関や地域が連携し生産基盤の適切な維持管理を進め、生産性や収益性を確保します。
- 農産物の安定的な集出荷体制等の確保をはかるため、品種特性等に対応した農産物集出荷貯蔵施設などの整備を進めます。
- 沿岸資源の維持・増大と安定的な漁業生産・出荷体制の確保をはかるため、水産業の活動の拠点となる漁港や関連施設などの水産基盤等の整備を進めます。
- 適正な森林施業の実施や森林保全により、健全な森林資源の維持造成や、シイタケ等の特用林産物の生産を促進します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	農地・水保全環境支払推進事業	更別村	土づくり推進事業
帯広市	農業基盤施設維持補修業務	更別村	自力草地更新助成事業
帯広市	耕地防風林整備促進事業	幕別町	農用地排水改善対策事業
音更町	農地・水保全管理支払事業	池田町	平成 21 年度冷湿害対策事業
音更町	圃場環境改善支援事業	池田町	畜産環境対策事業
音更町	小規模土地改良事業	豊頃町	緊急農地基盤整備事業補助金
音更町	耕地防風林造成事業	本別町	土づくり奨励特別事業
上士幌町	各種基盤整備事業	本別町	畜産担い手育成総合整備事業
新得町	自力草地更新対策補助	本別町	ラウンベ牧場管理運営事業
新得町	有機質還元事業	本別町	農業活性化緊急基盤整備事業
清水町	農地・水保全管理支払事業	本別町	農地・水保全管理支払交付金
芽室町	家畜衛生管理事業	浦幌町	小規模暗渠排水事業
芽室町	酪農ヘルパー支援事業	浦幌町	明渠排水溝掘削事業
芽室町	道営土地改良事業参画事業	浦幌町	良質堆肥生産奨励事業
芽室町	土地改良施設維持管理事業		

戦略 3 担い手育成 ~未来を担う生産者を育てる~

【現 状】

十勝では、帯広畜産大学をはじめ北海道立農業大学校や農業高校などの教育機関から、地域に農業の担い手となる人材が輩出されています。また、新規就農者や農林漁業の担い手を対象とした各種研修会の開催、相談業務など、行政や関係機関が連携しながら担い手の育成を進めています。

【取組内容】

- 関係機関と連携して、生産技術や経営管理手法等の研修の実施など、経営者となる担い手の育成を促進します。
- 農林漁業者、就業希望者への情報提供など、関係機関と連携をはかりながら円滑な新規就労や参入者への支援を行います。
- 農商工連携の強化をはかるため、農林漁業の担い手と商工業の担い手の連携を促進します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	農業経営体育成・強化事業	中札内村	担い手育成支援事業
帯広市	林業担い手対策事業	更別村	農業担い手育成センター負担金
音更町	農業年輪塾の実施	大樹町	担い手育成支援事業
音更町	農業後継者育成対策事業	大樹町	酪農経営支援向上対策
士幌町	農業振興人材育成事業	広尾町	担い手育成支援事業
上士幌町	農業担い手育成事業	幕別町	農業振興公社運営費補助金
上士幌町	農業後継者奨学資金等支給事業	幕別町	新規就農者支援奨励金
上士幌町	農業後継者対策推進事業	池田町	新規就農者支援育成事業
上士幌町	農業後継者海外研修助成事業	豊頃町	担い手育成支援事業
鹿追町	担い手育成支援事業	豊頃町	農業農村サポート研修施設管理事業
新得町	冬期営農講座の実施	本別町	新規参入者連携強化事業
新得町	レディースファームスクール事業	本別町	グリーンサポートセンター運営事業
新得町	新規就農者支援事業	本別町	農業振興人材育成事業
新得町	農業担い手育成確保支援事業	足寄町	中小企業勤労者福祉加入奨励補助金
清水町	清水町農業振興公社負担金	足寄町	まちづくり活動支援補助金（H23 新設）
芽室町	農業担い手育成事業	陸別町	とちか勤労者共済センター事業加入企業者助成
		浦幌町	新規就農者営農促進対策事業

戦略 4 試験研究機関との連携

～知的機関とスクラムを組む～

【現 状】

十勝では、帯広畜産大学をはじめ、北海道農業研究センターや十勝農業試験場、畜産試験場などで、農業関連の試験研究が行われています。

また、財団法人十勝圏振興機構（とちか財団）では、大学や試験研究機関と連携し、機能性食品や加工食品の開発、バイオマスの有効活用など、農林漁業を核にした農産物の付加価値向上等の取り組みが行われています。

さらに、試験研究機関の研究成果を生産・加工現場や、消費者等へ周知する取り組みが行われています。

【取組内容】

○新品種の研究や I T ・ A I 技術を活用した先駆的農業に関する研究などについて、試験研究機関をはじめとする関係機関との情報共有や、実践・普及に向けた、共同研究や連携強化をはかります。

○大学、試験研究機関などと連携し、開発中の新品種・新技術などに関する研究成果や情報を、生産者・加工業者、流通業者等の地域の関係者に迅速に提供していきます。

○試験研究機関との産学官連携による取り組みや、開発された製品等に関する情報を、地域住民をはじめとする消費者等に広く提供していきます。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

19市町村	財団法人十勝圏振興機構運営負担金	新得町	新得地鶏生産事業
帯広市	先進的農業促進事業	更別村	更別村農業経営・生産対策推進会議負担金
帯広市	技術活用促進事業	豊頃町	河川泥炭土農地投入試験
鹿追町	営農技術向上対策	本別町	営農指導対策協議会負担金

戦略5 農林水産物の安全・安心の確立

～食の安全安心を確保する～

【現 状】

BSEの発生、輸入食品の残留農薬や食品の偽装表示などの問題を契機として、消費者の食の安全性に対する関心が高まっています。

十勝においては、生産者等による生産履歴記帳運動や自主的な土壌診断、農産物残留農薬検査システムなど、食の安全性に関する体制整備が進められています。

行政機関においても、関係機関と連携して、クリーン農業技術の普及・拡大や、関係機関と連携した農薬等の適正使用の周知など、食の安全・安心に対する取り組みを進めています。

【取組内容】

○土壌診断による適正な施肥設計や耕畜連携による有機質資材の活用促進等、農薬と

化学肥料の削減につながる取り組みなどを通じてクリーン農業を促進します。

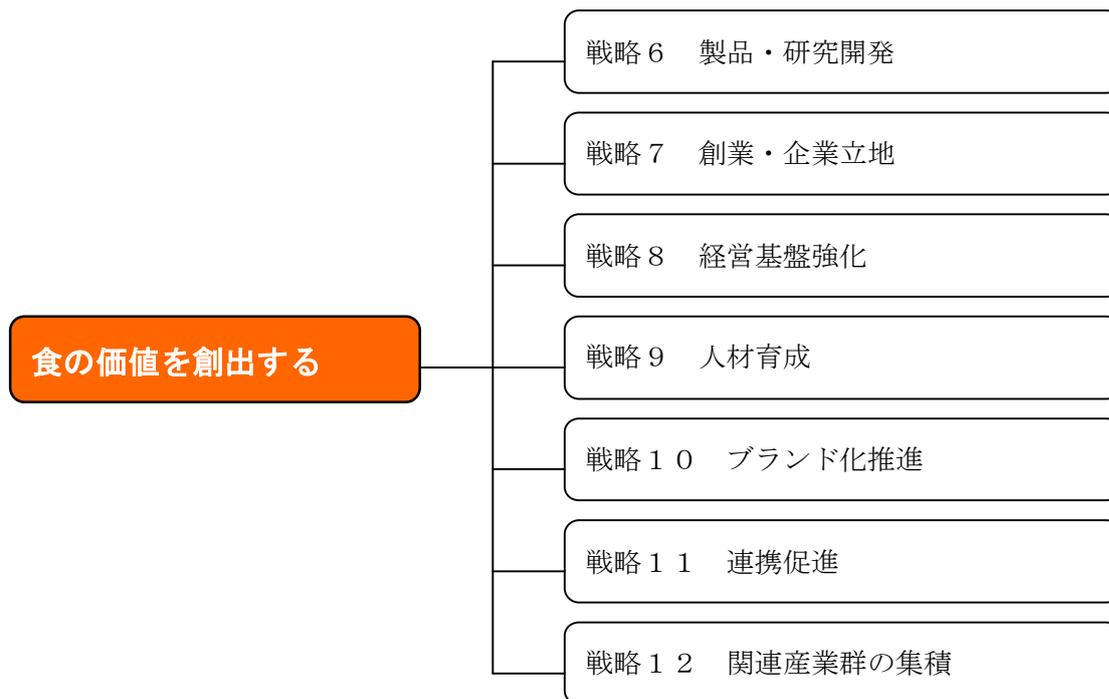
○農林水産省のエコファーマー認定制度や北海道独自の北のクリーン農産物表示制度等の認定や登録などを促進します。

○関係機関と連携した家畜伝染病防疫対策や畜舎環境への配慮など、家畜衛生管理の充実・強化を進めます。

○生産段階でのGAPやHACCP等の手法を導入した管理の促進や、流通段階でのトレーサビリティ確保の促進などにより、食の安全・安心の確保をはかります。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	十勝型生産技術基盤形成事業	清水町	清水営農対策協議会負担金
帯広市	クリーン農業推進事業（再掲）	清水町	食の安全安心推進事業
帯広市	家畜衛生対策事業	清水町	畑作総合対策事業
音更町	消費・安全対策事業	清水町	土壌分析・飼料分析促進事業
音更町	家畜防疫対策推進事業	芽室町	食の安全・安心確保対策支援事業
鹿追町	家畜伝染病自衛防疫事業	幕別町	家畜伝染病自衛防疫組合事業
新得町	家畜伝染病自衛防疫組合事業	池田町	農業廃棄物処理事業
新得町	家畜伝染病等予防推進事業	豊頃町	元気な土づくり対策事業
新得町	農家住宅等周辺環境整備舗装装化事業	本別町	農業用廃プラスチック適正処理推進協議会補助金
新得町	農業廃棄物処理対策事業	本別町	家畜自衛防疫対策事業
清水町	畑作総合振興事業	足寄町	（仮称）地域交流物産館整備事業
清水町	土壌分析・飼料分析促進事業	足寄町	耕畜連携地力増進事業
		陸別町	陸別町家畜伝染病自衛防疫組合事業



戦略6 製品・研究開発

～とちの食の価値を探り出す～

【現 状】

帯広畜産大学には、産学官連携の拠点として地域連携推進センターが設置され、企業・試験研究機関・行政機関等が連携しながら、研究開発に係わる技術相談、新技術や製品開発支援、人材の育成などを行っています。

北海道立十勝圏地域食品加工技術センターでは、地域のニーズに対応した食品加工に関する試験研究・試験分析・技術支援などの取り組みを進めています。

また、自治体や民間企業においても、研究所等が設置されており、農林水産物に関する研究・開発が行われています。

【取組内容】

○試験研究機関等の研究成果や地域の特性や資源などを利活用した、新製品・新技術

等の開発を支援します。

○研究開発などの機能を持つ、(仮称)食・農・医連携センターを整備します。

○フードバレーとから推進協議会のプラットフォーム機能を活かした相談活動や企業間の連携機会の提供などにより、新たな製品の開発や技術開発などを促進します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】			
帯広市	産学官連携促進費	新得町	農工商連携事業補助
帯広市	企業間マッチング・フォローアップ事業	清水町	清水町産業クラスター研究会助成金
帯広市	ものづくり総合支援事業	清水町	清水町新キャラクター制作実行委員会補助金
音更町	産業研究開発支援補助	芽室町	地場産業支援センター参画事業
士幌町	商工業活性化推進事業助成金	芽室町	町観光・特産品普及事業（産業振興活動助成金）
上士幌町	農林商工等連携促進事業	幕別町	特産品研究開発事業補助金
上士幌町	農林商工連携によるビジネス創出事業	本別町	農産物加工施設整備事業
		本別町	農産物加工施設運営管理事業

戦略 7 創業・企業立地

～とちかの価値を活かして起業する～

【現 状】

十勝においては、帯広十勝地域産業活性化協議会やとちか田園地域産業活性化協議会が設立され、両協議会には、19市町村が参加しており、相互に連携しながら企業立地を推進しています。また、各市町村においても、工業団地整備や企業誘致などに取り組んでいます。

十勝管内の金融機関をはじめ、市町村や中小企業支援機関、商工団体などが、企業の創業・起業などに対する支援を行っています。

【取組内容】

○金融機関や中小企業支援機関、関係団体、行政機関などが連携し、創業や起業に関

- する支援情報提供やアドバイスなど、創業・起業家に対する支援に取り組みます。
- 起業家の育成を目的とした創業・起業セミナーの開催など、創業・起業環境の整備に取り組みます。
 - 地域が一体となって、首都圏等における企業誘致に向けたPR活動を行います。
 - 産地立地型企业などの誘致や地場企業の規模拡大などに向けた取り組みを進めます。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】			
7市町村	帯広十勝地域産業活性化協議会負担金	新得町	商工業活性化事業補助金
12町村	とちろ田園地域産業活性化協議会負担金	新得町	地域振興事業補助
帯広市	食産業立地促進事業	清水町	企業立地促進助成
音更町	事業所立地奨励補助	芽室町	企業誘致促進対策事業
音更町	工業団地土地購入資金利子補給	幕別町	企業開発促進補助金
音更町	音更町IC工業団地貸付特約分譲補助	池田町	ふるさと元気事業
音更町	雇用増に伴う助成金	本別町	企業誘致奨励事業
上士幌町	企業振興促進補助金	豊頃町	産業振興事業補助金

戦略8 経営基盤強化 ～とちろの企業力を高める～

【現 状】

十勝管内の金融機関では、金融業務のほか企業等の経営基盤を強化するため、経営塾やセミナーなどを行っています。また、中小企業で組織する団体や商工団体等が、経営力向上のための講習や経営基盤強化のためのセミナーの開催、専門家派遣などの支援を行っています。

帯広畜産大学地域連携推進センターが、地場企業等の技術相談などの拠点となっているほか、中小企業基盤整備機構北海道支部や北海道中小企業総合支援センターなどの支所や相談窓口が設置されるなど、企業に対する支援が充実してきています。

【取組内容】

- 関係団体・機関や市町村のネットワークを強化し、専門家による経営アドバイスや融資制度など、各種支援制度等の情報を広く企業等に提供するとともに、事業承継や事業再生の取り組みを支援します。
- 生産者や企業等の資金繰りの円滑化に資する制度の充実や周知を進めます。
- 農商工・産学官連携の取り組みを活用しながら、企業等の新分野進出支援や経営多角化などを支援します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】			
帯広市	中小企業振興融資事業	芽室町	町中小企業融資事業
帯広市	保証料補給事業	大樹町	中小企業融資利子補給・保証料補助
帯広市	経営相談事業	広尾町	中小企業融資利子補給等事業
音更町	音更町商工会補助	幕別町	中小企業融資・利子補給・保証料補給
音更町	商工業振興資金利子補給	池田町	中小企業融資、同利子補給制度
上士幌町	中小企業融資	豊頃町	中小企業融資制度
上士幌町	中小企業融資利子補給	豊頃町	中小企業融資制度利子補助
新得町	中小企業融資	本別町	中小企業融資利子補給及び保証料
新得町	中小企業融資利子補給	足寄町	中小企業特別融資制度・保証料補助
		浦幌町	中小企業融資利子補給

戦略 9 人材育成 ～とちの食の価値を活かす人を育てる～

【現 状】

帯広畜産大学や農商工団体、中小企業支援機関、金融機関、行政機関などにおいて、人材育成や異業種交流などの取り組みが行われています。

また、中小企業支援団体が、行政機関と連携しながら、人材や企業等のマッチングの取り組みなどを行っているほか、関係団体・機関などが連携して、人材育成に関する情報交換や情報の一元化をはかっています。

【取組内容】

- 地域産業活性化を担う人材のスキルアップの促進や、異業種交流、創業・起業、経営多角化などを目指す人材の育成をはかります。また、地域独自の技術の把握に努め、技術継承に対する支援を行います。
- 人材マッチングシステムの充実による多様な就業機会の提供、職業体験機会の提供などによる求職者の企業への就職促進や求人・求職のミスマッチ解消を進めます。
- 地場産品を活用した製品開発技術向上の専門的な講習のほか、企業や個人事業者の出会いの場を提供し、相互交流による製品開発や販路拡大に関するスキルの向上などを促進します。
- 実践的な講習や国内外研修を行うなど、農商工連携や6次産業化に資する人材の育成に取り組みます。
- 農商工団体や市町村、大学をはじめ専門高等学校や専門学校、技術技能育成機関などによる、実践的な研修機会の提供や、企業経営力や生産性向上などに貢献する高度な技能を有する人材の育成・確保をはかります。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業
帯広市	人材育成事業
帯広市	雇用拡大・機会確保促進事業
帯広市	人材育成・確保事業
清水町	ハーモニープラザ担い手交流センター借上料
本別町	農産物ブランドづくり推進事業

【現 状】

十勝においては、地域団体商標に長いもやだいこんなどが登録されるなど、生産物のブランド化の取り組みが行われています。

また、とちか財団では十勝ブランド認証機構を組織し、パン、ナチュラルチーズ、お菓子の3つの分野でブランド化に取り組むなど、地域で生産される農畜産物や食品のブランド化を進めています。

【取組内容】

- 十勝ブランド認証機構の取り組みを支援するとともに、地場産品のブランド化を進めます。
- 特許や実用新案、地域団体商標の登録など、企業や団体等の知的財産活動を支援します。
- 大学や試験研究機関、民間の研究所等が持つ特許などの知的財産の活用を促進します。また、**地域ブランドに関する国や北海道などの取り組みについて**、生産者や関係団体・企業等、消費者などとの情報共有や情報収集を進めます。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】

帯広市	財団法人十勝圏振興機構負担金（十勝ブランド認証機構）	新得町	新そば祭り事業
帯広市	とちかブランド育成事業	芽室町	町観光・特産品普及事業
帯広市	知的財産活用促進事業	大樹町	地場産業振興奨励事業
音更町	特産品研究開発補助	広尾町	おいしい町づくりの会支援事業
上士幌町	十勝ナイタイ和牛ブランド化肥育促進事業	池田町	「いけだ牛」の取り組み
上士幌町	農林商工等連携促進事業	本別町	ブランド化推進事業
上士幌町	農林商工連携によるビジネス創出事業	本別町	キレイマメ生産原料確保事業
		足寄町	商工振興対策事業補助金

戦略 1 1 連携促進

～プレイヤーの結びつきを深める～

【現 状】

帯広畜産大学地域連携推進センターでは、企業との共同研究などが行われています。また、大学や十勝管内の試験研究機関の6研究機関が、食の安全と安心、生産や衛生に関する人材育成に連携・協力して取り組むスクラム十勝を設置し、試験研究機関の相互連携をはかっています。

十勝地域では、産学官・農商工連携等を促進するため、とち財団や十勝管内の農林漁業団体に組織するとち産業団体協議会などが組織されているほか、とち財団を中心に大学や試験研究機関、自治体などが連携して、国の産学官連携研究支援制度を活用した農産物の機能性などの研究開発が行われています。

【取組内容】

- 大学や試験研究機関等の一層の連携強化をはかるとともに、試験研究成果の活用に向け関係団体・企業等との連携を促進します。
- 農商工連携を促進するため、生産者と関係団体・企業等との出会う機会を提供します。
- 6次産業化のための異業種交流や、同業種の連携による製品開発や技術交流など、地域内外の関係団体・企業間の連携を促進する機会を提供します。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】

帯広市	オール十勝でのプラットフォーム構築（フードバレーとち推進協議会）
帯広市	技術活用促進事業
帯広市	ベーカリーキャンプ2011の開催
帯広市	6次産業化促進事業
帯広市	産学官連携促進事業
音更町	産業研究開発支援事業
上士幌町	農林商工等連携促進事業
上士幌町	農林商工連携によるビジネス創出事業

戦略 1 2 関連産業群の集積

～とちかの価値を活かす産業を集積する～

【現 状】

十勝には、食品加工などの食関連企業や農業機械などの農業関連企業が数多く立地しています。

また、規格外小麦などを活用したバイオエタノールの生産や廃食用油を活用したBDFの生産、食品残さを活用したエコフィードの生産、畜産廃棄物を利用したバイオガスプラントの整備など、豊富なバイオマス資源を活用した取り組みが行われています。

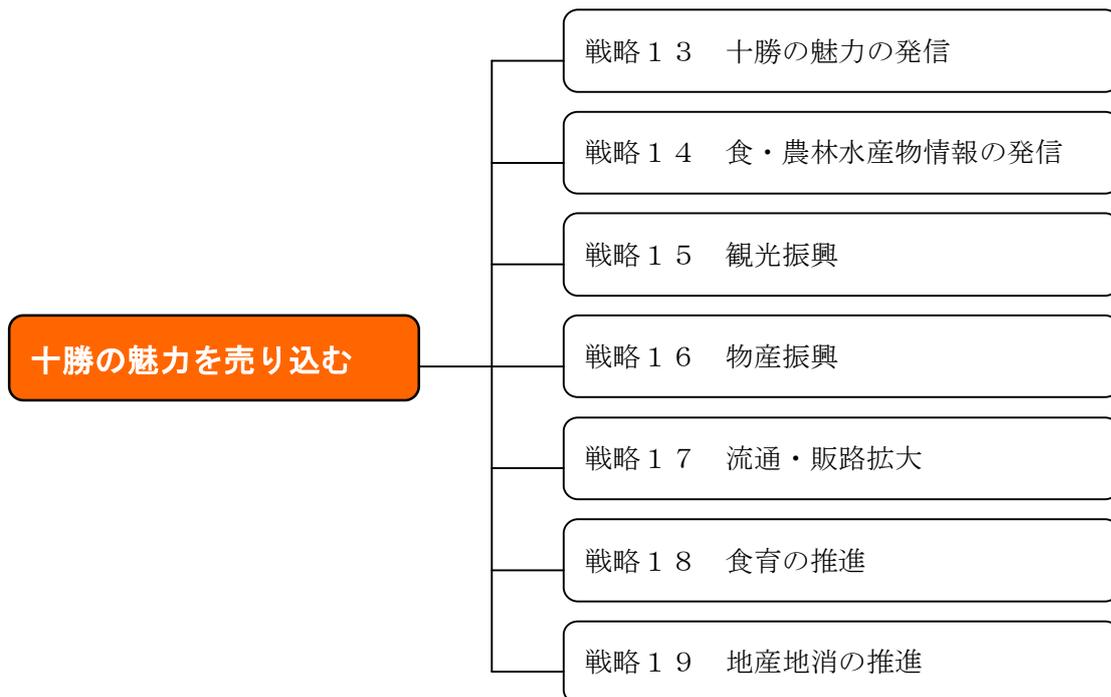
【取組内容】

- 地域特性や優位性を活かした産業集積に向け、食と農林漁業を**中心とする**地域資源関連産業や機械・金属関連産業、環境・リサイクル関連産業などの企業立地に対する支援を行います。
- 豊富なバイオマス資源や寒冷な気候などを活用した、持続可能で環境に優しい自然エネルギーに関する研究開発や産業化支援の取り組みを進めます。
- 新しい技術を活用した植物工場などの食関連施設の立地を促進します。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

7 市町村 帯広十勝地域産業活性化協議会負担金

1 2 町村 とちか田園地域産業活性化協議会負担金



戦略13 十勝の魅力の発信 ～とちかの価値を発信する～

【現 状】

北海道は、雄大な自然を背景とした景勝地や農林漁業に支えられた豊かな食などの観光資源を持ち、国内外から注目されている地域です。

十勝においても、国内外のプロモーション活動やインターネットなどの各種メディアを利用して、十勝の魅力ある自然環境や安全で豊かな食などの情報を提供しています。

【取組内容】

- インターネットなど各種メディアを有効活用し、国内外に十勝の魅力を発信します。
- 国内や東アジアを中心とした海外へのプロモーション活動を行い、十勝への観光客の誘致等をはかります。

○海外のメディアを招聘し、十勝の情報を発信します。

○十勝管内で開催される祭りやイベント情報を一体的に発信し、十勝の交流人口の増加をはかります。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	馬文化承継事業	清水町	十勝清水四景+1（プラス ワン）マップ作成
帯広市	フードバレーとかちの情報発信	芽室町	町観光・特産品普及事業
帯広市	中国観光プロモーション事業	芽室町	町観光物産協会運営支援事業
音更町	観光協会補助	芽室町	発祥の地杯全国ゲートボール大会開催支援事業
音更町	グリーンツーリズム事業	大樹町	観光協会補助
音更町	北十勝4町広域観光振興事業	広尾町	観光推進団体支援事業
音更町	首都圏子供イベント参加交流事業	池田町	十勝ワイン醸造事業
上士幌町	北十勝4町広域観光振興事業	本別町	観光情報センター運営事業
上士幌町	上士幌町・ぬかびら源泉郷魅力発信キャンペーン事業	足寄町	観光推進団体支援事業
上士幌町	観光案内所運営事業	陸別町	とかち田園地域産業活性化協議会負担金
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業		

戦略 1 4 食・農林水産物情報の発信 ～とかちの食を広める～

【現 状】

道の駅や産直市場が設置され、新鮮な農林水産物などが販売されているほか、農畜産物や水産物、加工品、グルメなどの情報を各種パンフレットや雑誌、ホームページなど各種メディアを通じて提供しています。

また、海外や首都圏等で開催されるビジネスマッチングを活用し、生産物や加工食品などの情報提供を行っています。

【取組内容】

○地域で開催される食関連のイベントと連携し、農畜産物や水産物などに関する情報を提供します。

○ホームページやタウン誌など様々なメディアを活用し、フードバレーとかちの取り組みや食や農林漁業に関する情報を発信します。

○ビジネスマッチングの開催により、商品情報の提供や販路拡大を行います。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	フードバレーとかち講演会の開催
帯広市	フードバレーとかち食彩祭 2011
音更町	物産協会補助
士幌町	観光案内所運営事業
上士幌町	十勝ナイタイ和牛&ミルクフェア（魅力発信キャンペーン事業）
上士幌町	観光案内所運営事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業
新得町	しんとく新そばのタベの開催
芽室町	町観光・特産品普及事業（再掲）
芽室町	町観光物産協会運営支援事業（再掲）
更別村	さらべつふるさとまつり実行委員会運営事業
大樹町	観光協会補助
足寄町	観光推進団体支援事業
浦幌町	うらほろふるさとのみのり祭り開催

戦略 15 観光振興 ～とかちに人を呼び込む～

【現 状】

十勝は、大雪山国立公園や阿寒国立公園、日高山脈襟裳国定公園などの豊かな自然に恵まれ、また、十勝川温泉や糠平温泉をはじめとする温泉施設や観光施設のほか、スキーやスケートなどのウインタースポーツ施設が整備され、年間約 900 万人の観光客が訪れています。

【取組内容】

○雄大な十勝の自然や地場食材を活用したメニューを提供する飲食店などの食関連情報を発信し、地域の食材を活かした観光振興に取り組みます。

○農林漁業の体験や食品加工場の視察等など、産業と観光が結びついた産業観光を促

進めます。

○観光案内所や鉄道駅、空港、道の駅などの施設を活用して、十勝の観光情報を提供します。

○十勝管内の広域観光や滞在型・体験型観光を促進します。

○コンベンションの誘致をはじめ、観光関連団体と連携して、イベントや十勝観光のPRなどを行います。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】

19市町村	十勝観光連盟事業	芽室町	町観光物産協会運営支援事業（再掲）
帯広市	観光案内所運営事業	中札内村	観光推進団体支援事業
帯広市	観光推進団体支援事業	更別村	観光推進団体支援事業
音更町	観光協会補助	大樹町	観光協会補助
音更町	北十勝4町広域観光振興事業	広尾町	観光推進団体支援事業
上士幌町	ひがし大雪むし・むしWEEK事業	幕別町	観光推進団体支援事業
上士幌町	上士幌町ナイタイ高原マウンテンサイクリング	池田町	観光ルート企画・観光プロモーション運営委託事業
上士幌町	ぬかびら源泉郷紅葉まつり	池田町	観光推進団体支援事業
上士幌町	観光案内所運営事業	池田町	「ワイン城」運営事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業	豊頃町	観光推進団体支援事業
鹿追町	鹿追町観光協会特産品部会活動	本別町	観光団体支援事業
鹿追町	観光案内所運営事業	本別町	十勝広域観光番組制作委員会
鹿追町	観光推進団体支援事業	本別町	観光交流事業
新得町	観光案内所運営事業	足寄町	観光推進団体支援事業
新得町	観光推進団体支援事業	足寄町	（仮称）地域交流物産館整備事業
清水町	観光推進団体支援事業	陸別町	観光推進団体支援事業
清水町	十勝清水四景+1（プラスワン）観光案内板設置	陸別町	観光交流事業
芽室町	町観光・特産品普及事業（再掲）	浦幌町	観光推進団体支援事業

戦略16 物産振興 ～とちのモノを売り込む～

【現 状】

十勝の物産は、各市町村の商業店舗や農産物直売所で販売されているのをはじめ、各企業等がインターネットなどでの販売を行っています。また、鉄道駅や空港、道の駅などでは、十勝のおみやげとして様々な商品が販売されています。

このほか、関係団体による物産展やイベントにおいて十勝の物産販売が行われてい

ます。

【取組内容】

- 十勝の物産を消費者に周知するため、物産展やイベントの開催などにより、地域内の農林水産物や加工品等のPRを行います。
- 企業等への情報提供や関係機関と連携した商談会の開催、展示会等への出展支援などを通して、物産振興をはかります。
- 十勝物産展の開催などにより、十勝の良質な農林水産物や加工品の販売を促進します。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】			
帯広市	アンテナショップ運営事業	芽室町	町観光物産協会運営支援事業（再掲）
帯広市	物産販路拡大推進事業	更別村	どんぐり推進部会助成金
音更町	特産センター運営補助	大樹町	地場産品研究センター事業
上士幌町	観光案内所運営事業	幕別町	さっぽろオータムフェスト出展事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業	本別町	観光推進（物産）団体支援事業
新得町	地場産品PR事業	本別町	こまつしま・うまいもん祭り出展
新得町	地場産品奨励対策事業	足寄町	（仮称）地域交流物産館整備事業
清水町	「十勝清水四景＋1」PR発表並びに町特産PRキャラバン	足寄町	観光推進団体支援事業
芽室町	町観光・特産品普及事業（再掲）	足寄町	さっぽろオータムフェスト出店事業

戦略17 流通・販路拡大 ～とがちの食を国内外に広める～

【現 状】

十勝で生産されている農林水産物は、生鮮食品や加工原料として管外に移出されています。海外にも、長いもやえだまめが輸出されているほか、農業機械等も中国などに輸出されています。また、全国で開催されている物産展では、良質な原料から作ら

れるスイーツなどの十勝の食品が好評を得ています。

また、高規格幹線道路などの道路や、空港、港湾などの整備が進められ、平成23年3月にとちり帯広空港の東京便ダブルトラック化が実現し、10月には北海道横断自動車道が札幌圏まで開通するなど、十勝圏域と他地域間のアクセス向上がはかられてきています。また、重要港湾である十勝港は、農業王国十勝を支える港として重要な役割を担っています。

【取組内容】

- 首都圏等のバイヤーとの商談機会などを通じて、関係機関や団体と連携し、商品の販路開拓を行います。
- 展示会や物産展、ビジネスマッチング等への出展を支援し、市場開拓や販路拡大を促進します。
- 十勝の農林水産物や食品などの輸出拡大に取り組みます。
- 十勝管内はもとより、他の地域との安全で円滑な人やモノの交流を確保するため、道路をはじめとする流通網の整備を進めます。
- 十勝港の整備をはじめ、小型漁船の操業効率化や安全確保などのため港の整備を進めます。

【市町村における主な関連事業（平成23年度）】

帯広市	とちりまるごとPR事業
帯広市	十勝産小麦を使った商品を中心とした地域ブランド販路拡大支援
帯広市	東アジア展開事業
帯広市	市場開拓・販路拡大事業
音更町	さっぽろオータムフェスト出店事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業
上士幌町	農林商工等連携促進事業
上士幌町	農林商工連携によるビジネス創出事業
清水町	「十勝清水牛玉ステーキ丼」販売1周年記念イベント
芽室町	町観光・特産品普及事業（再掲）
芽室町	町観光物産協会運営支援事業（再掲）
大樹町	観光協会補助
本別町	ブランド化推進事業
足寄町	さっぽろオータムフェスト出店事業
足寄町	観光推進団体支援事業

戦略 18 食育の推進

～とちの食生活・文化を育む～

【現 状】

食を通して健康で豊かな生活を送るため、食に関する知識や食を選択する判断力を身につける「食育」の取り組みが、管内市町村で進められています。

【取組内容】

- 地元の食材を使った健康で豊かな食生活の実践や、食の安全・安心に対する理解を促進します。
- 地域の農林水産業や食産業、食文化に対する理解を深めるなど、食育に関する取り組みを進めます。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	食育推進事業
帯広市	学校給食食育推進事業
音更町	地場産品消費拡大推進事業
新得町	新得オリジナルメニュー提供事業
中札内村	学校給食食育推進事業
大樹町	消費者協会補助
幕別町	学校給食における地場産食材活用事業
池田町	食育事業
本別町	牛乳消費拡大推進委員会
豊頃町	ふるさと給食材料推進事業
浦幌町	食育セミナー開催事業

戦略 19 地産地消の推進

～とちでつくり、とちで食べる～

【現 状】

十勝管内の市町村では、産直市場や朝市などが設けられ、地域で生産された農林水産物や地元で加工された商品などを地域で消費する、地産地消を進めています。

【取組内容】

- 消費者が地域の地産地消に関する情報を入手しやすい環境づくりを進めます。
- 地域で開催される食に関するイベントとの連携などによる地産地消を推進します。
- 学校給食や家庭などにおける地産地消の取り組みを、十勝で連携して進めます。

【市町村における主な関連事業（平成 23 年度）】

帯広市	地産地消促進・安全安心対策事業	芽室町	地産地消協働推進事業
音更町	調理加工講座	中札内村	地産地消推奨事業
音更町	おとふけオータムフェス2011事業	中札内村	豆資料館企画事業
士幌町	しほろ収穫祭事業	更別村	農業経営・生産対策推進会議助成金
士幌町	青空市開催事業	大樹町	観光協会補助
士幌町	牛乳消費拡大事業	広尾町	十勝港まつり、毛がにまつり支援事業
上士幌町	総合案内所（上士幌情報館）運営事業	幕別町	和牛消費拡大実行委員会補助
鹿追町	ふるさと産業まつり事業	池田町	池産池消（ちさんちしょう）事業
鹿追町	鹿追そばまつり事業	豊頃町	牛乳消費拡大推進事業
鹿追町	農畜産物加工施設管理運営事業	豊頃町	なたね油消費拡大推進事業
新得町	新そば祭り事業	本別町	農産物加工施設整備事業
清水町	牛乳消費拡大事業	本別町	農産物加工施設運営管理事業
清水町	まるごとしみず食の祭典の開催	本別町	牛乳消費拡大推進委員会
清水町	ふれあいテーブル&食の安全安心講演会の開催	浦幌町	うらほろ物産フェア事業

3 関係団体・機関の取り組み

農林漁業団体

●十勝地区農業協同組合長会

十勝地区農業協同組合長会は、「JAネットワーク十勝」を設置し、十勝農業協同組合連合会と連携しながら、生産履歴やGAP、残留農薬検査や生乳抗生物質迅速検査など農畜産物の安全安心の取り組み、バルク乳温遠隔監視システムによる品質管理、飼料土壌分析の活用、施設の共同利用などによるコスト削減、酪農広域フィールドアトバイザーや和牛育成技術の統一マニュアルなどによる生産性と品質の向上、十勝和牛の商標登録によるブランド化など、組合員の営農と生活の向上を支援する広域的な共同事業に取り組んでいます。

●十勝地区森林組合振興会・十勝管内漁業協同組合長会

十勝地区森林組合振興会や十勝管内漁業協同組合長会は、「オールとちかち魅力発信連絡協議会」や「とちかち産業団体協議会」などに参加し、「食と農林漁業」を活かした産業の活性化に取り組んでいます。

商工業団体

●帯広商工会議所

帯広商工会議所は、地域の総合経済団体として「連携と共生」を活動方針に掲げ、十勝管内経済団体や他の産業団体と「とちかち産業団体協議会」を設立して連携強化をはかり、農商工連携を促進しています。また、オール十勝で「Myとちかち推進運動」を展開し、十勝産商品の消費拡大、販売促進を進めています。

●北海道中小企業家同友会とちかち支部

北海道中小企業家同友会とちかち支部は、十勝管内約780社の中小企業や農業者などが加入する組織で、組織内に農業者や農業関連企業が参加する「農業経営部会」や

農商工連携による新産業創出を目指す「十勝農商工連携部会」を設置するなど、農業や農商工連携の推進に取り組んでいます。

特に農商工連携分野では、農業者や商工業者、関係機関職員などを対象とした農商工連携人材育成セミナーの開催や、帯広物産協会と連携し**首都圏や中京圏**と十勝の食品関連企業等のビジネスマッチングや展示商談会、さらに帯広市と連携した十勝の魅力ある食を海外へ売り込むための海外販路開拓事業などにも精力的に取り組んでいます。

また、地域の高校生の就職支援などを目的とした高校生職場体験事業（Let's ジョブちゃれ）や、高校生向け就職セミナーなどを帯広市と連携して行っています。さらに帯広地域雇用創出促進協議会の事務局として、求職者や中小企業に勤める人たちを対象とした人材育成や、求職者の地元企業への就職支援として人材マッチング事業の「ジョブジョブとかち」や合同企業説明会の開催にも取り組んでおり、雇用創出実績などが全国的に高く評価されています。

●北海道中小企業団体中央会十勝支部

北海道中小企業団体中央会十勝支部は、支部役員組合並びに構成組合の事務局担当者で組織する十勝地区中小企業団体事務長会を軸に、地域の相乗効果を目指したオール十勝の活動の普及啓発活動を行い、関係団体との連携を強化しています。

●十勝管内商工会連合会

十勝管内商工会連合会は、管内 18 町村にある商工会によって組織されており、連携して各種事業に取り組むと共に、各商工会が取組んでいる地域振興事業の支援を行っています。また、十勝管内商工会青年部連合会と十勝管内商工会女性部連合会では、地域性のある優れた「食」「イベント」「観光」について「夢 Land とかち」ブランド認証を実施し、十勝管内各町村の魅力発信に取り組んでいます。

●十勝観光連盟・帯広物産協会

十勝観光連盟や帯広物産協会は、オール十勝の体制で観光や物産振興に取り組んでおり、道央圏と十勝圏を結ぶ北海道横断自動車道の開通や、とかち帯広空港のダブルトラッキング化などを契機に、十勝の魅力発信活動を強化しています。

金融機関

●帯広銀行協会・日本政策金融公庫

帯広銀行協会は、帯広市内の銀行で構成する団体であり、また、日本政策金融公庫帯広支店は、平成20年にそれまでの農林漁業金融公庫と国民金融公庫などが合併して設立された金融機関です。いずれも地域の企業等に対して、融資のみならず、ビジネスマッチングや販路拡大等に取り組んでいます。

●帯広信用金庫

帯広信用金庫では、十勝の食や農林漁業等の産業振興をはかるため、金融取引以外に、「フードビジネスサポートネットワーク会議」における各支援機関と連携した情報提供、大学との共同研究による新製品・技術開発、「おびしんふれあい相談室」における創業支援・経営相談の実施、「おびしん地域経営塾」の運営による経営者の育成、ビジネスマッチングや商談会の開催及び情報提供による販路拡大への支援や専門家による個別相談会などを行っています。

大学・試験研究機関

●帯広畜産大学

帯広畜産大学は、「食の安全確保」を理念・目標に、獣医・農畜産学に関連する先端基礎研究及び開発研究の成果を実践する場として、研究成果を活かし、世界に通用する環境にやさしい持続可能な農業の確立に貢献しています。

国際貢献・地域貢献活動では、発展途上国のJICA研究者や技術者等受け入れのほか、教員をJICA専門家として世界各国に派遣しています。国際的な大学間学術交流協定を、カナダのアルバータ大学やドイツのミュンヘン大学など19大学と締結しているほか、部局間学術交流協定も行っています。このほか、平成17年に帯広市と包括的連携協力協定を締結したのをはじめ、平成17年に帯広農業高等学校、平成22年に更別農業高等学校との連携協定、平成18年に帯広信用金庫及び北洋銀行と

産学連携協力協定などを締結し、地域連携にも積極的に取り組んでいます。

平成8年度に設立された地域共同研究センター等を再編統合して設置された地域連携推進センターは、地域に開かれた大学の窓口として、民間企業や他の研究機関等の技術相談などを受け入れ、受託研究や共同研究の総合的なコーディネートを行う産学官連携事業、公開講座などの社会貢献事業、リエゾン機能を発揮する活動などを行っています。また、平成19年度からは帯広市と連携して、市が作成した「地域再生計画」に基づき、文部科学省の採択を受け、「地域再生人材創出拠点の形成プログラム・十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」による社会人教育も行っています。

●財団法人十勝圏振興機構

財団法人十勝圏振興機構（とち財団）は、十勝圏域の農業を核とした地域産業の振興を支援することにより、地域産業の高度化・複合化を促進し、活力ある地域社会の形成に資することを目的として平成5年8月に設立されました。

製品開発支援や技術支援等を中心に、十勝地域の企業等に対して総合的な産業支援活動を行っている団体です。いままでの活動の中から、商品化に繋がった事例は数多く、現在も開発中の案件が多数あります。

こうした地域産業振興の一つとして、とち財団が中核機関となり、帯広畜産大学、北海道農業研究センターなどの試験研究機関や企業等と連携して取り組んでいる文部科学省補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム推進事業（都市エリア型）」では、「農畜産物及び加工副産物からの新規機能性素材の開発」と「農畜産物及び加工品の安全性確保」をテーマに研究が進められています。

また、とち財団が運営する十勝産業振興センターでは、十勝の機械製造業者とともに、農作物の不良品等を選別するための新型選別機械や野菜加工機械等の製造開発を行っています。

●北海道農業研究センター

芽室町に立地する北海道農業研究センターは、9つの研究チーム（バレイショ栽培技術研究チーム、北海道畑輪作研究チーム、パン用小麦研究チーム、寒地バイオマス

研究チーム、機能性利用研究北海道サブチーム、根圏域研究チーム、寒地温暖化研究チーム、寒地地域特産研究チーム、北海道農業経営研究チーム）と、4つの育種グループ（麦育種グループ、テンサイ育種グループ、バレイショ育種グループ、資源作物育種グループ）が配置され、土地利用型農業を支える先導的品種育成やIT等の基盤的技術、業務需要に対応できる高度畑・野菜輪作農業システムの開発など、地域の条件や資源を活かした高生産性畑輪作システムの確立を目指し、研究が行われています。

●家畜改良センター十勝牧場

音更町に立地する家畜改良センター十勝牧場では、肉用牛の育種改良、乳用牛優良種雄牛の育成・供給、農用馬の改良、稀少在来馬の保存、めん羊の繁殖技術の開発、飼料作物種子の増殖などの業務が行われています。

●十勝農業試験場・畜産試験場

芽室町に立地する十勝農業試験場と、新得町に立地する畜産試験場は、機構改革により平成22年4月から地方独立行政法人北海道立総合研究機構へ改組されました。十勝農業試験場では大豆、小豆、菜豆の品種改良を実施するほか、十勝地方の耕種部門に関する、作物栽培、病害虫、土壌肥料、経営、農業機械を網羅した試験研究や、地域の農業改良普及センターと協力し技術普及と地域課題の解決支援に取り組んでいます。

畜産試験場では肉牛、豚、地鶏等の育種改良や種畜供給、飼養管理技術のほか、家畜の疾病予防、受精卵移植、牧草や飼料作物栽培、ふん尿処理等の研究に取り組むとともに、地域の農業改良普及センターと協力し現地の問題解決を支援しています。

2005年に設置された「スクラム十勝」は、十勝に立地している帯広畜産大学、農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター、北海道立総合研究機構畜産試験場、同十勝農業試験場、北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、家畜改良センター十勝牧場の公設6研究機関が、包括的な連携協力を行いながら、我が国の動植物性食品生産の中核である十勝地域が抱える食の安全と安心、生産と衛生に関する課題解決並びに課題解決に資する高度な人材を育成する活動を行っています。

行政機関

●帯広開発建設部

帯広開発建設部は、北海道開発局の現地機関として、十勝管内における治水、道路、港湾整備、農業農村整備、水産基盤整備などの社会基盤整備を実施しており、これらの事業を通じて十勝地域の農林漁業の生産基盤の強化や流通・販路拡大のバックアップに努めています。また、自治体や地域づくり団体等が実施する、わが村は美しくー北海道運動、東十勝ロングトレイル、十勝シーニックバイウエイなどと連携して、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりに取り組んでいます。このほか、地域との連携・協働の取り組みも進められており、帯広農業高校とパートナーシップ協定を結び、同校の生徒を対象とした十勝農業の講義や体験学習を実施するなど、農業王国十勝の次世代の担い手育成にも取り組んでいます。

●十勝総合振興局

北海道十勝総合振興局では、新・北海道総合計画（ほっかいどう未来創造プラン）に基づき、3つの地域重点プロジェクト（「とちかち「農」ブランドパワーUPプロジェクト」、「食の王国とちかち観光プロジェクト」、「美しくエコなとちかちづくりプロジェクト」）を基軸とした地域づくりを進めています。

「とちかち「農」ブランドパワーUPプロジェクト」では、農業王国である十勝の優位性を生かし、「食」の安全・安心に対するニーズにこたえる農産物の生産を基本とし、生産から加工、販売までの一貫した取組を促進することにより、農産物の付加価値を向上させるとともに、産学官連携による高機能性新素材・食品の開発を進め、個性豊かで自立した十勝農業・農村の発展を目指し、国際競争に打ち克つ、強いブランド力をもった食産業の構築に向け取り組んでいます。

「食の王国とちかち」観光プロジェクトでは、北海道横断自動車道の開通により十勝と道央圏がつながったことや旅行形態の変化などを踏まえ、基幹産業である一次産業との連携や食材王国十勝の安全・安心な「食」を核として、地域に点在する自然景観・

北海道遺産・ファームインなどを利用したグリーンツーリズム・温泉・アウトドアフィールドといった観光資源を組み合わせた観光地づくりを進めています。また、ホスピタリティ向上の推進や、オール十勝のコーディネート役として十勝の魅力発信に積極的に取り組んでいます。

「美しくエコなとかちづくりプロジェクト」では、農業生産を背景としたバイオマス資源や日本有数の日照時間などの地域の優位性を踏まえ、再生可能エネルギーの地産地消を積極的に促進しています。また、温暖化など地球規模での環境問題の解決に向け、住民に身近なエコ活動を促進することで、住民の主体的な環境保全活動の定着や、二酸化炭素吸収源となる森林づくりを進めています。

●十勝管内市町村

十勝管内の市町村においても、帯広開発建設部や十勝総合振興局、十勝町村会をはじめとする行政機関や関係団体、大学・試験研究機関、金融機関等と連携して、農林漁業や商工業、観光などの産業振興施策を実施しています。

4 フードバレーとかちの施策の進め方

「フードバレーとかち」を推進していく上では、プラットフォームとなるフードバレーとかち推進協議会が中心となり、プレイヤーとなる生産者や企業などが活動するためのコーディネート機能を発揮することが重要です。

協議会の構成メンバーである、農林漁業団体や商工団体、金融機関、大学・試験研究機関、さらには、帯広開発建設部や十勝総合振興局、市町村の行政機関が連携し、国等の支援制度などを活用しながら、十勝全体の力を結集して取り組んでいきます。

また、施策の展開にあたっては、オール十勝での取り組みはもとより、各市町村における独自の取り組みやテーマごとに連携した取り組みなど、柔軟に対応しながら進めていきます。

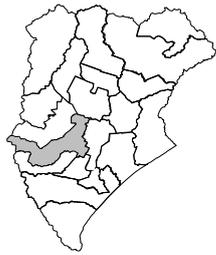
5 参考資料

(1) 市町村の現状

帯広市	34
音更町	35
士幌町	36
上士幌町	37
鹿追町	38
新得町	39
清水町	40
芽室町	41
中札内村	42
更別村	43
大樹町	44
広尾町	45
幕別町	46
池田町	47
豊頃町	48
本別町	49
足寄町	50
陸別町	51
浦幌町	52

(2) 関係機関・団体一覧 53

帯広市



【主な指標】

人口：168,464人 ●製造品出荷額等：1,166.3億円(H21)
(H23.3月末) ●農業産出額：260.9億円(H18)
面積：618.94km² ●観光客入込数：2378.2千人(H22)

帯広市は、十勝圏における中核都市として、金融・商業機能などが集積しているほか、十勝の空の玄関となるとちち帯広空港をはじめ、鉄道やバス交通などの結節点機能を有しています。

農業は畑作4品を中心とした大規模農業が展開されており、特に、長いものは海外に輸出されています。これらの豊富な農畜産物などを活用した食関連企業や、帯広畜産大学などの大学・試験研究機関が立地しています。このほか、「環境モデル都市」として、余剰・規格外作物を活用したバイオ燃料の研究・利用などの取り組みを進めています。

世界で唯一のばんえい競馬や愛国・幸福駅、北の屋台などには、十勝管内外から多くの観光客が訪れています。

■農林水産物

○十勝川西長いも ○大正メークイン ○大正長いも ○大正だいこん

■特産品

○豚丼 ○スイーツ ○ハム・ソーセージ ○十勝おびひろ枝豆サラダ麺

■大学・試験研究機関等

○帯広畜産大学 ○十勝圏地域食品加工技術センター
○十勝産業振興センター ○種苗管理センター十勝農場

■食関連工場等

○(株)明治十勝帯広工場 ○カルビーポテト(株)帯広工場

■観光・物販

○ばんえい競馬 ○とちちむら ○北の屋台 ○愛国・幸福駅 ○八千代牧場
○紫竹ガーデン ○真鍋庭園 ○緑ヶ丘公園

■イベント等

○平原まつり ○氷祭り ○菊まつり ○花火大会

■その他

○西20条北工業団地

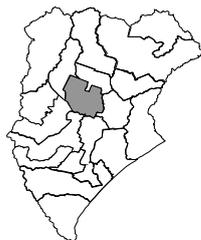


帯広市発祥の「豚丼」



世界で唯一の「ばんえい競馬」

音更町



【主な指標】

人口：45,600人 ●製造品出荷額等：658.4億円（H21）
（H23.3月末） ●農業産出額：213.1億円（H18）
面積：466.09km² ●観光客入込数：1278.3千人（H22）

音更町は、広大で肥沃な十勝平野のほぼ中央に位置し、国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・てん菜・馬鈴しょなどの農産物の生産のほか、酪農・畜産も盛んです。

また、国道241号線沿いには大型ショッピングゾーンが形成され、町内外から多くの買物客が訪れています。

さらに、道東自動車道音更帯広インターチェンジ周辺に工業団地を造成し、企業誘致を進めています。

また、北海道遺産にも選定された世界でも珍しい「モール（植物性）温泉」で知られている十勝川温泉や道立十勝エコロジーパークなどがあり、四季を通じて観光客が訪れています。

■農林水産物

○音更大袖振大豆 ○人参 ○ブロッコリー ○小麦

■特産品・グルメ

○煮豆缶 ○十勝川モール温泉豚 ○十勝川モール温泉顔パック・入浴剤・美容ジェル
○すずらん和牛 ○チーズ・バター ○なたね油

■大学・試験研究機関等

○家畜改良センター十勝牧場 ○帯広大谷短期大学

■食関連工場等

○よつば乳業(株)十勝主管工場 ○JAおとふけ食品(株) ○(株)山本忠信商店製粉工場

■観光・物販

○十勝が丘公園（花時計ハック） ○十勝エコロジーパーク ○十勝川温泉

■イベント等

○十勝川温泉ハナックフェスティバル ○とちかち大収穫祭 ○十勝川白鳥まつり

■その他

○IC工業団地

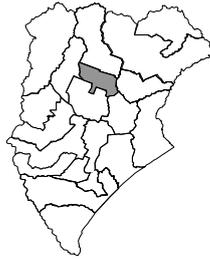


生産量日本一の「小麦」



十勝川白鳥祭り「彩凜華（さいりんか）」

士幌町



主な指標】

人口：6,579人 ●製造品出荷額等：203.3億円（H21）
（H23.3月末） ●農業産出額：205.2億円（H18）
面積：259.13km² ●観光客入込数：124.5千人（H22）

士幌町は、肥沃な大地と自然の恵みに培われた実り豊かな純農村地帯で、これまで機械化による大規模経営、作物転換や畜産の導入による寒冷地農業の確立、付加価値農業の推進のための農村工業の導入などを展開してきました。

特に、農村工業の代表である馬鈴薯コンビナートでは、ポテトチップス、フレンチフライ、スイートコーンの加工工場、コロッケなどの冷凍食品加工場・貯蔵庫などが整備されています。

また、景勝地である士幌高原には、ヌプカの里として、宿泊や野外レクリエーション施設が整備されているのをはじめ、国道241号沿いに飲食・物産機能を持つ「ピア21しほろ」が立地しています。

■農林水産物

○じゃがいも ○小麦 ○豆類 ○スイートコーン ○しほろ牛

■特産品・グルメ

○ミニトマトジュース（しほろキュート） ○アイスクリーム（北の氷点菓）

○なまらクリームプリン

■大学・試験研究機関等

○士幌町立士幌高等学校

■食関連工場等

○JA士幌町澱粉工場

■観光・物販

○士幌高原 ○ピア21しほろ ○国道241号線沿いの桜並木 ○しほろ温泉

■イベント等

○しほろ収穫祭

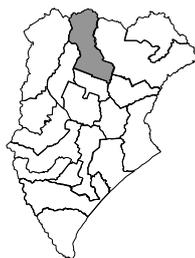


「しほろ牛」の剣先ステーキ



士幌高原「ヌプカの里」

上士幌町



【主な指標】

人口：5,171人 ●製造品出荷額等：9.1億円（H21）
（H23.3月末） ●農業産出額：102.1億円（H18）
面積：694.09km² ●観光客入込数：275.0千人（H22）

上士幌町は、十勝地方の北部、大雪山国立公園の東山麓に位置し、町内の約76%が森林地帯と自然豊かなまちです。

産業は、畑作、酪農などの農業と林業を基幹産業としています。特に、上士幌町で生まれ育った黒毛和種は、十勝ナイタイ和牛としてブランド化され、販売されています。

また、源泉かけ流し温泉であるぬかびら源泉郷、日本一の広さを誇るナイタイ高原牧場、北海道遺産となっている旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群などの観光資源を有しています。

上士幌町は、熱気球のまちとしても全国的に有名であり、毎年開催されるバルーンフェスティバルには全国から愛好者が集まります。

■農林水産物

○十勝ナイタイ和牛 ○鹿肉 ○ハチミツ

■特産品・グルメ

○十勝ハーブ牛 ○ミルクジャム ○豆缶 ○十勝石工芸品 ○木工品

■大学・試験研究機関等

○全農飼料畜産中央研究所ETセンター ○全農飼料畜産中央研究所種豚開発センター

■観光・物販

○ナイタイ高原牧場 ○ぬかびら源泉郷 ○旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群
○三国峠 ○糠平湖

■イベント等

○バルーンフェスティバル

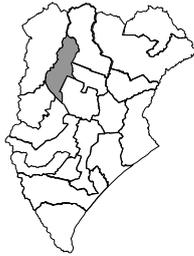


「上士幌ナイタイ高原」牛放牧の様子



「糠平湖」のワカサギ釣り

鹿追町



【主な指標】

人口：5,646人 ●製造品出荷額等：非公表（H21）
（H23.3月末） ●農業産出額：130.7億円（H18）
面積：402.86km² ●観光客入込数：728.6千人（H22）

鹿追町は、十勝地方の西北、大雪山系の東山麓に位置しています。

基幹産業である農業は、畑作と酪農を中心として営まれています。そばやキャベツなども生産されています。

このほか、国内最大級のバイオガスプラントを有し、環境に配慮した地域循環型農業を推進しています。

大雪山国立公園唯一の自然湖“然別湖”を擁し、夏は“白蛇姫まつり”、冬は結氷した湖上で“しかりべつ湖コタン”が開かれます。アウトドア体験や農業体験など滞在型観光の推進や「花と芝生のまちづくり」により年間70万人を超える観光客が訪れています。

■農林水産物

○オショロコマ ○そば

■特産品・グルメ

○鹿追そば ○鹿追焼き(陶芸品) ○チーズ ○アイスクリーム ○豚肉

■大学・試験研究機関等

○鹿追町環境保全センター

■食関連工場等

○鹿追チーズ工房

■観光・物販

○然別湖 ○然別峡 ○神田日勝記念美術館 ○福原記念美術館
○鹿追町ライディングパーク ○道の駅しかおい

■イベント等

○ふるさと産業まつり ○鹿追そばまつり ○白蛇姫まつり ○しかりべつ湖コタン

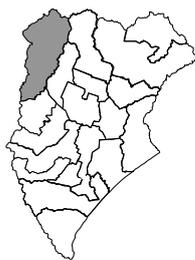


「鹿追そば祭り」の様子



然別湖の冬の風物詩「しかりべつ湖コタン」

新得町



【主な指標】

人口：6,628人 (H23.3月末)	●製造品出荷額等：32.6億円 (H21)
面積：1063.79km ²	●農業産出額：76.4億円 (H18)
	●観光客入込数：935.4千人 (H22)

新得町は、雄大な東大雪の山々と日高山脈に抱かれた自然豊かなまちであり、鉄道交通では、道央からの十勝における玄関口となっています。

基幹産業としては、農業が営まれているほか、林業や観光業が町の主要産業となっています。特に、新得そばや新得地鶏などは、地域の特産品として幅広く知られています。

また、観光では、四季に彩られた自然景観の中で、ラフティングやカヌー、乗馬、エコトロッコなどのアウトドア体験のほか、ファームインや農業・酪農体験やそば打ちなども体験もできる体験型観光が行われています。

■農林水産物

- 新得地鶏 ○原木しいたけ

■特産品・グルメ

- 新得そば ○エゾ鹿肉 ○サホロ焼酎 ○十勝漬 ○チーズ

■大学・試験研究機関等

- 畜産試験場 ○林業試験場道東支場

■食関連工場等

- 農事組合法人共働学舎新得農場 ○新得物産(株) ○さほろ酒造(株) ○(株)キョウシヨク新得工場

■観光・物販

- 狩勝峠 ○トムラウシ温泉 ○旧狩勝線跡 ○サホロリゾート ○ベアマウンテン

■イベント等

- しんとく新そば祭り ○大雪まつり

■その他

- 屈足工業団地



「新得そば」



「サホロリゾート」での十勝川ラフティング

清水町



【主な指標】

人口：10,232人
(H23.3月末)

面積：402.18km²

●製造品出荷額等：282.1億円(H21)

●農業産出額：182.8億円(H18)

●観光客入込数：71.1千人(H22)

清水町は、十勝平野の西部、日高山脈を背景として市街地を形成しており、日勝峠や北海道横断自動車十勝清水ICがあり、道央圏との自動車交通の要衝に位置しています。

豊かな大地と清らかな水の恵みを受けた農業が行われており、小麦・豆類・てん菜や生乳などが生産されています。また、それらを加工する製糖工場などの農産加工企業が立地しています。また、地元産の牛肉・鶏卵を使った「十勝清水牛玉ステーキ丼」が新・ご当地グルメになっています。

このほか、規格外・余剰農産物を活用したバイオエタノールの製造や、畜産農家と畑作農家が連携した資源循環型農業に取り組んでいます。

■農林水産物

○十勝若牛 ○クリーン豆 ○ホワイトアスパラガス ○しみず有機

■特産品・グルメ

○十勝清水牛玉ステーキ丼 ○第九のまちしみず(クッキー) ○牛とろフレーク ○生そば
○大平原ハーモニーエッグ ○飲むヨーグルト ○十勝清水ようかん ○ほくろ大福
○第九のしずく ○豚丼名人 ○グリーンめん

■大学・試験研究機関等

○(社)ジェネティクス北海道十勝北見事業所

■食関連工場等

○ホクレン清水製糖工場 ○プリマハム(株)北海道工場 ○日本甜菜製糖(株)(イースト) ○マルマス(株)十勝清水工場(冷凍食品)

■観光・物販

○清水公園 ○日勝峠展望台 ○清水円山展望台 ○美蔓パノラマパーク ○十勝千年の森

■その他

○緑ヶ丘工業団地

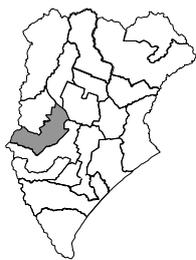


清水町の新ご当地グルメ
「十勝清水牛玉ステーキ丼」



日高山脈を一望できる「美蔓パノラマパーク」

芽室町



【主な指標】

人口：19,369人 ●製造品出荷額等：736.0億円（H21）
（H23.3月末） ●農業産出額：226.2億円（H18）
面積：513.91km² ●観光客入込数：189.5千人（H22）

芽室町は、肥沃な大地と気候条件に恵まれ、農業を基幹産業とし、小麦、てん菜、馬鈴しょ、豆類のほか、全国一の生産量を誇るスイートコーンなどが生産されています。

また、日本甜菜製糖など農畜産・林業関連企業を中心とした約230社からなる東工業団地を形成しているのをはじめ、北海道農業研究センターや十勝農業試験場などの試験研究機関が立地し十勝農業の発展に大きく貢献しています。

観光では、スキー場やゴルフ場のある新嵐山スカイパークを中心に、氷灯夜やイリスフェスタに代表される各種イベントや、町内産の農産物を活用した新・ご当地グルメの「十勝芽室コーン炒飯」など、町民主体の活動が行われています。

■農林水産物

○スイートコーン ○じゃがいも

■特産品・グルメ

○ビートオリゴ糖 ○ニジマス加工品 ○十勝芽室コーン炒飯

■大学・試験研究機関等

○北海道農業研究センター ○十勝農業試験場

■食関連工場等

○日本甜菜製糖(株)芽室製糖所 ○(株)明治十勝工場

■観光・物販

○新嵐山スカイパーク ○芽室公園

■イベント等

○氷灯夜 ○イリス・フェスタ・イン・めむろ

■その他

○東工業団地



芽室町の新ご当地グルメ
「十勝芽室コーン炒飯」



「ゲートボール」発祥の地

中札内村



【主な指標】

人口：4,041人 ●製造品出荷額等：204.1億円（H21）
（H23.3月末） ●農業産出額：87.4億円（H18）
面積：292.69km² ●観光客入込数：956.4千人（H22）

中札内村は、日高山脈中央部を源とする清流・札内川流域に位置しています。

基幹産業である農業では、畑作4品目のほか、酪農、養豚、養鶏が行われています。特に、えだまめは、広く海外にも輸出されています。

「ピョウタンの滝」がある札内川園地は、滝周辺の豊富なマイナスイオンを浴びながら自然豊かな園内を散策することができます。このほか、柏林に囲まれる「中札内美術村」には相原求一朗美術館や小泉淳作美術館のほか、「道の駅なかさつない」では、レストランや屋外物産販売所があり、新鮮な地元食材が提供され、多くの観光客が訪れています。

また、夏に開催される「花フェスタ」では様々な庭が一般開放されオープンガーデンが楽しめます。

■農林水産物

○えだまめ

■特産品・グルメ

○中札内田舎どり ○カマンベールチーズ ○そのままえだ豆 ○スモークチキン
○思いやり生乳

■食関連工場等

○南十勝農産加工農業協同組合連合会 ○(有)十勝野フロマージュ

■観光・物販

○札内川園地ピョウタンの滝 ○六花の森 ○中札内美術村 ○花畑牧場
○中札内農村休暇村フェーリエンドルフ

■イベント等

○花フェスタ

■その他

○ポプラ工業団地



鮮度抜群の「中札内枝豆」



「中札内農村休暇村フェーリエンドルフ」

更別村



【主な指標】

人口：3,418人
(H23.3月末)
面積：176.45km²

●製造品出荷額等：非公表(H21)
●農業産出額：92.7億円(H18)
●観光客入込数：35.2千人(H22)

更別村は、雄大な日高山脈の麓に広がる農業地帯であり、総面積の約7割が耕地になっています。機械化による大規模な農業が営まれ、畑作4品に加え、いんげん、スイートコーン、キャベツなどの野菜が生産されています。また、畜産も盛んで、乳用牛や黒毛和牛を中心に肉用牛が飼養されています。

また、毎年7月には日本唯一のイベントである「国際トラクターBAMBA」(トラクターが重量級のソリを引き速さを競う)が開催されているほか、公認パークゴルフ場「プラムカントリー」、オートキャンプ場「さらべつカントリーパーク」などの施設があり、多くの人々が訪れています。

■農林水産物

○いんげん ○スイートコーン ○キャベツ

■特産品・グルメ

○つぶつぶでんぷん ○ポテトチップス ○ビーフカレー ○金時甘納豆

■大学・試験研究機関等

○道立更別農業高校

■食関連工場等

○㈱ニチロ十勝食品 ○さらべつチーズ工房

■観光・物販

○さらべつカントリーパーク(オートキャンプ場) ○どんぐり公園プラムカントリー(パークゴルフ場)

○十勝スピードウェイ ○道の駅さらべつ「観光と物産の館ピポパ」

■イベント等

○国際トラクターBAMBA



「十勝スピードウェイ」で開催される
ママチャリ耐久レース



迫力満点「国際トラクターBAMBA」

大樹町



【主な指標】

人口：6,040人 (H23.3月末)	●製造品出荷額等：170.7億円 (H22)
面積：816.38km ²	●農業産出額：106.3億円 (H18)
	●観光客入込数：38.2千人 (H21)
	●漁業生産高：13.0億円 (H21)

大樹町は、清流日本一に過去7度選ばれ、砂金掘りが楽しめる「歴舟川」が町内を流れています。

農業は酪農が中心で、広大な草地に乳牛、肉牛が飼育されています。また、畑作では、畑作4品のほか、野菜類が栽培されています。

漁業では大樹漁港と旭浜漁港を拠点に、サケ、毛がに、ししゃも、ホッキ貝などが漁獲され、生花苗沼やホロカヤントーなどの内水面漁業では、ワカサギ、シジミ、ジュンサイなどが水揚げされています。

町の東側太平洋沿岸には「晩成温泉」があり、また、その周辺では夏は原生花園が広がり、冬はワカサギ釣りが楽しめます。カムイコタン公園周辺にはオートキャンプ場が整備されており、坂下仙境をはじめ景勝地が広がっています。

■農林水産物

○じゅんさい ○秋鮭 ○ししゃも ○毛がに

■特産品・グルメ

○大樹納豆 ○ナチュラルチーズ ○ホエー豚

■大学・試験研究機関等

○大樹町・大樹漁協さけますふ化施設 ○大樹航空宇宙実験場

■食関連工場等

○雪印メグミルク(株)大樹工場 ○半田ファーム ○アグリスクラム北海道

■観光・物販

○カムイコタン ○ホロカヤントー周辺 ○晩成温泉 ○萌和山森林公園
○コスモスガーデン ○晩成社史跡

■イベント等

○暦舟清流まつり ○柏林公園まつり ○砂金堀り探訪会 ○歴舟川清流鯉のぼり
○町民物産感謝祭

■その他

○川南工業団地



地元の生乳を使った美味しい「チーズ」



「大樹町多目的航空公園」

広尾町



【主な指標】

人口：8,043人
(H23.3月末)
面積：596.16km²

- 製造品出荷額等：62.9億円 (H21)
- 農業産出額：45.4億円 (H18)
- 観光客入込数：108.8千人 (H22)
- 漁業生産高：32.7億円 (H21)

広尾町は、十勝地方の最南端に位置し、十勝の海の玄関口となる重要港湾「十勝港」を有し、「農業を支える港・アグリポート」としての役割を担っています。

漁業は、漁獲量日本一を誇る「ししゃも」を筆頭に種類豊富な漁業資源に恵まれ、1年を通して新鮮な魚介を味わうことができます。

農業は、酪農を基幹としながら、馬鈴しょ、てん菜などを主要作物とする酪農畑作兼業経営が行われてきましたが、酪農業への専門化が進んでいます。

また、ノルウェー・オスロ市から認定された「サンタランド」のまちとしても有名で、サンタメール事業など様々な活動を行っています。シンボルゾーンの「サンタの山」には、イルミネーションが点灯される10月からクリスマスにかけて多くの観光客が訪れます。

■農林水産物

○ししゃも ○毛がに ○鮭 ○昆布

■特産品・グルメ

○イクラ

■大学・試験研究機関等

○十勝釧路管内さけます増殖事業協会広尾収容場 ○広尾漁協さけますふ化施設楽古収容場

■食関連工場等

○とから飼料(株)

■観光・物販

○サンタの山(大丸山森林公園)〈つつじ〉 ○サンタの家 ○フンベの滝(黄金道路)
○シーサイドパーク広尾(オハバナエリカ) ○十勝神社(本通公園)

■イベント等

○広尾つつじまつり ○十勝港まつり ○サンタランドツリー点灯式 ○広尾毛がにまつり

■その他

○重要港湾「十勝港」 ○十勝港工業団地



旬の海産物を提供「広尾毛がにまつり」



十勝の海の玄関「十勝港」

幕別町



【主な指標】

人口：27,461人 ●製造品出荷額等：222.7億円(H21)
(H23.3月末) ●農業産出額：218.9億円(H18)
面積：478.00km² ●観光客入込数：502.0千人(H22)

幕別町は、平成18年2月6日に忠類村と合併し、新たな一步を踏み出しました。

十勝平野の肥沃な土壌と気候に恵まれた自然環境の中で、基幹産業である農業が営まれており、畑作4品のほか野菜類や、忠類地域では食用ゆり根が栽培されています。

また、畜産も盛んで、肉用牛や乳用牛も飼養されています。

観光では、パークゴルフの発祥の地として知られており、多くの愛好者が訪れています。また、幕別地域や忠類地域にはそれぞれ温泉があるほか、ナウマン象の化石発掘現場やナウマン象記念館、千代田えん堤などが観光名所となっています。

このほか、明野ヶ丘公園や白銀台スキー場では、スキーが楽しめ、忠類ナウマン全道そり大会が開催されています。

■農林水産物

○食用ゆり根 ○和稔じょ ○インカのめざめ ○レタス

■特産品・グルメ

○十勝美豆(とかちビーンズ、大豆缶詰) ○十勝大福 ○黒豆きなこ ○焼酎

■大学・試験研究機関等

○家畜改良事業団北海道産肉能力検定場 ○北海道さけますふ化施設幕別・札内収容場

■食関連工場等

○十勝大福本舗(株) ○道東ライス(株) ○小田壺(株) ○共栄ピクルス食品(有) ○トミイチ(株)十勝支店 ○大望(株)

■観光・物販

○忠類ナウマン象記念館 ○シーニックカフェ ○ピラ・リ(明野ヶ丘公園) ○丸山展望台
○道の駅(忠類) ○新田牧場 ○十勝ヒルズ ○千代田新水路魚道観察室(ととろ〜ど)

■イベント等

○忠類ナウマン全道そり大会 ○まくべつ夏フェスタ ○忠類ふるさと盆踊り大会
○まくべつ産業まつり ○忠類どんとこいむら祭り

■その他

○リバーサイド幕別 ○札内東工業団地



新たな名産「和稔じょ」



幕別町発祥の「パークゴルフ」

池田町



【主な指標】

人口：7,690人
(H23.3月末) ●製造品出荷額等：73.6億円(H21)
●農業産出額：67.4億円(H18)
面積：371.91km² ●観光客入込数：275.8千人(H22)

池田町は、十勝地域の中央からやや東に位置し、地形は平坦で、ワインを中心としたまちづくりが行われています。

農業は、「十勝ワイン」の原料となるブドウ栽培のほか、畑作4品、いんげん、野菜などが作付けされています。また、乳用牛や肉用牛の飼養のほか養豚も行われています。

ブドウ・ブドウ酒研究所であるワイン城では、ワインの知識を提供するため、ガイドツアーや試飲セミナーなどを行っており、十勝ワインを「体感」することができます。また、ワイン城の敷地内には、ドリームズ・カム・トゥルーの資料を展示する「DCTgarden IKEDA」があり、観光スポットとして人気があります。

■農林水産物

○いけだ牛 ○醸造用ブドウ

■特産品・グルメ

○十勝ワイン ○十勝ブランデー ○いきがい焼き

■大学・試験研究機関等

○ブドウ・ブドウ酒研究所

■観光・物販

○ワイン城 ○まきばの家 ○DCTgarden IKEDA ○清見ヶ丘公園
○千代田えん堤

■イベント等

○いけだ夏まつり ○秋のワイン祭り ○十勝ワインヌーボまつり

■その他

○池田北工業団地 ○利別第一農工団地 ○利別第二農工団地

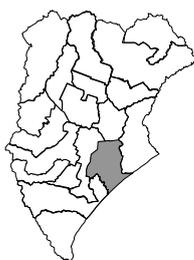


「十勝ワイン」



「池田ワイン城」

豊頃町



【主な指標】

人口：3,558人 (H23.3月末)	●製造品出荷額等：5.8億円 (H21)
面積：536.52km ²	●農業産出額：88.0億円 (H18)
	●観光客入込数：47.9千人 (H22)
	●漁業生産高：13.9億円 (H21)

豊頃町は、十勝川の最下流に位置する十勝発祥のまちです。

基幹産業である農業では、畑作4品のほか、だいこんやいんげんなどが栽培されています。また、畜産は、乳用牛や肉用牛が飼養されており、経営規模の拡大が進む傾向にあります。

漁業は、大津地域を拠点として営まれ、サケの人工孵化放流事業の成果により、サケ定置網漁業の水揚量が大半を占めています。

まちのシンボル樹齢140年の「はるにれ」は、2本の木が仲睦まじく支えあう美しい姿が魅力で、年間を通し観光に訪れる方が多い人気のスポットとなっています。

また、秋には「産業まつり」が開催され、海と大地の実りを堪能する人々で賑わいます。

■農林水産物

○大津産秋鮭 ○ししゃも ○ほっき ○つぶ ○毛がに ○十勝だいこん ○なたね

■特産品・グルメ

○わかさぎの佃煮 ○海産物加工品 ○蝦夷鹿・蝦夷豚肉のハム・ソーセージ ○スイーツ
○なたね油「エコリーナ」 ○切干大根（たんざく、せんぎり）

■食関連工場等

○株式会社エコERC豊頃工場

■観光・物販

○はるにれの木（十勝川河川敷） ○茂岩山自然公園キャンプ場 ○茂岩山パークゴルフ場
○長節湖 ○湧洞湖 ○長節湖原生花園 ○湧洞湖原生花園 ○トイトッキ浜原生花園
○とよころ物産直売所 ○食彩はるにれ

■イベント等

○とよころ産業まつり ○とよころ夏まつり ○大津港大漁まつり

■その他

○豊頃地区工業団地



太切りでおいしい「切干大根」



豊頃町のシンボル「ハルニレの木」

本別町



【主な指標】

人口：8,264人 ●製造品出荷額等：372.2億円 (H21)
(H23.3月末) ●農業産出額：95.2億円 (H18)
面積：391.99km² ●観光客入込数：323.0千円 (H22)

本別町は、十勝の東北部に位置し、利別川が街の中心を緩やかに流れています。

農業は、畑作4品が主要作物ですが、特に、豆は良質・安全・安心な食材として、豆腐、みそ、しょうゆ、納豆などへの加工や、健康食品としても注目されている黒豆は、「キレイマメ」のブランド名で全国に発信されています。

観光では、義経の里本別公園や道の駅などの観光施設があり、また、町内外からの多くの人々が訪れる「きらめきタウンフェスティバル」が行われており、北海道横断自動車道の帯広・釧路・北見を結ぶジャンクションに位置することから、高速道路を利活用した観光振興が期待されています。

■農林水産物

○豆類 ○小麦 ○甜菜 ○スイートコーン ○舞茸

■特産品・グルメ

○キレイマメ(豆製品ブランド) ○生豆 ○豆加工品 ○スイーツ ○砂糖 ○乳製品

■大学・試験研究機関等

○道立農業大学校

■食関連工場等

○北海道糖業(株)本別製糖所 ○(株)明治本別工場

■観光・物販

○本別公園・幽仙峡 ○愛のかけ橋(ライトアップ) ○本別大坂(国道274号)から望む夜景
○道の駅「ステラ★ほんべつ」 ○義経の里

■イベント等

○本別山溪つつじ祭り ○本別きらめきタウンフェスティバル ○ひまわり迷路

■その他

○本別勇愛工業団地

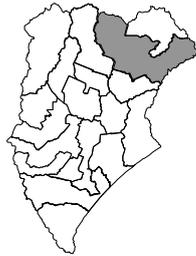


本別の豆を使ったブランド「キレイマメ」



本別道の駅「ステラ★本別」

足寄町



【主な指標】

人口: 7,762 人 (H23.3月末)	●製造品出荷額等: 34.3 億円 (H21)
面積: 1,408.09 km ²	●農業産出額: 88.8 億円 (H18)
	●観光客入込数: 556.4 千人 (H22)

足寄町は十勝の東北部に位置し、管内市町村の中で最も広い面積を有しています。

この広大な大地で、畑作・酪農が営まれています。畑作では、小麦、てん菜、豆類のほか、高さ2～3mにもなる螺湾ブキなどが収穫されています。また、酪農では、乳用牛や黒毛和種など肉用牛が飼養されており、東京ドーム約270個分の面積を持つ大規模草地育成牧場も整備されています。

観光名所は、独特の湖面の色彩が訪れた人を魅了するオンネトーがあるほか、ふるさと銀河線の旧足寄駅である足寄銀河ホール21や足寄動物化石博物館などの集客施設が整備されています。

■農林水産物

○螺湾（らわん）ブキ ○馬肉 ○豆類

■特産品・グルメ

○ナチュラルチーズ ○木質ペレット

■大学・試験研究機関等

○九州大学農学部附属北海道演習林

■食関連工場等

○(株)あしよろ農産公社

■観光・物販

○オンネトー ○雌阿寒岳 ○足寄動物化石博物館 ○あしよろ銀河ホール21（道の駅）
○エーデルケーゼ館（道の駅足寄湖）

■イベント等

○足寄ふるさと花まつり ○足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会 ○道の駅まつり

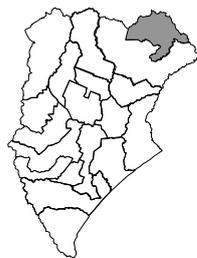


北海道遺産にも指定「ラワンブキ」



神秘的湖「オンネトー」

陸別町



【主な指標】

人口：2,720人 ●製造品出荷額等：4.6億円（H21）
（H23.3月末） ●農業産出額：33.7億円（H18）
面積：608.81km² ●観光客入込数：166.8千人（H22）

陸別町は、十勝地域の北東部に位置し、豊かな自然に恵まれた林業と酪農のまちで、「寒さ」や「星」をテーマとしたまちづくりを進めています。

農業は、乳用牛を中心に飼養されているほか、山菜の収穫、アスパラの栽培にも力を入れています。

日本最大級の公開型望遠鏡を備えた「銀河の森天文台」では、星やオーロラなどに関する特色あるイベントが年間通して開催されており、多くの天文ファンの注目を集めています。

また、廃線となったふるさと銀河線を体験鉄道公園として復活させた「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」は、鉄道ファンだけでなく家族で楽しめる施設として人気を集めています。

■農林水産物

○山菜(山ぶき、うど、ぎょうじゃにんにく他)

■特産品・グルメ

○山菜(山ぶき、うど、ぎょうじゃにんにく他)

■大学・試験研究機関等

○国立環境研究所 ○名古屋大学太陽地球環境研究所 ○北海道大学大学院理学研究院

■観光・物販

○ふるさと銀河線りくべつ鉄道 ○銀河の森天文台 ○銀河の森コテージ村 ○かぶとの里

■イベント等

○しばれフェスティバル



美味しい山の幸「山菜」



「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」

浦幌町



【主な指標】

人口：5,667人 (H23.3月末)	●製造品出荷額等：95.2億円 (H21)
面積：729.64km ²	●農業産出額：80.9億円 (H18)
	●観光客入込数：41.1千人 (H22)
	●漁業生産高：6.9億円 (H21)

浦幌町は、十勝管内の東端に位置し、町の面積4分の3が森林という自然環境と海産資源が豊富な太平洋に面したまちです。

農業は、畑作4品が主要作物であり、その他、生乳を主体とする酪農が盛んで、土地利用型農業が行われています。

漁業は、沿岸漁業が主体で、秋さけ定置網漁、ししゃも漁、ほっき漁、つぶかご漁などが営まれています。

観光施設としては、「道の駅うらほろ」や「うらほろ森林公園」などがありますが、特に、平成23年3月に「うらほろ留真温泉」がリニューアルオープンし、全国でも希少な高アルカリ泉質は、美肌の湯として人気が高く、また四季折々の景色と自然を体感できる温泉として注目を集めています。

■農林水産物

○さけ ○ししゃも ○ほっき・つぶ ○うらほろ和牛 ○白花生

■特産品・グルメ

○ギョウジャニンニクドリンク ○ギョウジャニンニク入りポークソーセージ
○十勝のワルッコ(山わさびの醤油漬) ○鮭とばスティック ○ラーチ・テーブル ○木炭

■食関連工場等

○東部十勝農産加工農業協同組合連合会 ○浦幌乳業(株) ○サンマルコ食品(株)
○浦幌フリーズドライ(株)

■観光・物販

○うらほろ森林公園 ○昆布刈石展望台 ○豊北原生花園 ○道の駅「うらほろ」
○うらほろ留真温泉

■イベント等

○ふるさとのみのりまつり ○うらほろ収穫祭 ○うらほろ物産フェア



「ふるさとのみのりまつり」



町営温泉「うらほろ留真温泉」

(2) 関係機関・団体一覧

区 分	名 称	所 在 地
大学	国立大学法人帯広畜産大学	帯広市稲田町西2線11
	帯広大谷短期大学	音更町希望が丘3番地3
試験研究等機関	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 芽室研究拠点	芽室町字新生南9線
	独立行政法人種苗管理センター十勝農場	帯広市幸福町東4線210-6
	独立行政法人家畜改良センター十勝牧場	音更町駒場並木8番1
	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 十勝農業試験場	芽室町字新生南9線2番地
	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 畜産試験場	新得町字新得西5線39番地1
	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター	帯広市西22条北2丁目23-10
農業教育・研修機関	北海道立農業大学校	本別町西仙美里25-1
	北海道帯広農業高等学校	帯広市稲田町西1線9番地
	北海道音更高等学校	音更町駒場西1
	士幌町立士幌高等学校	士幌町字上音更21-15
	北海道更別農業高等学校	更別村字更別基線95
農業協同組合	帯広市川西農業協同組合	帯広市川西町西2線61-1
	帯広大正農業協同組合	帯広市大正本町東1条2丁目1
	音更町農業協同組合	音更町大通5丁目1
	木野農業協同組合	音更町木野大通6丁目1
	士幌町農業協同組合	士幌町字士幌西2線159
	上士幌町農業協同組合	上士幌町字上士幌東2線238
	鹿追町農業協同組合	鹿追町新町4丁目51
	新得町農業協同組合	新得町1条南3丁目1
	十勝清水町農業協同組合	清水町南2条1丁目8
	芽室町農業協同組合	芽室町西4条南1丁目1番地9
	中札内村農業協同組合	中札内村東1条南2丁目14
	更別村農業協同組合	更別村字更別南2線92
	大樹町農業協同組合	大樹町1条通1
	広尾町農業協同組合	広尾町字紋別19線51-20
	幕別町農業協同組合	幕別町本町45
	札内農業協同組合	幕別町札内中央町467
	忠類農業協同組合	幕別町忠類栄町259
	十勝池田町農業協同組合	池田町字利別本町1
	十勝高島農業協同組合	池田町字高島7
	豊頃町農業協同組合	豊頃町中央若葉町12
	浦幌町農業協同組合	浦幌町字新町15-1
	本別町農業協同組合	本別町北5丁目2-1
	足寄町農業協同組合	足寄町南3条1丁目18
陸別町農業協同組合	陸別町字陸別東2条1丁目1	
十勝畜産農業協同組合	幕別町相川470-2	
十勝軽種馬農業協同組合	幕別町字猿別207-2	
農業団体等	十勝地区農業協同組合長会	帯広市西3条南7丁目農協連ビル
	北海道農業協同組合中央会帯広支所	帯広市西3条南7丁目農協連ビル
	北海道信用農業協同組合連合会帯広支所	帯広市西3条南7丁目農協連ビル
	ホクレン農業協同組合連合会帯広支所	帯広市西3条南7丁目農協連ビル
	全国共済農業協同組合連合会北海道事業本部帯広支所	帯広市西3条南7丁目農協連ビル
	北海道厚生農業協同組合連合会帯広厚生病院	帯広市西6条南8丁目
	北海道農業共済組合連合会道東事業部	札幌市中央区北1条西7丁目
	十勝農業協同組合連合会	帯広市西3条南7丁目農協連ビル
	北海道農業開発公社十勝支所	帯広市西3条南7丁目農協連ビル
	北海道農業開発公社十勝育成牧場	大樹町尾田708
	農協サイロ㈱	帯広市西2条南7丁目17ハヤカワビル内
農業情報センター	十勝農協連農業情報センター	帯広市東2条南10丁目
家畜改良	(社)ジェネティクス北海道十勝北見事業所	清水町字清水第5線18
	(社)家畜改良事業団北海道産肉能力検定場	幕別町字猿別173-8

区 分	名 称	所 在 地
製糖工場	日本甜菜製糖(株)芽室製糖所	芽室町東芽室基線 26
	北海道糖業(株)本別製糖所	本別町勇足 52
	ホクレン清水製糖工場	清水町字清水第 1 線 71
乳業工場	よつ葉乳業(株)十勝主管工場	音更町新通 20 丁目 3
	雪印メグミルク(株)大樹工場	大樹町緑町 35
	(株)明治十勝工場(明治乳業十勝チーズ館)	芽室町東芽室北 1 線 15-2
	(株)明治十勝工場十勝帯広工場	帯広市東 6 条南 16 丁目 3
	(株)明治十勝工場本別工場	本別町新町 1 丁目
	浦幌乳業(株)	浦幌町材木町 1
	研究所等	十勝農協連農産化学研究所
日本甜菜製糖(株)総合研究所		帯広市稲田町南 9 線西 13
全農飼料畜産中央研究所 E T センター		上士幌町字上音更西 6 線 331-11
全農飼料畜産中央研究所種豚開発センター		上士幌町居辺 112-3
でん粉工場	南十勝農産加工農業協同組合連合会	中札内村中札内西 2 線 230
	東部十勝農産加工農業協同組合連合会	浦幌町吉野 68
	士幌町農業協同組合澱粉工場	士幌町字士幌西 2 線 161
と畜場	(株)北海道畜産公社道東事業所十勝工場	帯広市西 24 条北 2 丁目 1-1
	池田町食肉センター	池田町字清美 277-2
肥料工場	ホクレン肥料(株)帯広工場	芽室町東芽室基線 12
飼料工場	ホクレンくみあい飼料(株)十勝工場	士幌町字士幌西 1 線 147-1
	日本甜菜製糖(株)帯広配合飼料工場	帯広市稲田町南 9 線西 13 番地
酪農検定検査協会	(株)北海道酪農検定検査協会帯広事務所	帯広市東 5 条南 12 丁目 2
漁業協同組合	十勝管内漁業協同組合長会	豊頃町大津港町 35 番地
	広尾漁業協同組合	広尾町会所前 2 丁目 79 番地
	大樹漁業協同組合	大樹町字浜大樹 322 番地先
	大津漁業協同組合	豊頃町大津港町 35 番地
森林組合等	十勝地区森林組合振興会	帯広市西 4 条南 16 丁目 10 番地 1
	西十勝森林組合	新得町字屈足基線 1 番地 9
	清水町森林組合	清水町字御影南 1 線 49 番地 4
	更別森林組合	更別村字更別南 2 線 91 番地 4
	大樹町森林組合	大樹町字下大樹 225 番地
	広尾町森林組合	広尾町西 2 条 6 丁目 16 番地
	幕別町森林組合	幕別町宝町 53 番地 1
	本別町森林組合	本別町南 4 丁目 175 番地 12
	足寄町森林組合	足寄町下愛冠 4 丁目 33 番地 13
	陸別町森林組合	陸別町字陸別本通 2 丁目 5 番 2
	浦幌町森林組合	浦幌町字帯富 98 番地 9
	十勝大雪森林組合	音更町東通 15 丁目 5 番地
	十勝広域森林組合	芽室町東 2 条 6 丁目 1 番地 5
	商工会議所	帯広商工会議所
十勝管内商工会連合会		帯広市西 3 条南 10 丁目経済センタービル
商工会 観光・物産協会等	音更町商工会	音更町大通り 6 丁目 6 番地 プロスバ 6 2 階
	士幌町商工会	士幌町士幌西 2 線 162
	上士幌町商工会	上士幌町字上士幌東 3 線 237 番地
	鹿追町商工会	鹿追町新町 1 丁目
	新得町商工会	新得町本通南 1 丁目 23 番地
	清水町商工会	清水町本通 1 丁目ハーモニープラザ内 2 階
	芽室町商工会	芽室町本通 1 丁目 19 番地
	中札内村商工会	中札内村大通南 2 丁目 24 番地
	更別村商工会	更別村字更別南 2 線 92 番地
	大樹町商工会	大樹町西本通 98 番地
	広尾町商工会	広尾町本通 5 丁目 1
	幕別町商工会	幕別町錦町 141 番地 19
	池田町商工会	池田町大通 1 丁目 35 番地

区 分	名 称	所 在 地
商工会 観光・物産協会等	豊頃町商工会	豊頃町茂岩本町 135 番地
	本別町商工会	本別町北 1 丁目
	足寄町商工会	足寄町南 1 条 3 丁目 20
	陸別町商工会	陸別町字陸別原野基線 69 番地 1
	浦幌町商工会	浦幌町本町 100 番地
	十勝観光連盟	帯広市西 2 条南 12 丁目
	帯広観光コンベンション協会	帯広市西 2 条南 12 丁目
	帯広物産協会	帯広市西 2 条南 12 丁目
	音更町十勝川温泉観光協会	音更町十勝川温泉南 12 丁目 1 番地
	士幌町観光協会	士幌町字士幌 225 番地
	上士幌町観光協会	上士幌町字上士幌東 3 線 238 番地
	鹿追町観光協会	鹿追町東町 1 丁目 15 番地 1
	新得町観光協会	新得町 3 条南 4 丁目 26 番地
	清水町観光協会	清水町南 4 条 2 丁目 2 番地
	芽室町観光物産協会	芽室町東 2 条 2 丁目 14 番地
	中札内村観光協会	中札内村大通南 2 丁目 3 番地
	更別村観光協会	更別村字更別南 1 線 93 番地
	大樹町観光協会	大樹町東本通 33 番地
	広尾町観光協会	広尾町西 4 条 7 丁目 1 番地 1
	幕別町観光物産協会	幕別町本町 130 番地
	池田町観光協会	池田町西 1 条 7 丁目 11 番地
	豊頃町観光協会	豊頃町茂岩本町 125 番地
	本別町観光協会	本別町北 2 丁目 4 番地 1
	NPO法人あしよろ観光協会	足寄町北 1 条 1 丁目 3 番地
陸別町観光協会	陸別町東 1 条 3 丁目 1 番地	
浦幌町観光協会	浦幌町桜町 15 番地 6	
中小企業団体等	北海道中小企業家同友会とかち支部	帯広市東 2 条南 4 丁目 3-5
	北海道中小企業団体中央会十勝支部	帯広市西 3 条南 10 丁目経済センタービル
	北海道中小企業総合支援センター道東支所	帯広市西 22 条北 2 丁目 23-9 とかち財団内
	社団法人帯広法人会	帯広市西 3 条南 9 丁目太陽電気大同生命ビル
金融機関等	帯広銀行協会	帯広市西 2 条南 12-1
	北洋銀行帯広中央支店	帯広市西 2 条南 12-1
	みずほ銀行帯広支店	帯広市西 2 条南 10 丁目 17-1
	北陸銀行帯広支店	帯広市大通南 8 丁目 18
	北海道銀行帯広支店	帯広市西 3 条南 9 丁目 1 番地
	帯広信用金庫	帯広市西 3 条南 7 丁目 2
	北見信用金庫帯広支店	帯広市西 2 条南 7 丁目 2 番地
	釧路信用金庫帯広支店	帯広市西 8 条南 18 丁目 2 番 6 号
	網走信用金庫	帯広市西 5 条南 14 丁目 4 番地 1
	商工中金帯広支店	帯広市西 3 条南 6 丁目 20 番地 1
	北海道信用保証協会帯広支店	帯広市西 3 条南 6 丁目
	十勝信用組合	帯広市大通南 9 丁目 20 番地
	株式会社日本政策金融公庫帯広支店	帯広市大通南 9 丁目 4
農林水産省	北海道農政事務所帯広地域センター	帯広市西 6 条南 7 丁目
国土交通省	帯広開発建設部	帯広市西 4 条南 8 丁目
	帯広農業事務所	帯広市西 4 条南 8 丁目
	十勝南部農業開発事業所	更別村字更別南 1 線 92
	鹿追地域農業開発事業所	鹿追町泉町 1 丁目
北海道	十勝総合振興局	帯広市東 3 条南 3 丁目 十勝合同庁舎
市町村	十勝町村会	帯広市東 3 条南 3 丁目 十勝合同庁舎
	音更町	音更町元町 2 番地
	士幌町	士幌町字士幌 225 番地
	上士幌町	上士幌町字上士幌東 3 線 238 番地
	鹿追町	鹿追町東町 1 丁目 15 番地 1
	新得町	新得町 3 条南 4 丁目 26 番地

区 分	名 称	所 在 地
市町村	清水町	清水町南 4 条 2 丁目 2 番地
	芽室町	芽室町東 2 条 2 丁目 14 番地
	中札内村	中札内村大通南 2 丁目 3 番地
	更別村	更別村字更別南 1 線 93 番地
	大樹町	大樹町東本通 33 番地
	広尾町	広尾町西 4 条 7 丁目 1 番地 1
	幕別町	幕別町本町 130 番地
	池田町	池田町字西 1 条 7 丁目 11
	豊頃町	豊頃町茂岩本町 125 番地
	本別町	本別町北 2 丁目 4 番地 1
	足寄町	足寄町北 1 条 4 丁目 48 番地 1
	陸別町	陸別町字陸別東 1 条 3 丁目 1 番地
	浦幌町	浦幌町字桜町 15 番地 6
	帯広市	帯広市西 5 条南 7 丁目 1 番地
その他	財団法人十勝圏振興機構（とち財団）	帯広市西 22 条北 2 丁目 23-9
	十勝産業振興センター	帯広市西 22 条北 2 丁目 23-9

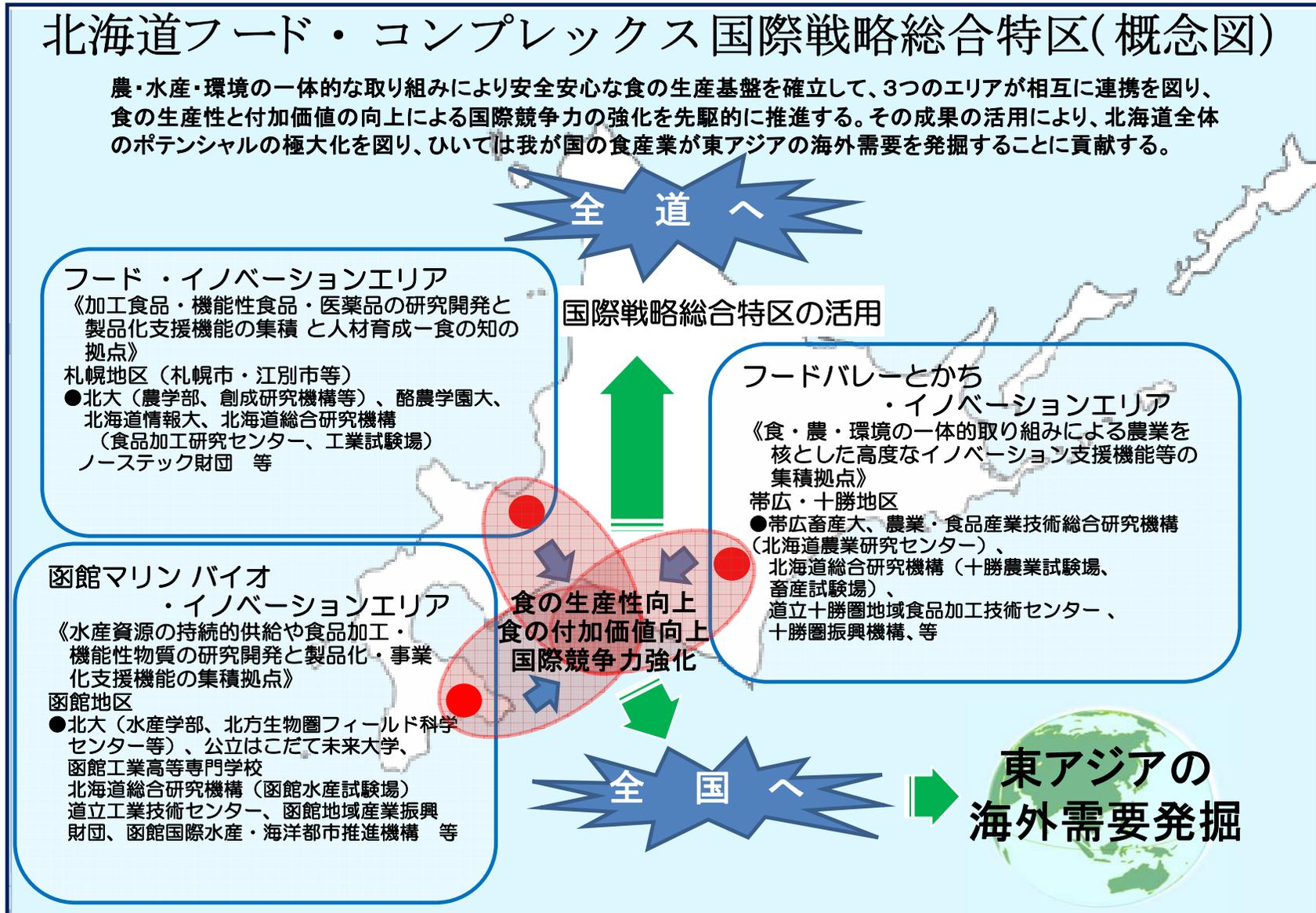
出典：「2010 十勝の農業」、十勝総合振興局ホームページほか

国際戦略総合特区

～フードバレーとかち・イノベーションエリア～

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区(概念図)

農・水産・環境の一体的な取り組みにより安全安心な食の生産基盤を確立して、3つのエリアが相互に連携を図り、食の生産性と付加価値の向上による国際競争力の強化を先駆的に推進する。その成果の活用により、北海道全体のポテンシャルの極大化を図り、ひいては我が国の食産業が東アジアの海外需要を発掘することに貢献する。



北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区が国の第一次指定を受けました(平成23年12月22日)

～総合特別区域法によるメリットを是非、ご活用ください～

規制の特例措置

◇既に活用できる特例措置

- 工業地域等における用途規制の緩和(総特法第21条)
(建築基準法の特例:同法第48条第1～12項の用途地域等の適用関係)
- 特別用途地区内における用途制限の緩和(総特法第22条)
(建築基準法及び都市計画法の特例:総合特別区域法第21条適用の建築基準法建築物整備事業にかかる都市計画法第8条第1項第2号の特別用途地域の適用関係)
- 工場立地に係る緑地規制の特例(総特法第23条)
(工場立地法及び企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の特例:工場等新增設促進事業にかかる緑地面積率の適用権限関係)
- 財産の処分の制限に係る承認の手続きの特例(総特法第29条)
(補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の特例:同法第2条第2項第4号事業にかかる補助金等交付財産の転用手続の特例)
- 工場等の高度化事業の市町村経由での実施(総特法第30条)
(中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律の特例:同法第2条第2項第5号の中小企業者が行う総合特区施設整備促進業務への独立行政法人中小企業基盤整備機構からの貸付の特例)
- 通訳案内士以外の者による有償ガイドの特例(総特法第20条)
(通訳案内士法の特例)

◇今後は、地域が提案する特例措置を「国と地方の協議会」の協議を経て

- 法律で定められている規制の特例措置を、総合特別区域法の中で規定し、活用できます。
また、法律に基づく政令や省令等で規定されている規制の特例措置についても、総合特別区域法の施行令(政令)や施行規則(省令)に規定し、活用できます。
(総特法第24条)
- さらに、地方公共団体の事務に関しても、法律に基づき政令または省令で規定することとされている事項のうち、総合特別区域法の施行令や施行規則で定めるものについては、法改正をすることなく、当該事項の特例措置を条例で定め、活用できます。
(総特法第25条)

税制上の支援措置

◇産業の国際競争力強化のため法人税の軽減措置が受けられます。
(各事業年度ごとに、以下の①～③の措置のいずれかを選択できます:総特法第26・27条)

- ①投資税額控除
新たな機械、建物等の取得価額の15%(建物等は8%)を法人税額から控除
- ②特別償却
新たな機械、建物等の取得価額の50%(建物等は25%)を普通償却額に上積み
- ③所得控除
専ら特区内で規制の特例措置を活用した事業を行った場合、その事業により生じた課税所得の20%を損金に算入(5年間)

財政上の支援措置

- ◇総合特区計画の実現を支援するため、各府省庁の予算制度を重点的に活用
- ◇不足する場合は、総合特区推進調整費(H23予算151億円)で補完(最長3年間)
- ◇国際戦略総合特区は、計画年あたり20億円を上限

金融上の支援措置

◇総合特区の推進に資する事業に必要な資金の金融機関からの借入れに対して、当該金融機関が「地域協議会」の構成員になっている等の要件を満たしている場合、予算の範囲内(H23予算額1.5億円)で、最大0.7%、5年間の「総合特区支援利子補給金」の支給が受けられます(総特法第28条)。

HFC国際戦略総合特区 帯広・十勝の規制・制度等要望事項一覧



帯広市の
相談窓口

施策方向	要望事項	規制・制度の特例措置	税制上の特例措置	財政上の支援措置	その他支援措置
安全で高品質な農畜産物の生産	交換分合事業の適用拡大	●			
	畑作等を対象とした公社営農場リース事業の創設	●			
	農地の贈与税納税猶予制度の拡充		●		
	農地の譲渡所得税の特別控除額の拡大		●		
	農地保有合理化事業の面積要件の緩和	●			
	農業生産法人への農地権利移動に関わる譲渡所得税の軽減		●		
	外国人労働者の就労ビザ発給の規制緩和	●			
	農業用貨物自動車の車検期間の延長	●			
	農業関連施設の建築基準等の緩和	●			
	貨物自動車運送事業法に基づく車両台数公示基準の緩和	●			
農業生産技術の高度化	中核的担い手組織(コントラクター)の活動に必要な施設等の整備に対する支援制度の創設			●	
	リモートセンシング技術等の農業への活用に関する研究開発に対する支援制度の創設			●	
空撮用ヘリコプターに対する航空法による許可の規制緩和		●			
バイオガスの生産・活用	バイオガス消化液の有機肥料認定	●			
	混合発酵によるバイオガス消化液の有機肥料認定	●			
	バイオガスプラント運営事業者の免税措置		●		
	汎用型エネルギーカスケード利用の構築に伴う支援措置			●	
	送電線の架設費用の事業者負担分の補助拡充			●	
	バイオエネルギー利用農業機械改造費用の補助制度			●	
	混合発酵処理を行う際の特例措置				●
バイオエタノールの生産・活用	ETBE混合ガソリン(バイオエタノール換算3%)へのバイオエタノール7%程度の直接混合の緩和	●			
	ED95のバイオエタノール高濃度燃料における排出ガス規制の緩和	●			
	ED95のバイオエタノール高濃度燃料を給油するためのユニット式燃料給油所(欧州規格品)の限定使用、設置認可	●			
	課税済みガソリンへのバイオエタノール混和に対する揮発油税の課税免除		●		
	バイオ燃料(E3、E10)普及・促進のためのインフラ整備			●	
	ED95のバイオエタノール高濃度燃料を普及するための一連の支援措置			●	
	バイオエタノールのマテリアル利用(バイオプラスチック)に関する支援措置			●	
バイオディーゼル燃料の生産・活用	BDF混合率の上限緩和(B20)	●			
	特定特殊自動車の使用燃料に関する規制緩和	●			
	軽油取引税の減免措置		●		
	原料となる軽油の入手ルートの固定化の緩和措置				●
研究開発拠点の拡充とネットワーク強化	HACCP対応設備投資補助制度の創設			●	
	新たな食の機能性・安全性に関する高度な技術開発に伴う補助基準の緩和	●			
	地域イノベーションクラスタープログラム(都市エリア型)の継続実施			●	

【農政部 農政課】
電話
0155-59-2323
(農業技術センター)
0155-65-4170
(農政部)
メールアドレス
agri@city.obihiro.hokkaido.jp

【市民環境部 環境モデル都市推進室】
電話
0155-65-4235
メールアドレス
model_project@city.obihiro.hokkaido.jp

【商工観光部 工業労政課】
電話
0155-65-4167
メールアドレスkogyo@city.obihiro.hokkaido.jp

【産業連携室】
電話
0155-65-4163
メールアドレス
relation@city.obihiro.hokkaido.jp

平成23年11月18日
産業経済委員会提出資料

ばんえい十勝にぎわい創出プロジェクト
「とがちむら」

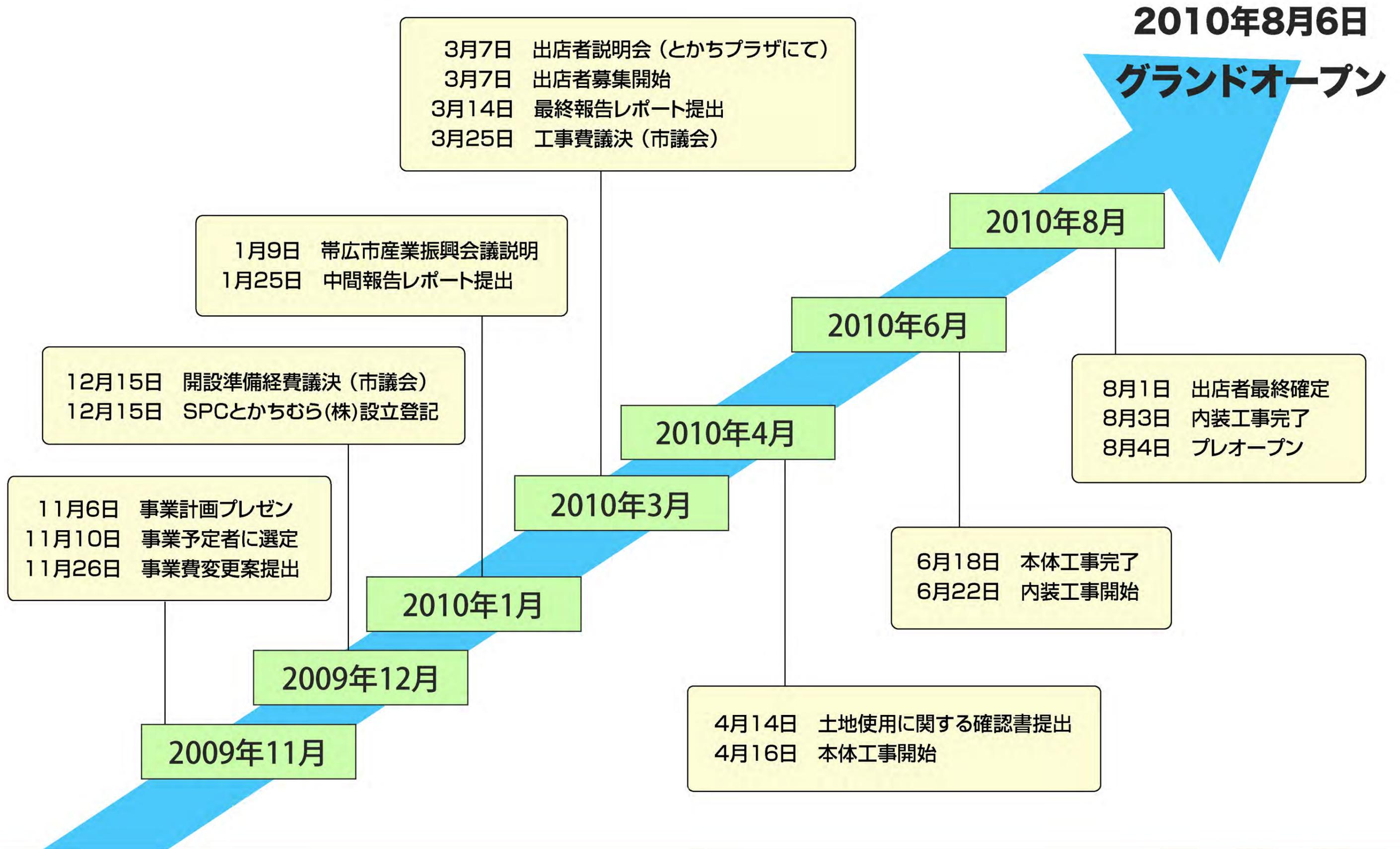
営業実績報告レポート

(平成22年8月6日～平成23年8月5日)

平成23年11月1日

SPCとがちむら株式会社

事業経過	-----	2
施設コンセプト	-----	3
現況およびイベント時写真	-----	4
施設配置図	-----	5
1年目実績	-----	6
売上実績	-----	6
1年目イベント実施・販促活動実績	-----	8
開業1年目を振り返っての問題点	-----	10
2年目運営計画	-----	11
2年目の運営方針	-----	11
2年目販促計画（イベントカレンダー）	-----	12



C O N C E P T

とがちむら

帯広・十勝の魅力を 市民・観光客に発信する拠点づくり

十勝の大きな魅力である豊かな自然環境と、そこから生み出される上質な「農・畜・水産品」をより身近に感じられる新たなレクリエーションの場は、十勝の人々のみならず、観光客をも惹きつけます。

ばんえい競馬・ばんばの魅力を 広める拠点づくり

世界で唯一、帯広でしか見られない「ばんえい競馬」は十勝の開拓の歴史と文化を伝える貴重な資源です。多様な目的で来場した人々に積極的に情報を発信し、「ばんば」そのものが観光目的の一つとなるよう演出しました。



環 境 C O N C E P T

賑わいを演出する景観づくり

敷地は、シンボルツリーを中心に配したロータリーに面する入口前の広場をメインとし、施設は、小さな家や小屋が建ち並ぶ集落のような開放的空間を作ることにより、賑わいを創出しました。人々は、駐車場から集落的商業空間を通り

抜け、賑わいを感じながら、ばんえい競馬の場内へと向かいます。通り抜ける途中の店舗には、透明なガラスを配し開放的な店舗構えにする事により、外を歩く人にも中の様子が分かり、気軽に立ち寄れる空間を作りました。

十勝らしさを感じるデザイン

施設は木造とし、外壁や建築素材に十勝産のカラマツを様々な形で用いる事により、十勝の地域性を体感出来る環境を創出しました。また、特定のイメージによることなく、十勝風の新しい建築をデザインし、名所となる環境を作りました。

産直ゾーン

とがちむら
産直市場

飲食ゾーン

とがちむら
キッチン

物販ゾーン

とがちむら
スイーツ&セレクト

入口付近



「アスパラ無料配布」



「ジャズナイト」



「チョコレートファウンテン」



「フラダンス実演」



メインストリート



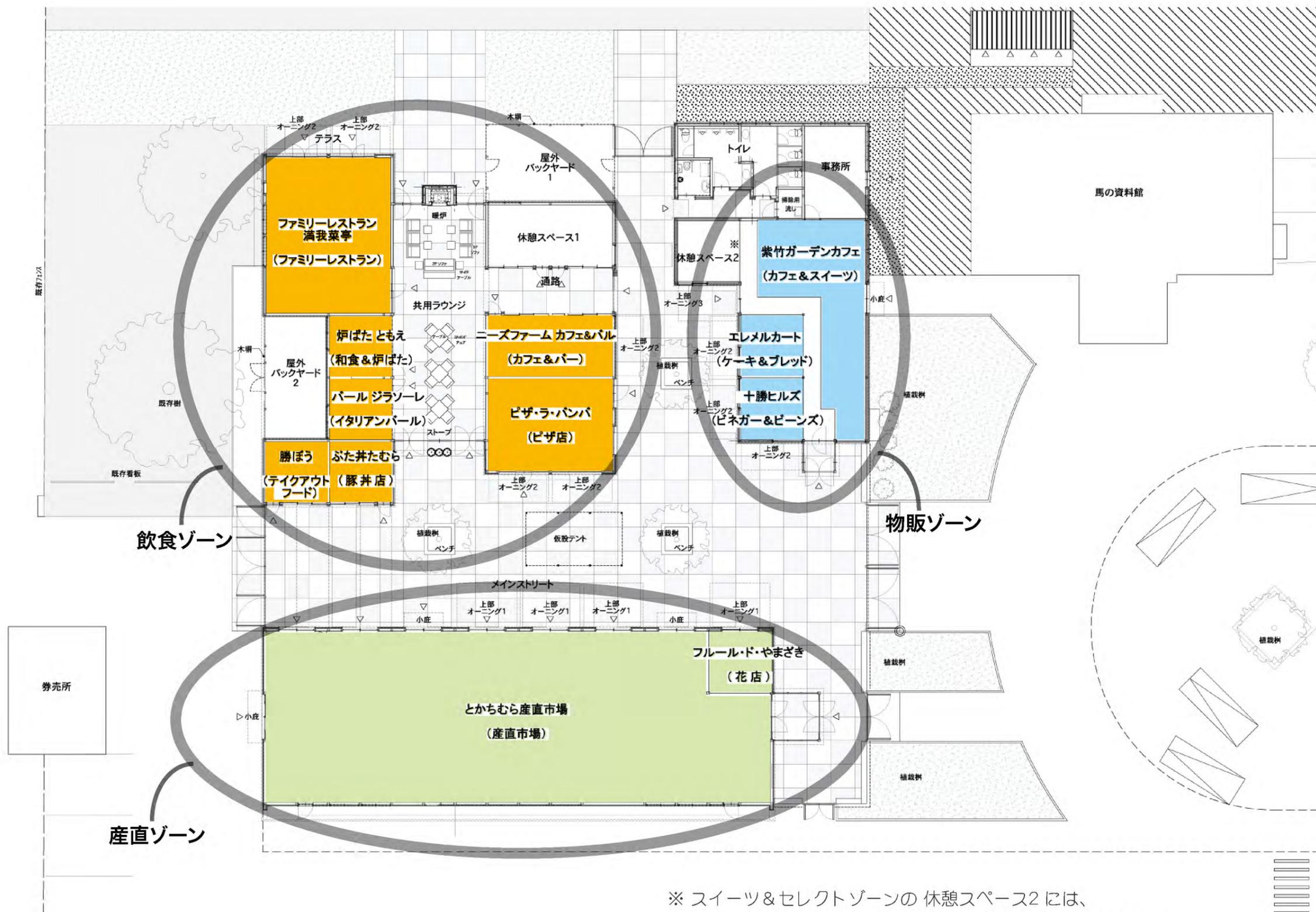
キッチン棟共用ラウンジ



産直市場店内



■「とちむら」開業時 店舗配置



※ スイーツ&セレクトゾーンの 休憩スペース2 には、
平成23年6月25日より チューインガム(アクセサリ&雑貨) が出店

■売上実績①

【実績】（平成22年8月6日～平成23年8月5日）

年間売上金額 186,001,346円

年間来場者数 395,586人

施設内雇用者数 51人

店舗数 12店舗

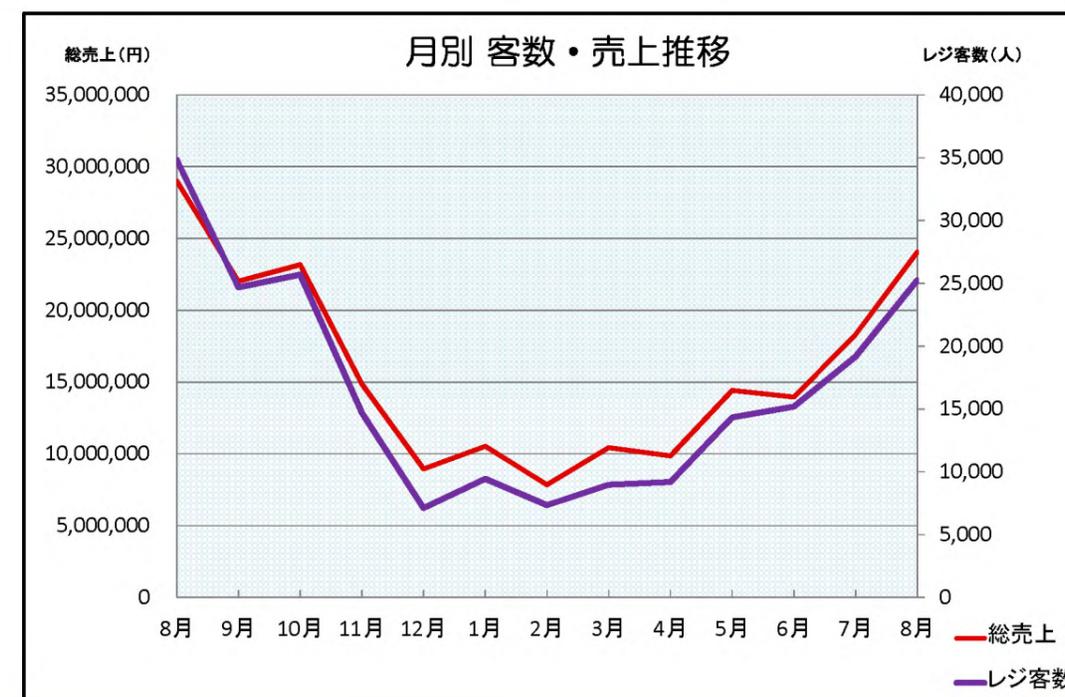
産直ゾーン：2店舗 飲食ゾーン：7店舗 物販ゾーン：3店舗

◆ 月別実績

○ 傾向

- ・ 冬期（12月～3月）のレジ客数、売上がともに低迷している。
- ・ 競馬の人気レースのない月（12月、2月）の売上が低迷している。
- ・ 客単価については、夏期の方が低額になる傾向がある。

	レジ客数(人)		総売上(円)		客単価(円)
	総数	1日平均	総数	1日平均	1日平均
平成22年8月(6日～)	34,816	1,339	29,007,745	1,115,683	833
9月	24,688	823	22,020,117	734,004	892
10月	25,698	829	23,168,374	747,367	902
11月	14,703	490	14,866,707	495,557	1,011
12月	7,111	229	8,950,270	288,718	1,259
平成23年1月	9,450	305	10,534,820	339,833	1,115
2月	7,354	263	7,855,530	280,555	1,068
3月	8,974	289	10,437,995	336,710	1,163
4月	9,195	307	9,862,093	328,736	1,073
5月	14,333	462	14,424,506	465,307	1,006
6月	15,187	506	13,955,701	465,190	919
7月	19,172	618	18,307,565	590,567	955
8月(～5日)	2,639	528	2,609,923	521,984	989
平成22年8月6日～ 平成23年8月5日	193,320	530	186,001,346	509,593	962
(参考)平成23年8月	25,256	815	24,051,269	775,847	952



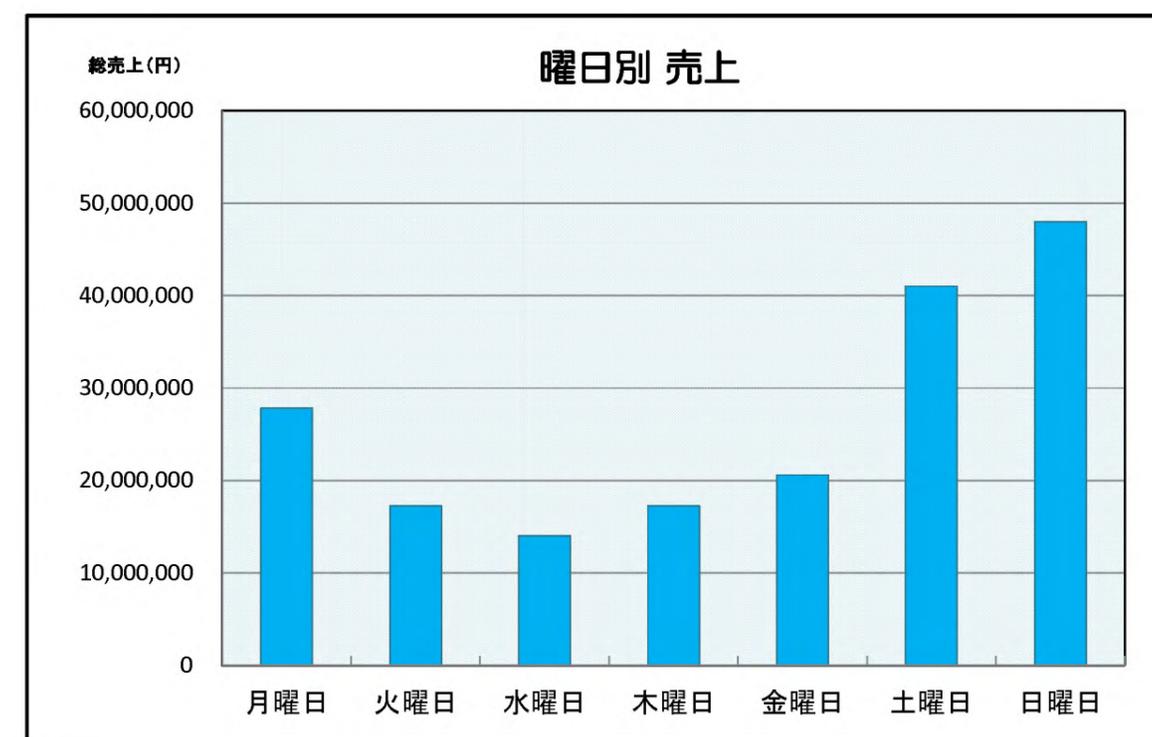
■売上実績②

◆ 曜日別実績

○ 傾向

- ・ 週末（土曜日・日曜日）は他の曜日と比べて、レジ客数・総売上がともに大きく増加している。
- ・ 月曜日は他の平日と比べて、1.5～2倍程度のレジ客数・総売上を記録している。
- ・ 水曜日が他の平日と比べて最も数値が低い。（平成22年11月から平成23年7月までの期間において、キッチンゾーン各店の定休日が水曜日に集中していた。）

	日数	レジ客数(人)		総売上(円)		客単価(円)
		総数	1日平均	総数	1日平均	1日平均
月曜日	52	28,363	545	27,820,098	535,002	981
火曜日	52	17,158	330	17,257,268	331,871	1,006
水曜日	52	14,262	274	14,020,722	269,629	983
木曜日	52	16,148	311	17,287,745	332,457	1,071
金曜日	53	19,491	368	20,603,022	388,736	1,057
土曜日	52	44,493	856	41,023,575	788,915	922
日曜日	52	53,405	1,027	47,988,916	922,864	899
平成22年8月6日～ 平成23年8月5日		193,320	530	186,001,346	509,593	962



■「とちまちら」1年目イベント実施・販促活動実績①

●期間: 平成22年8月～平成23年2月

実施日	実施イベント	広告宣伝等 販促活動
平成22年8月		
6日(金)		・HTB「イチオシ」テレビ生中継(開業日)
6日(金)～8日(日)	・茹で上げスイーツ無料配布	
13日(金)	・各店による屋外販売	
31日(火)		・雑誌「しゅん」9月号 1ページ広告
9月		
18日(土)～20日(月)	・とちまちら秋フェスタ (野菜即売会、イモつめ放題、各種試食、豆即売会、限定メニュー)	
28日(火)		・雑誌「Chai」10月号 見開き広告
10月		
6日(水)		・STV「どさんこワイド」テレビ生中継
9日(土)～11日(月)	・縁日コーナー ・越冬野菜先取り市 ・豆腐製品等屋外販売	
10日(日)	・とちまちマッシュDay限定料理フェア	
16日(土)・17日(日)	・道産米食べ比べイベント ・海鮮品等屋外販売	
22日(金)		・STV「ズームインSuper」テレビ放送
22日(金)		・UHB「トークで北海道」テレビ放送
23日(土)・24日(日)	・越冬野菜対面販売 ・揚げかまぼこ等屋外販売	
30日(土)・31日(日)	・秋化祭 (各店限定メニュー、ホットスープ無料配布、お菓子スタンプラリー)	
11月		
3日(水)	・海鮮品屋外販売	
6日(土)～8日(月)	・各店による屋外販売 ・海鮮品・ソーセージ等屋外販売	
6日(土)・7日(日)	・イタリアンヌーボーパーティ	
13日(土)・14日(日)	・揚げかまぼこ等屋外販売	
20日(土)	・十勝ピザ試食モニタリング (十勝帯広地域ブランド化推進研究会)	
28日(日)	・レディース特典	
29日(月)		・雑誌「Chai」12月号 1ページ広告

実施日	実施イベント	広告宣伝等 販促活動
12月		
3日(金)・4日(土)	・十勝ワインヌーボーパーティ	
11日(土)	・イルミネーション点灯式 (ホットドリンク無料引換、各店タイムサービス)	
13日(月)		・HBC取材「今日ドキ」テレビ放送
21日(火)		・雑誌「Chai」1月号 1ページ広告
25日(土)・26日(日)	・クリスマスイベント (競馬場クイズ大会景品提供、アフタークリスマス抽選会)	
30日(木)	・餅つき大会 ・餅料理フェア	
平成23年1月		
1日(土)～31日(月)		・OCTVテレビ 3分CM(1日1回)
1日(土)～31日(月)		・FM-JAGAラジオ広告(週2回/1回3～5分)
4日(火)	・餅まき大会	
7日(金)		・OCTVテレビ生出演
8日(土)～10日(月)	・新成人への割引特典	
9日(日)		・成人式会場にてリーフレット&チラシ配布
21日(金)・22日(土) 28日(金)・29日(土)	・キャンドルナイト	
23日(日)・24日(月)	・レディース特典	
25日(火)		・雑誌「Chai」2月号 1ページ広告
28日(金)		・OCTVテレビ生出演
29日(土)・30日(日)	・競馬場冬まつり (子ども縁日、抽選会、スタンプラリー、氷グラスづくり体験、氷のレリーフ設置、ウェルカムドリンク提供、池田高校吹奏楽生演奏、各店による屋外販売)	
29日(土)～2月3日(木)	・恵方巻フェア	
2月		
1日(火)～28日(月)		・OCTVテレビ 3分CM(1日1回)
1日(火)～28日(月)		・FM-JAGAラジオ広告(週2回/1回3～5分)
3日(木)	・豆まき大会	
3日(木)～6日(日)	・豆料理フェア	
4日(土)・5日(日) 11日(土)・12日(日) 18日(土)・19日(日) 25日(土)・26日(日)	・キャンドルナイト	
11日(金)		・OCTVテレビ生出演
11日(金)～13日(日)	・バレンタインウィークエンド (ハートのイルミネーション設置、おとな縁日、ドーナツプレゼント、記念写真コーナー、チョコレートファウンテン)	
22日(火)		・雑誌「Chai」3月号 1ページ広告
24日(木)		・FM-WINGラジオ生出演

■「とちまち」1年目イベント実施・販促活動実績②

●期間: 平成23年3月～平成23年7月

実施日	実施イベント	広告宣伝等 販促活動
3月		
1日(火)～31日(木)		・OCTVテレビ 3分CM(1日1回)
1日(火)～31日(木)		・FM-JAGAラジオ広告(週2回/1回3～5分)
1日(火)		・FM-WINGラジオ生出演
3日(木)		・FM-WINGラジオ生出演
4日(金)		・OCTVテレビ生出演
5日(土)・6日(日)	・亜麻フェア	
5日(土)	・アコースティックギター生演奏	
10日(木)		・HTB「ゴトーチ」テレビ放送
12日(土)・13日(日)		・札幌地下歩行空間にてPR活動
12日(土)・13日(日)	・とちまち春まつり① (スタンプラリー、試食フェア、食材フェア、 縁日、トークショー)	
13日(土)		・豆祭り会場にてPR活動
19日(土)・20日(日)	・とちまち春まつり② (スタンプラリー、とちまちマッシュ料理フェア、 餅まき、チョコレートファウンテン、 ピザ・チーズ作り体験)	
20日(日)		・BS日テレ「北海道すたいる」テレビ放送
21日(月)	・道新カルチャーまつり (縁日、ミニライブ、ゲーム大会、紙芝居等)	
27日(日)		・札幌地下歩行空間にてPR活動
28日(火)		・雑誌「Chai」4月号 1ページ広告
4月		
1日(金)～		・雑誌「北海道の歩き方」広告
1日(金)～30日(土)		・OCTVテレビ 3分CM(1日1回)
2日(土)・3日(日) 16日(土)・17日(日)	・寿司&串まつり(炉ばたともえ)	
2日(土)・3日(日)	・サラダフェア(産直市場)	
5日(火)	・手作りピザ教室(ピザラバンパ)	
9日(土)・10日(日)	・ご当地野菜フェア(産直市場)	
14日(木)	・春の花束づくり講習会(フルールドやまざき)	
16日(土)・17日(日)	・チーズ&牛乳フェア(産直市場)	
17日(日)	・チョコレートファウンテン	
18日(月)	・とちまち青空レディ認証式・引継式	
23日(土)・24日(日)	・野菜苗販売フェア(産直市場)	
26日(火)		・雑誌「Chai」5月号 1ページ広告
29日(金)		・十勝毎日新聞 半5段広告

実施日	実施イベント	広告宣伝等 販促活動
5月		
3日(火)～5日(木)	・チョコレートファウンテン	
6日(金)	・とちまちジャズナイト	
7日(土)・8日(日)	・スタンプラリー	
21日(土)～6月5日(日)	・アスパラフェア(産直市場) ・アスパラ料理フェア	
25日(火)		・雑誌「Chai」6月号 1ページ広告
27日(金)		・十勝毎日新聞 半5段広告
28日(土)・29日(日)	・方言あてクイズゲーム	
6月		
4日(土)	・フラダンス実演 ・アスパラ無料配布	
9日(木)	・とちまちジャズナイト	
10日(金)		・十勝毎日新聞 半5段広告
11日(土)・12日(日)	・とちまちこどもフェスタ (ひまわり種植え体験、親子クイズラリー、 縁日)	
19日(日)	・チョコレートファウンテン	
26日(火)		・雑誌「Chai」7月号 1ページ広告
7月		
1日(金)～		・雑誌「まんぷく十勝」1ページ広告
1日(金)～31日(日)	・産直野菜&とちまちマッシュの料理フェア	
1日(金)		・十勝毎日新聞 半5段広告
2日(土)・3日(日) 9日(土)・10日(日) 17日(日) 24日(日) 31日(日)	・産直朝市	
9日(土)・10日(日)	・こどもビンゴゲーム	
9日(土)	・バンド生演奏	
14日(木)	・とちまちジャズナイト	
24日(日)	・ヘンプマルシェ(麻製品見本市) ・麻メニュー対応	
26日(火)		・雑誌「Chai」8月号 1ページ広告
31日(日)		・十勝毎日新聞 半3段広告

■「とちまち」開業1年目を振り返っての問題点

1. 入居テナント数の不足

年間売上が目標達成に至らなかった要因として、入居テナント数が当初計画を下回ったことが挙げられる。

- ・産直ゾーンの小区画店舗：10店舗 ⇒ 1店舗
- ・飲食ゾーン：10店舗 ⇒ 7店舗
- ・物販ゾーン：4店舗 ⇒ 3店舗

2. 競馬非開催日と夜間における客数の低迷

競馬非開催日及び夜間における客数の低迷とそれに伴う各店舗の売上減少は、1年を通しての課題として挙げられる。

3. 冬期における客数の低迷

夏期、特に7月から8月にかけての夏休みシーズンにおいては、観光客（特に団体ツアー客）の来場がある程度見込まれることが、平成23年7月・8月の状況を見ても見受けられるが、冬期においては、競馬場にて人気レース・大型イベントの実施がない日は、客数・売上ともに低迷した。

4. 競馬場来場者のとちまち利用の低迷

競馬場敷地内に来場したにも関わらず、とちまち内の店舗を利用しない方が多く存在した。

5. 地元住民への認知度の不足

帯広および近隣町村に住む地元住民に対して施設の認知度が低いことも、経常的な集客力向上に向けての課題である。開業時の告知不足と「観光交流拠点施設」という位置づけによる影響からか、地元住民の中には「観光客が行く場所」というイメージを抱いている人が多い。また、開業当初は各店のメニュー構成・価格設定も、地元客がリピート利用するのに十分に適していなかった。

6. リピート利用率の低迷

イベント企画・販促広告など様々な対応策を実施したものの、リピーターの定着には至らなかった。

7. 産直市場の魅力不足

「とちまち産直市場」は出店テナントの中で最大面積を占める集客装置となるべき店舗であるが、地元産農産品の出品数が減少する冬期における商品構成と品揃え強化が困難であった。

売上目標にむけ営業成績を改善するには、次に3点強化が重要である。

1. 平日・夜間・冬期における集客力向上
2. 地元での認知度向上
3. 産直市場の営業力強化

■「とちむら」2年目の運営方針

◆「市民に愛される とちむらづくり」

「ここに来ると楽しい」「好きなお店がたくさんある」「いつも新しい何かがある」「ついつい行って過ぎてしまう」「十勝を代表する施設だよね」…
 そう認知されることを目指し、ここで遊んだ子供たちが将来「とちむらが懐かしい」と思ってくれる、そんな市民に親しまれる施設づくりを目指します。

■いつもワクワクがある!

イベント・販促活動を充実させ、市民がワクワクする施設へ。

- ・年間を通じたイベントの実施とその周知
- ・子供の遊び場づくりのためのシーズン販促
- ・大人の社交場づくりのための定番販促
- ・市民利用のための企画案（レディースデイ、発表会イベント等）

■魅力的な店が集まる!

個々のテナント力を強化し、店舗の魅力があふれる施設へ。

- ・各店舗への商品&メニュー開発の指導とサポート
- ・各店舗へのプレゼンテーションの指導とサポート
- ・接客サービス力向上のためのテナント向け接客セミナーの実施
- ・宴会プランの見直し（ばんえい連動プラン、女子会プラン）

■いろんな試みがある!

認知度&集客力アップの施策で、より賑わいある施設へ。

- ・口コミで魅力を伝えてくれるリピーターづくり
- ・ばんえい競馬との更なる連携（イベント販促、来客の相互誘導）
- ・市内他地域との連携／運転代行・タクシーサービスの導入
- ・ホームページのリニューアル

■いつでも快適に、楽しく過ごせる!

ハード面での改善を施し、市民がより訪れやすい施設へ。

- ・夏の暑さ・冬の寒さ対策、雨対策、虫対策となる設備の追加
- ・白樺通り側および入口付近への看板や広告物の追加
- ・屋外共用客席の追加
- ・館内サインの修正・強化
- ・子供用遊具や椅子の追加

■「とちむら」2年目販促計画

とちむらイベントカレンダー（平成23年8月～平成24年4月）

	企画名	期間	平成23年															
			8月			9月			10月			11月			12月			
			前	中	後	前	中	後	前	中	後	前	中	後	前	中	後	
シーズン販促	七夕フェア	8月1日～7日	●															
	1周年企画	8月6～7日	●															
	かちまい花火大会	8月13日		●														
	平原祭り	8月14日～15日		●														
	JRAジョッキーDAY	8月22日			●													
	秋の味覚フェア	9月17日～10月31日				●	●	●	●	●								
	学習の秋・親子体験フェア	9月17日～10月31日				●	●	●	●	●								
	ふわふわドーム/ワゴン市	9月17～19日				●												
	収穫祭/秋祭り(縁日)	9月23日～25日					●											
	ジョブちやれ	10月1、2、8、9、10日							●									
	とちむらダンスサミット	10月10日							●									
	ばんば祭り	10月15、16日								●								
	ハロウィン	10月25日～31日										●						
	冬時間スタート	11月1日～4月28日																
	イタリアンヌーボーパーティ	11月5～6日										●						
	クラブツーリズム団体ツアー	11月5～7日										●						
	ボジョレーヌーボーコース	11月17～20日											●					
	とちむらキッズニア	11月1日～30日の土日										●	●	●				
	イルミネーション点灯式	12月1日															●	
	クリスマスフェア	12月1日～12月25日															●	●
忘年会プラン	12月1日～12月30日															●	●	
十勝ワインヌーボーパーティ	12月3～4日															●		
歳末フェア	12月26日～12月31日																●	
クリスマスオードブル受付	12月1日～12月20日															●	●	
お正月オードブル受付	12月1日～12月26日															●	●	
定番企画	産直朝市	7月～9月の毎週日曜日	●	●	●	●	●	●										
	レディースデイ	毎週金曜日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ボードゲーム大会	毎月第1水曜日	●			●			●			●			●			
	ジャズナイト	毎月第2木曜日		●			●			●			●			●		
	アコースティックナイト	不定期																
	歌謡ナイト	不定期																
	とちむらクエスト	毎日							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	こども村長体験	毎週土・日				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ホットマグフェスタ	10月23日～3月31日								●	●	●	●	●	●	●	●	●
	がんばろう日本スポーツナイト	スポーツイベント時																
	発表会イベントによる貸切	不定期																

	企画名	期間	平成24年															
			1月			2月			3月			4月						
			前	中	後	前	中	後	前	中	後	前	中	後				
シーズン販促	初売り	1月1日～3日	●															
	新春フェア	1月4日～7日	●															
	成人の日フェア	1月8日～9日		●														
	氷祭り	1月27日～29日										●						
	鍋祭り	1月～2月	●	●	●	●	●	●										
	節分フェア	2月1日～3日										●						
	バレンタインフェア	2月4日～14日										●	●					
	真冬の外焼肉	2月9日											●					
	ひな祭り	2月15日～3月3日											●	●	●			
	ホワイトデーフェア	3月4日～14日													●	●		
	イルミネーション修了式	3月31日															●	
	歓送迎会プラン/PTA打上げ	3月15日～4月20日													●	●	●	●
	入進学フェア	3月15日～4月20日													●	●	●	●
	新入社員歓迎会	4月1日～4月31日															●	●
	畑起こしイベント	4月半ば															●	
	ばんえい開幕	4月20日前後															●	
	夏時間スタート	4月29日～10月31日																
	GW子供フェア	4月29日～5月6日																●
	母の日フェア	5月12日、13日																●
	定番企画	産直朝市	7月～9月の毎週日曜日															
レディースデイ		毎週金曜日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ボードゲーム大会		毎月第1水曜日	●						●			●			●			
ジャズナイト		毎月第2木曜日		●			●			●			●			●		
アコースティックナイト		不定期																
歌謡ナイト		不定期																
とちむらクエスト		毎日							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
こども村長体験		毎週土・日				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ホットマグフェスタ		10月23日～3月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
がんばろう日本スポーツナイト		スポーツイベント時																
発表会イベントによる貸切		不定期																

帯広市ホームページの改定について

人と環境にやさしい 活力ある 田園都市 おびひろ

帯広市 Obihiro City

トップページ [くらしのガイド](#) [観光](#)

知りたい情報を探す・検索

探したいことを下の枠内

WEBを検索 帯広市

いざというときに

夜間・休日の医療機関
緊急ダイヤル AEDマップ
避難場所 洪水避難地図
防災マップ
不審者出没マップ
子ども安全ネットワークシステム

トピックス

掲載情報更新しまし
市嘱託職員(45人)
ごみ収集車に火災
【ごみ・リサイクル】
ニュース・公表資料
「十勝管内でのイ
掲載情報更新しまし
ここに健康・福祉

くらしのガイ

子育てやごみなど生

国保加

掲載

東日本大震災関係

フードバレーとかち

推進アクション

「フードバレーとかち」の基本
方向や展開方針、推進体制な
どについて掲載しています。

フードバレーとかち

とかちの観光トピックス

帯広・十勝で開催される観光
イベントや魅力を深める体験
イベントなどを案内します。
家族や友達と一緒に十勝の魅
力を堪能しましょう！

帯広市の農業

輸作体系に基づく、小麦、豆
類、てん菜、馬鈴しょを中心
とした畑作、酪農・畜産等、大規
模で機械化された土地利用型
農業を展開しており、日本の食
料供給基地としての役割を担
っています。

フードバレーとかちの
産業振興・企業支援

フードバレーとかちのプレーヤーとなる中小企業等を
振興する各種関連施策を紹介します。

おびひろのプロフィール

新設！

北海道農業推進
無で動くトラクタ
とかちを旅する自
十勝でサイクリン
北海道フード・コン
フード・コンプレッ

フードバレーとかちの産業振興・企業支援

フードバレーとかちのプレーヤーとなる中小企業等を振興する

帯広市産業振興ビジョン

帯広市は、中小企業振興のための長期的な指針として産業振
興1年3月にこの帯広市産業振興ビジョンの推進について協議を

帯広市産業振興ビジョン **帯広市産業振興会議**

帯広市の制度資金・補助金

企業の制度資金の融資や補助金による支援を実施している

- ・[帯広市の中小企業振興融資制度](#)
- ・[特定中小企業認定\(中小企業信用保険法\)](#)
- ・[中小企業者等の人材育成を応援します！](#)
- ・[新エネルギーを導入される方に補助します](#)
- ・[ものづくり総合支援補助金](#)
- ・[帯広市の企業立地補助制度のご案内](#)
- ・[子育て応援事業所促進奨励金](#)

○帯広市フードバレーとかちの紹介ページから、産業振興・企業支援施策を紹介するページを開設

○帯広市産業振興ビジョンの紹介ページの内容

- ・産業振興ビジョン概要
- ・ビジョン事業の進捗状況
- ・中小企業振興基本条例概要

○帯広市産業振興会議の紹介ページの内容

- ・会議の設置目的等
- ・過去開催会議の議事録、資料

◎帯広市産業振興ビジョン 事業シート評価の手法

【1. 評価の視点】

- ・産業振興ビジョンでは地域産業の目指す姿を『地域力をいかした活力ある地域産業の形成』とし、以下の3つの視点に基づき、中小企業者、経済団体、行政などの適切な役割分担、協働のもと、地域産業の振興に関する施策を展開することとし、50事業82項目の事業を掲げております。

視点1 地域資源を活用した産業の振興
視点2 産業間・産学官連携による産業の振興
視点3 中小企業の活性化による産業の振興

- ・今回の評価にあたっては、ビジョン事業を立案する背景となった平成19年時点での議論から時間が経過したことから、
①事業手法が時代に合ったものとなっているか
②委員が関係している事業や地域課題にとってどういう関係性があるのか
の観点から率直に皆さんの意見を伺うものです。

ビジョン事業に新たな項目を加えたり、廃止したりするフレームの見直し作業は、策定から5年経過後となっていることから、平成25年度にその作業を実施する予定です。

【2. 作業の流れ】

1. 帯広市産業振興ビジョンで掲げた事業について、評価表に基づき評価の視点の①、②の観点から以下の4段階で評価をしていただく。

4. 優先度が高い 3. 優先度が比較的高い 2. どちらでもない 1. 優先度が低い



2. 評価結果を第3回産業振興会議に提示し、議論の深掘りの手法について検討



3. 議論の深掘り（新たな視点、事業者側のニーズに基づいた事業の構築）

・事務局側で、ビジョン事業についての総合計画、公約との関係を整理

→市民、中小企業委員視点からの事業の点検

事業シート評価表

(委員名:)

1. 中小企業経営基盤の強化			
	展開事業		委員評価
1-1	6 創業・起業応援(重点プロジェクト)	教育委員会等との調整、教育カリキュラム等への組入れ(体験型含む)	
1-2	6 創業・起業応援(重点プロジェクト)	情報提供やアドバイスがワンストップで可能となる相談体制の構築・推進	
1-3	6 創業・起業応援(重点プロジェクト)	創業・起業支援フェアの開催	
1-4	7 創業・起業実践(重点プロジェクト)	情報提供方法やサポート体制の検討	
1-5	7 創業・起業実践(重点プロジェクト)	創業支援のための融資制度の拡充	
1-6	1 中小企業総合相談機能整備(重点プロジェクト)	地域支援機関との連携による総合的支援体制の構築	
1-7	1 中小企業総合相談機能整備(重点プロジェクト)	総合的情報発信の仕組みの検討・推進	
1-8	9 事業承継・事業再生支援(重点プロジェクト)	関係支援機関との連携 相談・応援体制の整備・推進、セミナー開催・専門家派遣	
1-9	2 仮称・産業振興会議の運営	産業振興ビジョンの推進組織の運営、進捗状況の検証	
1-10	4 同業種・異業種交流の組織化と情報提供	関係機関のサポートによる効果的な交流の促進	
1-11	5 組織化促進・中小企業団体の育成	中小企業者の組織化、中小企業団体の育成など中小企業の振興支援	
1-12	8 融資制度の充実	中小企業の資金繰り円滑化、中小企業融資制度の充実	
1-13	10 商業関係団体支援	商業振興のための活動支援	
1-14	11 商店街活性化・商店街団体支援	商店街活性化のために行う共同事業等に対し支援する事業(ハード、ソフト、イベント等)	
1-15	12 ものづくり相談支援(新事業・新分野進出)	ものづくり総合支援補助金による支援の実施	
1-16	13 地域経済の調査・分析	調査分析の効果的実施、有効活用等	

1-1

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	③創業・起業の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	6 創業・起業応援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	教育委員会等との調整 教育カリキュラム等への組入れ(体験型含む)		
①事業概要	<p>起業家教育プログラム体験会の実施 平成21年度、平成22年度 北海道経済産業局主催のトレーディングゲーム体験を帯広市で実施 平成22年度参加者 商工会議所、帯広信金、中小企業家同友会、民間企業4社、帯広南商業高校、帯広市教育委員会等 21名参加</p>		
②事業主体	帯広市、北海道経済産業局		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	働くことの大切さや喜び、更には創業することの素晴らしさを伝えたり、働くことを体験する場の提供などについて長期的な視点に立ち、取り組むことで創業、起業を活発化することを目的。		
③事業の到達状況	教育委員会との意見交換も行ったが、即、カリキュラムに組み入れることは困難な面があることから、経済産業省の起業家教育促進事業で導入された起業家教育プログラムの体験を実施。起業家教育に係る見識を深め、キャリア教育の現場での普及を図ることを目指した。教育現場での実践的な普及を目指すため、就職割合の比較的高い職業系の高等学校の進路指導教員を主な参加者として想定したが、時間が合わず南商業高校の教員1名のみでの参加にとどまった。学校や企業での実践にまでは至っていない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	トレーディングゲームについては、ゲームとしては面白く、考えさせられる部分も多いが、その体験が実際に起業化への意識につながるかは疑問な面もある。また、ゲームの進行役となる人のスキルも重要であるなど、学校等で普及させていくには、まだハードルが高いと思われるため、他の取り組みについても検討が必要。		

1-2

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	③創業・起業の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	6 創業・起業応援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	情報提供やアドバイスがワンストップで可能となる相談体制の構築・推進		
①事業概要	中小企業振興専門員(嘱託職員)を配置して相談に応じており、各機関の支援策や融資メニューの紹介等、創業希望者のニーズに合わせたアドバイスの提供を実施		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	2,349千円	
	平成22年度決算	2,216千円	
	平成23年度予算	2,473千円	
②事業の目的・成果	中小企業者が抱える課題解消を目的に情報提供や相談業務を行い、中小企業者の事業活動を支援するもの		
③事業の到達状況	年間約50件の相談に応じている		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	中小企業者が抱える課題は多様化しており、引き続き個別の案件に応じた情報提供やアドバイスができる体制の充実を図る		

1-3

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	③創業・起業の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	6 創業・起業応援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	創業・起業支援フェアの開催		
①事業概要	市内で活躍している事業者の講演会のほか、金融機関等の各支援機関による個別相談を実施し、創業に向けた心構えや経営テクニックなど、専門的見地からのアドバイスを提供		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	179千円	
	平成22年度決算	102千円	
	平成23年度予算	164千円	
②事業の目的・成果	創業・起業を目指す人を支援することで、プレイヤーを創出し、市内経済の活性化及び産業振興を目的とするもので、雇用の創出、市民所得の向上につなげるもの		
③事業の到達状況	帯広商工会議所が主催する「創業セミナー」と連携して、毎年20名程度の参加があり、そのうち数名の創業者を輩出している		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	全国的に見ても廃業率が創業率を上回っており、創業を実現しても3～5年で廃業するケースが散見されることから、創業後のフォローを含めた総合的な支援策について検討を要する		

1-4

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	③創業・起業の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	7 創業・起業実践(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	情報提供方法やサポート体制の検討		
①事業概要	中小企業基盤整備機構、北海道中小企業総合支援センター、金融機関等との連携により、支援施策(専門家派遣、助成金、融資制度等)の説明会を実施している		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	創業希望者にとって費用負担軽減や、より質の高い事業活動につながる情報を提供することで、持続性のある起業家を育成し、市内経済の活性化及び産業振興につなげるもの		
③事業の到達状況	商工会議所が開催する創業セミナーや市が開催する創業フェアなど、創業希望者が集まるセミナーに合わせて、各種施策の説明会を実施しており、毎年約60名の創業希望者に情報提供を行っている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	創業希望者がどのような支援施策を求めているのか、ニーズを把握し、より質の高い情報を、より多くの創業希望者に提供できるよう取り組みを進めるもの		

1-5

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	③創業・起業の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	7 創業・起業実践(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	創業支援のための融資制度の拡充		
①事業概要	帯広市中小企業振興融資制度における「新規開業支援資金」により、低利・長期・固定の融資制度を提供。信用保証協会を利用する場合は、必要な信用保証料を補助するもの		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	6,812千円	
	平成22年度決算	6,448千円	
	平成23年度予算	5,913千円	
②事業の目的・成果	創業希望者の円滑な資金繰りと負担軽減を図ることで、プレイヤーを創出し、市内経済の活性化及び産業振興を目的とするもので、雇用の創出、市民所得の向上につなげるもの		
③事業の到達状況	毎年40件前後の利用があり、プレイヤーの創出につながっている		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	創業希望者がより利用しやすい制度となるよう、融資制度の内容を充実させるとともに、制度の周知等、多くのプレイヤーを創出できるよう取組みを進めるもの		

1-6

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	①経営支援	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	1 中小企業総合相談機能整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	地域支援機関との連携による総合的支援体制の構築		
①事業概要	中小企業振興専門員(嘱託職員)を配置して相談に応じているほか、帯広商工会議所、市内金融機関等と連携し、各支援機関の支援策の情報提供等、中小企業者のニーズに合わせた総合的な相談体制を構築している。		
②事業主体	帯広市・帯広商工会議所・金融機関 等		
※市が支出している金額	平成21年度決算	2,349千円	
	平成22年度決算	2,216千円	
	平成23年度予算	2,473千円	
②事業の目的・成果	中小企業者が抱える課題解消を目的に情報提供や相談業務を行い、中小企業者の事業活動を総合的に支援するもの		
③事業の到達状況	年間約50件の相談に応じている		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	中小企業者が抱える課題は多様化しており、引き続き個別の案件に応じた情報提供やアドバイスができる体制の充実を図る		

1-7

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	①経営支援	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	1 中小企業総合相談機能整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	総合的情報発信の仕組みの検討・推進		
①事業概要	各支援機関との連携による、研修事業の内容・日程の共有及び研修情報の一元化による情報公開 産業振興担当職員ブログによる情報発信		
②事業主体	帯広市・帯広市中小企業研修連携会議		
※市が支出している金額	平成21年度決算	0千円	
	平成22年度決算	0千円	
	平成23年度予算	0千円	
②事業の目的・成果	各支援機関との連携を強化し、中小企業者が求める総合的な情報提供を行う		
③事業の到達状況	各支援機関と連携して情報発信できている。 産業振興担当職員ブログアクセス数56,413件(H23.11.08現在)		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	中小企業者がどのような情報を求めているのか、中小企業者のニーズを掘り起こし、より質の高い情報提供の手法について検討を要する		

1-8

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	④経営基盤の強化	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	9 事業承継・事業再生支援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	関係支援機関との連携 相談・応援体制の整備・推進、セミナー開催・専門家派遣		
①事業概要	事業承継及び事業再生に関する相談業務、セミナー開催、専門家派遣の実施		
②事業主体	(独)中小企業基盤整備機構北海道支部 (財)北海道中小企業総合支援センター 等		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	中小企業者が抱える課題を解消することを目的に、関係機関と連携し、相談体制の充実や各種セミナーの開催、専門家派遣等により、事業承継や事業再生の円滑な推進を図るもの		
③事業の到達状況	各支援機関において、各種セミナー、専門家派遣を実施		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	各支援機関との連携をさらに強化し、中小企業者の課題解消に努めるもの		

1-9

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	専門員 夏井 恵太
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	①経営支援	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	2 仮称・産業振興会議の運営		
ビジョン掲載事業	産業振興ビジョンの推進組織の運営、進捗状況の検証		
①事業概要	帯広市産業振興ビジョンの進捗管理を行うため、中小企業者等と協働で施策を推進するため「産業振興会議」を設置する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	535,000円	
	平成22年度決算	189,725円	
	平成23年度予算	326,000円	
②事業の目的・成果	帯広市産業振興ビジョンに基づく事業の着実な実施による中小企業の振興。		
③事業の到達状況	1期(21年3月30日～23年3月29日)に続いて、2期目の会議を運営中。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	中小企業振興施策を活発化させていくために産業振興会議の議論を活発化することが必要。		

1-10

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	①経営支援	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	4 同業種・異業種交流の組織化と情報提供		
ビジョン掲載事業	関係機関のサポートによる効果的な交流の促進		
①事業概要	十勝圏振興機構や中小企業家同友会、商工会議所、帯広畜産大学等、関係機関と連携しながら、同業種・異業種企業の交流を促進するとともに、情報の共有化、情報発信等を行う。		
②事業主体	関係機関		
※市が支出している金額	平成21年度決算	180,000円	
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	同業種・異業種交流を活性化するため、目的を明確にした上で、効果的な交流を促進する。		
③事業の到達状況	活動が停滞気味になっていた「帯広産業クラスター研究会」を解散後、帯広畜産大学に「とかちネット」が設立され、産学官連携及び同業種、異業種事業者の交流が推進されている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	様々な関係機関同士の連携を強めることで、更なる交流の輪を広げる。		

1-11

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	主任補 出町 真樹子
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	②組織化促進・中小企業団体の育成	重点プロジェクト	-
(番号)展開事業	5 組織化促進・中小企業団体の育成		
ビジョン掲載事業	中小企業者の組織化、中小企業団体の育成など中小企業の振興支援		
①事業概要	団体が組織強化及び商業振興のために実施する事業に対して支援する。		
②事業主体	北海道中小企業団体中央会十勝支部		
※市が支出している金額	平成21年度決算	450千円	
	平成22年度決算	450千円	
	平成23年度予算	450千円	
②事業の目的・成果	団体の組織化の促進及び事業の充実を図り、もって中小企業の振興を促進し、地域経済の活性化を図る。		
③事業の到達状況	地域経済と中小企業が置かれている状況に対応し、中小企業等連携組織の専門機関としての的確にニーズを受け止め、中小企業等連携組織の振興・発展を図っている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	今後も団体と連携を取りながら、団体が行なう中小企業等連携組織の振興事業に対し、引き続き支援をしていく。		

1-12

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	④経営基盤の強化	重点プロジェクト	-
(番号)展開事業	8 融資制度の充実		
ビジョン掲載事業	中小企業の資金繰り円滑化、中小企業融資制度の充実		
①事業概要	帯広市中小企業振興融資制度により、低利・長期・固定の融資制度を提供。一部の資金メニューについては、信用保証協会を利用する場合、必要な信用保証料を補助するもの		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	6,844,000千円	
	平成22年度決算	7,144,000千円	
	平成23年度予算	7,364,000千円	
②事業の目的・成果	中小企業者の円滑な資金繰りを支援し、活力ある地域経済の形成につなげるもの。		
③事業の到達状況	リーマンショックの平成20年度をピークに資金需要は落ち着きつつあるものの、毎年約50億円前後の新規貸付を行っており、多くの利用がある		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	資金メニューの創設や統廃合など、時代のニーズに合った制度であるべきことから、中小企業者に求められる制度であり続けるよう、常に制度の充実について検討するもの		

1-13

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	専門員 菅野 正樹
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	⑤商業・商店街の活性化	重点プロジェクト	-
(番号)展開事業	10 商業関係団体支援		
ビジョン掲載事業	商業振興のための活動支援		
①事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広まちなか歩行者天国 ・イルミネーション事業 ・おびひろ・街の建物を書き残す展 		
②事業主体	帯広まちなか歩行者天国実行委員会 おびひろイルミネーション実行委員会 他		
※市が支出している金額	平成21年度決算	3,000千円	
	平成22年度決算	3,000千円	
	平成23年度予算	3,500千円	
②事業の目的・成果	・中心市街地の「にぎわい」創出		
③事業の到達状況	中心市街地の通行量増加等、一定の成果が認められる。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	中心市街地の「にぎわい」が商業振興に繋がる為の具体的方策が必要。		

1-14

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	専門員 菅野 正樹
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	⑤商業・商店街の活性化	重点プロジェクト	-
(番号)展開事業	11 商店街活性化・商店街団体支援		
ビジョン掲載事業	商店街活性化のために行う共同事業等に対し支援する事業 (ハード、ソフト、イベント等)		
①事業概要	①演出・催事実施事業 ②地域いたわり商店街事業(地域住民により近い位置に感じられる、愛される商店街になるために実施する事業) ③商店街ロードヒーティング事業		
②事業主体	市内商店街振興組合 等		
※市が支出している金額	平成21年度決算	①7,166千円 ②200千円 ③4,823千円	
	平成22年度決算	①6,371千円 ②1,016千円 ③5,001千円	
	平成23年度予算	①7,000千円 ②1,000千円 ③5,001千円	
②事業の目的・成果	商店街を単なる買い物の場としてばかりではなく、市民が求める「ゆとり」、「うるおい」、を創出する場として環境整備を計画的に進めるとともに、「にぎわい」、「ふれあい」をもたらす祭り、イベントなどの文化的演出を創り出すことにより、地域コミュニティの再生、商店街の活性化及び振興発展を図ることを目的としている。		
③事業の到達状況	①市内16商店街のうち14商店街が実施(H22年度)し商業・商店街の活性化に寄与 ②6商店街が実施(H22年度)し商店街に「ゆとり」「うるおい」を創出。 ③7商店街が実施(H22年度)し冬期間における快適な歩行空間を確保		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	商店街間、同業者間、他団体との連携を強化し、商業活動自体の振興を促すようなマクロ的視点に立った商店街活性化策が求められる。		

1-15

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	鎌田 晋
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	⑥建設産業の革新支援	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	12 ものづくり相談支援(新事業・新分野進出)		
ビジョン掲載事業	ものづくり総合支援補助金による支援の実施		
①事業概要	帯広市ものづくり総合支援補助金制度による建設業等の新製品開発、新事業新分野への進出、ベンチャー起業する場合など、製品開発から技術指導、アドバイザー紹介や開発後のフォローアップまでを総合的に支援し、地域産業の活性化・発展を図るもの。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	6,000千円	
	平成22年度決算	6,000千円	
	平成23年度予算	6,000千円	
②事業の目的・成果	成長が期待できる新規事業等について、建設関連企業側のリスクを軽減することで、新規事業への取り組み意欲の向上や、きっかけづくりを図る。		
③事業の到達状況	平成22年度ものづくり総合支援補助金 補助件数11件中 建設業種4件 平成23年度ものづくり総合支援補助金 補助件数9件中 建設業種0件		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	建設業種の第二創業に向けた支援を行うため、今まで以上に企業のヒアリング等を拡大し、企業の要望の把握と新事業予備軍の発掘に努める。		

1-16

事業シート(概要説明書)	
担当課名	産業連携室 担当者名
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化
基本施策	⑦地域経済の調査研究 重点プロジェクト
(番号)展開事業	13 地域経済の調査・分析
ビジョン掲載事業	調査分析の効果的实施、有効活用等
①事業概要	「経済リサーチ小委員会」を設置し、地域経済の調査分析等について検討
②事業主体	帯広市
※市が支出している金額	平成21年度決算
	平成22年度決算 707,880円
	平成23年度予算
②事業の目的・成果	行政、経済団体、大学、試験研究機関、金融機関等の連携のもと、調査分析の効果的实施や有効活用を進める
③事業の到達状況	地域経済の調査分析等について、研修会や先進事例調査を行い、それらを基に議論を重ね、十勝・帯広における地域経済の調査分析やシンクタンク機能の整備について提言書として方向性などをとりまとめた。
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	各機関が保有している統計データを、まとめて見ることが出来るよう整理を行う必要がある。

事業シート評価表

(委員名:)

2. 産業人・担い手の育成			
	展開事業	ビジョン掲載事業	委員評価
2-1	15 「人財」育成(重点プロジェクト)	中小企業研修連携会議の設置・運営	
2-2	15 「人財」育成(重点プロジェクト)	実践的な経営者向け研修事業の充実	
2-3	15 「人財」育成(重点プロジェクト)	中小企業者向けカリキュラムの再構築等検討	
2-4	16 総合的研修(重点プロジェクト)	図書館等を利用した研修機会の充実	
2-5	16 総合的研修(重点プロジェクト)	中小企業出前講座の実施促進	
2-6	18 雇用創出支援(重点プロジェクト)	人材マッチングシステム(ジョブジョブとかち)の充実・強化	
2-7	18 雇用創出支援(重点プロジェクト)	地域雇用創造推進事業(新パッケージ)の実施 新たな地域雇用創造推進事業の検討・実施	
2-8	14 インターンシップ事業の充実強化	帯広版インターンシップマニュアルの検討	
2-9	14 インターンシップ事業の充実強化	十勝型インターンシップの実践	
2-10	17 シルバー人材センターの機能充実強化と新たな仕組みづくり	高度な知識・技能を持つ高齢者等の人材バンクの設立と情報提供の仕組み作成	

2-1

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑧担い手の育成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	15 「人財」育成(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	中小企業研修連携会議の設置・運営		
①事業概要	各支援機関との連携による、研修事業の内容・日程の共有及び研修情報の一元化による情報公開 講演内容をDVD化し、帯広市図書館からの貸出を実施 中小企業振興に資する共同事業(講演会等)の実施		
②事業主体	帯広市中小企業研修連携会議		
※市が支出している金額	平成21年度決算	500千円	
	平成22年度決算	500千円	
	平成23年度予算	500千円	
②事業の目的・成果	各支援機関との連携を強化し、中小企業者が求める情報提供を行うことにより、総合的・効果的な人材育成を推進するもの		
③事業の到達状況	情報公開、DVD貸出など、各支援機関と連携して実施できている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	中小企業者がどのような情報を求めているのか、中小企業者のニーズを掘り起こし、より質の高い情報提供の手法について検討を要する。		

2-2

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑧担い手の育成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	15 「人財」育成(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	実践的な経営者向け研修事業の充実		
①事業概要	中小企業の経営改善及び雇用の促進、中小企業従事者等の人材の育成、資質の向上等を図るため、帯広商工会議所中小企業相談所へ補助金を交付。		
②事業主体	帯広市・帯広商工会議所(中小企業相談所)		
※市が支出している金額	平成21年度決算	10,700千円	
	平成22年度決算	10,700千円	
	平成23年度予算	10,700千円	
②事業の目的・成果	各種経営者向け研修の実施により、経営改善を促進し、経営基盤の強化をはかります。		
③事業の到達状況	各種経営者向けセミナーの開催 個別相談・各種セミナー延参加者数(人) 約4,000人		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	中小企業者がどのような研修を求めているのか、中小企業者のニーズを掘り起こし、より質の高い研修の開催について検討を要する。		

2-3

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑧担い手の育成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	15 「人財」育成(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	中小企業者向けカリキュラムの再構築等検討		
①事業概要	各支援機関との連携により、研修事業の内容・日程の共有を図るとともに、効果的・効率的な研修事業の推進を図る。		
②事業主体	帯広市中小企業研修連携会議		
※市が支出している金額	平成21年度決算	500千円	
	平成22年度決算	500千円	
	平成23年度予算	500千円	
②事業の目的・成果	各支援機関との連携を強化し、中小企業者が求める情報提供を行うことにより、総合的・効果的な人材育成を推進するもの		
③事業の到達状況	中小企業者向けカリキュラムの再構築等については、研修の内容やスケジュールができるだけ重複しないよう各支援機関と情報の共有を図り、効率的な実施が可能となるよう協議を進めている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	中小企業者がどのような情報を求めているのか、中小企業者のニーズを掘り起こし、より質の高い情報提供の手法について検討を要する。		

2-4

事業シート(概要説明書)			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	係員 丸山 誠仁
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑧担い手の育成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	16 総合的研修(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	図書館等を利用した研修機会の充実		
①事業概要	図書館等を利用した各種セミナーの実施		
②事業主体	帯広商工会議所 等		
※市が支出している金額	平成21年度決算	0千円	
	平成22年度決算	0千円	
	平成23年度予算	0千円	
②事業の目的・成果	各種セミナーや出前講座の実施により、従業員育成及び経営者の資質向上が図られ、効果的・総合的な人材育成につながる		
③事業の到達状況	帯広商工会議所が主催する「創業セミナー」は図書館と連携して、実施しており、ビジネス支援書籍の紹介など、毎年約30名参加している		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	中小企業者が抱える課題は多様化しており、個別の案件に対応するため、セミナーや講座の内容を充実させる必要がある		

2-5

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑧担い手の育成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	16 総合的研修(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	中小企業出前講座の実施促進		
①事業概要	職業観・勤労観の育成を目的として、小中学校や高校へ中小企業者が出向いて行う出前講座の実施を促進します。		
②事業主体	関係団体等		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	児童・生徒の職業観・勤労観の醸成を図る。		
③事業の到達状況	未実施		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	出前講座を実施してもらう企業の確保や教育委員会等との調整を進める。		

2-6

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	山本 栄治
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑩雇用の確保	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	18 雇用創出支援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	人材マッチングシステム(ジョブジョブとかち)の充実・強化		
①事業概要	企業の中心的な役割を果たす人材を確保・育成することで企業の活性化を推進し、更なる雇用の場の確保と拡大を進めるため、求人側と求職者とのマッチングを図る。		
②事業主体	帯広地域雇用創出促進協議会		
※市が支出している金額	平成21年度決算	4,045千円	
	平成22年度決算	4,045千円	
	平成23年度予算	4,045千円	
②事業の目的・成果	企業の中心的な役割を果たす人材を確保・育成することで企業の活性化を推進し、更なる雇用の場の確保と拡大を進めるため、求人側と求職者とのマッチングを図る。		
③事業の到達状況	平成21年度はシステムを使った求人件数が82件あり、13名の就職に、平成22年度は求人件数が283件あり、45名の就職につながっている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	事業のさらなる周知により、再就職を希望する求職者の人材情報を増やしていく一方で、企業訪問等で企業側の求める人材のニーズを把握し、マッチングを図っていく。		

2-7

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	山本 栄治
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑩雇用の確保	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	18 雇用創出支援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	地域雇用創造推進事業(新パッケージ)の実施 新たな地域雇用創造推進事業の検討・実施		
①事業概要	地域の基幹産業である農業を基盤に食料品製造業及び関連産業の振興と食を中心とした観光産業の振興により雇用を創出する。		
②事業主体	帯広地域雇用創出促進協議会		
※市が支出している金額	平成21年度決算	3,943千円(補助金)	
	平成22年度決算	3,942千円(補助金)	
	平成23年度予算	3,955千円(補助金)	
②事業の目的・成果	平成21年度に新パッケージ事業が採択となり、事業を実施中。地域企業が新事業展開や業務拡大するうえで必要とする専門的技術者や中核的人材を確保することを目的に、3年間で400人の正職員の雇用創出を目指している。		
③事業の到達状況	平成21年度は116人の目標に対し、168人の雇用創出(内創業者1人、常用以外27人)、平成22年度は139人の目標に対し、214人の雇用創出(内常用以外31人)、2年間とも目標値を上回り順調に推移している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	地域雇用創造推進事業(新パッケージ事業)は平成23年度で終了するため、この事業で実施した雇用拡大、人材育成、就職促進の各メニューの効果・実績を検証し、平成24年度から実施予定の地域雇用創造実現事業の採択を目指して、厚生労働省に提案中		

2-8

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	山本 栄治
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑧担い手の育成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	14 インターンシップ事業の充実強化		
ビジョン掲載事業	帯広版インターンシップマニュアルの検討		
①事業概要	十勝型インターンシップを実践する上で、高校生に各企業での新商品開発、販売、コスト計算など経済活動そのものを実践してもらうための効果的なマニュアルを作成する。		
②事業主体	帯広市(一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部へ委託)		
※市が支出している金額	平成21年度決算	2,499千円	
	平成22年度決算	2,499千円	
	平成23年度予算	2,500千円	
②事業の目的・成果	勤労観や働くことの意味を考え、地域の中小企業の業種・業務の内容を知ることができるインターンシップに有効に活用してもらう。		
③事業の到達状況	平成21年度は10校、49名、平成22年度は12校、42名の高校生が参加し、勤労観、職業観の醸成が図られた。(平成21年度19社、平成22年度は13社からインターンシップ受入協力を得た) インターンシップを効果的に実施するため、マニュアルとして、企業の仕組みや業種、職種の解説、就職までのプロセスをまとめた「会社研究ハンドブック」(事業委託先の中小企業家同友会とかち支部が作成)を活用している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	高校生のみから、専門学校生、短大生へもインターンシップ事業へ参加してもらい、異年齢どうしの学生の交流を図り、意識的な相乗効果を図る。(平成23年度からの取り組み)		

2-9

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	山本 栄治
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑧担い手の育成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	14 インターンシップ事業の充実強化		
ビジョン掲載事業	十勝型インターンシップの実践		
①事業概要	<p>インターンシップマニュアルを活用した十勝型インターンシップの実践として、高校生に各企業での新商品開発、販売、コスト計算など経済活動そのものを実践してもらい、勤労観や働くことの意味を考え、地域の中小企業の業種・業務の内容を知ってもらう。</p>		
②事業主体	帯広市(一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部へ委託)		
※市が支出している金額	平成21年度決算	2,499千円	
	平成22年度決算	2,499千円	
	平成23年度予算	2,500千円	
②事業の目的・成果	インターンシップを通じて、勤労観や働くことの意味を考え、地域の中小企業の業種・業務の内容を知ることができる。		
③事業の到達状況	平成21年度は10校、49名、平成22年度は12校、42名の高校生が参加し、勤労観、職業観の醸成が図られた。(平成21年度19社、平成22年度は13社からインターンシップ受入協力を得た) 【再掲】		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	<p>高校生のみから、専門学校生、短大生へもインターンシップ事業へ参加してもらい、異年齢どうしの学生の交流を図り、意識的な相乗効果を図る。(平成23年度からの取り組み) 【再掲】</p>		

2-10

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	山本 栄治
施策の基本方向	2産業人・担い手の育成		
基本施策	⑩雇用の確保	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	17 シルバー人材センターの機能充実強化と新たな仕組みづくり		
ビジョン掲載事業	高度な知識・技能を持つ高齢者等の人材バンクの設立と情報提供の仕組み作成		
①事業概要	専門的知識や技術を持つ高年齢者に就業機会を提供するため、資格習得に必要な講習を実施するなど、シルバー人材センターの機能充実を図るとともに、技能・資格等を持つ高年齢者の情報提供を行う仕組みをつくる。		
②事業主体	帯広市、シルバー人材センター		
※市が支出している金額	平成21年度決算	9,500千円	
	平成22年度決算	9,500千円	
	平成23年度予算	8,800千円	
②事業の目的・成果	シルバー人材センターが開催している講習会について、資格習得に必要な講習会等を実施することにより充実が図られ、専門的知識・技術を持つ高年齢者に就業機会を提供することができる。また、技能・資格等を持つ高年齢者の情報をデータベース化し、企業等へ情報提供することにより、受注拡大と求人開拓につながる。		
③事業の到達状況	平成21年度は会員819名の内706名が就業。(就業率86.2%) 平成22年度は会員826名の内713名が就業。(就業率86.3%) 個々の会員の技能・資格は紙ベースで整理しており、シルバー人材センターが受注した仕事の振り分けを行っている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	平成24年にはいわゆる団塊の世代が65歳を迎えることから、シルバー人材センターが実施している各種講習会の内容をより充実させることで、より多くの高年齢者に就業機会を提供し、シルバー人材センターの機能充実を図る。(現在は、草取り実技講習、草刈・芝刈り機講習、剪定講習、子育て勉強会、料理講習会などを実施)		

事業シート評価表

(委員名:)

3. ものづくり産業の振興			
	展開事業	ビジョン掲載事業	委員評価
3-1	25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)	既存の機械電気技術、木工技術、塗装技術等の研究会や勉強会の充実(大学や試験研究機関との連携・技術力強化)	
3-2	25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)	希少技術継承支援	
3-3	25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)	専門的技術の習得や資格等の取得可能な専門コースのモデル実施	
3-4	26 ものづくり相談・支援(重点プロジェクト)	ものづくり総合支援補助金の機能充実(産業支援機構や中小企業総合相談機能との連携)	
3-5	21 産業支援機能の充実	アドバイザー等によるものづくり相談会の実施、紹介	
3-6	20 アグリ・フード・バイオ関連産業振興(重点プロジェクト)	農産物付加価値向上、地域特性をいかしたクラスター化、地域ブランド向上等を目的としたアグリ・フード・バイオクラスター事業の展開(国の食料産業クラスター事業等の導入による総合的な食関連事業の展開)	
3-7	22 産学官連携(重点プロジェクト)	企業訪問等による情報交換	
3-8	22 産学官連携(重点プロジェクト)	都市エリア産学官連携促進事業(発展型)の実施 (現:地域イノベーション戦略支援プログラム)	
3-9	22 産学官連携(重点プロジェクト)	十勝事業化評価委員会(産学官金連携)の充実	
3-10	22 産学官連携(重点プロジェクト)	帯広リサーチ&ビジネスパーク構想に基づく協議会等の設立、研究成果活用連絡会議、情報交流サロンなどの開催ほか	
3-11	19 地域産業資源活用促進	地域資源活用の手法について学ぶ場を提供し、地域資源を有する側と活用する側を結び付けるための事業の実施	
3-12	19 地域産業資源活用促進	地域資源活用情報交流事業の庁内検討	
3-13	21 産業支援機能の充実	十勝産業振興センターや食品加工技術センター等の産業支援機関に設置されている機械装置の技術指導や製品化支援活用のPR	
3-14	23 地域産業コーディネーター	地域の優位産業の分析、クラスター形成に資する事業検討、各事業への展開(見直し含む)	
3-15	24 大規模化へ頑張る工房支援	食品・木工・金属等の懇談会の設置、ものづくり相談・支援・ものづくり技術力強化、中小企業支援	
3-16	27 市場開拓・販路拡大	十勝のストーリーづくり検討会の設置、十勝を総合的にプロデュースする活動	
3-17	27 市場開拓・販路拡大	域外展示会や物産展への出展支援	
3-18	28 とかちブランド育成	十勝地域の複数の認証制度や認証機関の相互連絡調整、及び確立	
3-19	28 とかちブランド育成	認証取得に対する優遇措置の検討、モデル実施	

3-1

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	既存の機械電気技術、木工技術、塗装技術等の研究会や勉強会の充実(大学や試験研究機関との連携・技術力強化)		
①事業概要	毎週金曜日に十勝産業振興センターで開催しているリレーシーケンス研究会や、技術力強化のためのセミナー等の開催		
②事業主体	帯広市、十勝圏振興機構		
※市が支出している金額	平成21年度決算	275,642円(十勝圏振興機構分は除く)	
	平成22年度決算	170,544円(十勝圏振興機構分は除く)	
	平成23年度予算	200,000円(十勝圏振興機構分は除く)	
②事業の目的・成果	ものづくりに必要な機械電気や木工等に関する勉強会への支援やセミナー等を開催し、技術者の技術力向上を図る。		
③事業の到達状況	H21年度は、空気圧基本動作実践セミナー(リレーシーケンス研究会)や電子納品実務者向け研修会開催(家具建具、電気工事技術者等)を開催。 H22年度は、商工会議所の補助事業を活用し実施したため、市では未実施 また、毎年、十勝産業振興センターにより3次元CAD講習会等を開催		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	リレーシーケンス研究会等、自主的に開催される勉強会では、資格取得など一定の成果を上げてきているが、新規参加者も少なく、停滞感が否めないことから、市の支援のあり方を見直す。 十勝産業振興センター等の相談業務や職業能力開発センターの事業、帯広畜産大学のアグリバイオ人材育成事業の充実等を図る。		

3-2

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	希少技術継承支援		
①事業概要	実施事業なし。		
②事業主体			
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	地域の希少な技術を継承できる取り組みを進める。		
③事業の到達状況	未着手		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	後継者のいない個人商店などの技術を後世に引き継ぐための支援を実施。まずはその技術等の把握。		

3-3

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	専門的技術の習得や資格等の取得可能な専門コースのモデル実施		
①事業概要	帯広調理師専門学校、帯広コア専門学校において、フードコーディネーターの資格取得が可能。		
②事業主体			
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	専門的技術の習得や資格等の取得が可能な専門コースの設置。		
③事業の到達状況	帯広調理師専門学校は平成23年度、帯広コア専門学校においては平成24年度よりフードコーディネーター3級の資格が取得可能な食農ビジネスコースが設置される。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	帯広高等技術専門学院や帯広コア専門学校、職業能力開発センター等関係機関との連携し、ものづくり技術の取得や、資格等の取得が必要な項目の選定を改めて実施。		

3-4

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	鎌田 晋
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	26 ものづくり相談・支援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	ものづくり総合支援補助金の機能充実(産業支援機構や中小企業総合相談機能との連携)		
①事業概要	中小企業者等が新製品開発、新事業新分野への進出、ベンチャー起業する場合など、製品開発から技術指導、アドバイザー紹介や開発後のフォローアップまでを総合的に支援し、地域産業の活性化・発展を図るもの。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	6,000千円	
	平成22年度決算	6,000千円	
	平成23年度予算	6,000千円	
②事業の目的・成果	ものづくり総合支援補助金を通じ、ものづくりを進める企業への技術開発、技術改善等の相談、支援機能を充実することで、企業側のリスクを軽減し、新規事業への取り組み意欲の向上や、きっかけづくりを図る。		
③事業の到達状況	平成22年度ものづくり総合支援補助金 補助件数11件 平成23年度ものづくり総合支援補助金 補助件数9件		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	産業支援機構や中小企業総合相談機能と連携することで、新製品開発の支援を強化する。 各種販路拡大事業と連携し、通常の募集時期以外の要望にも迅速に対応するために、新製品開発とは別枠を設け運用する。		

3-5

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	21 産業支援機能の充実		
ビジョン掲載事業	アドバイザー等によるものづくり相談会の実施、紹介		
①事業概要	十勝事業化支援委員会のアドバイス、目利き機能を活用し、平成22年度より、帯広市ものづくり総合支援補助金の審査を実施している。		
②事業主体	帯広市、十勝圏振興機構 他		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算	(とち財団への負担金2,550,000円の内数)	
	平成23年度予算	(とち財団への負担金2,550,000円の内数)	
②事業の目的・成果	ものづくり相談・支援による産業支援機能を効率的に活用し、スピーディーで柔軟な企業の商品開発の支援に取り組む		
③事業の到達状況	ものづくり総合支援補助金の審査、及び成果報告時において、事業化支援委員からの企業へのアドバイス等を行っており、H22 11件、H23 9件がアドバイスを受けている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	ものづくりを行う企業への支援を充実するため、デザインやマーケティングなどもコーディネートできる人材の配置や育成も必要。		

3-6

事業シート(概要説明書)			
担当課名	産業連携室	担当者名	
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑪地域資源活用・農商工等連携の推進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	20 アグリ・フード・バイオ関連産業振興(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	農産物付加価値向上、地域特性をいかしたクラスター化、地域ブランド向上等を目的としたアグリ・フード・バイオクラスター事業の展開(国の食料産業クラスター事業等の導入による総合的な食関連事業の展開)		
①事業概要	食や農林漁業など、地域の特徴・優位性を生かした産業振興を、オール十勝で推進する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	1,000千円(帯広市食産業振興協議会負担金)	
	平成22年度決算	2,500千円(帯広市食産業振興協議会負担金)	
	平成23年度予算	7,795千円 (帯広市食産業振興協議会、フードバレーとかち推進協議会負担金)	
②事業の目的・成果	フードバレーとかちの推進により、地域の特性や優位性を活かした産業振興を行う。		
③事業の到達状況	帯広市が中心市となり、管内18町村と定住自立圏構想の協定を結ぶとともに、十勝管内19市町村、産業団体、金融機関等計41団体による「フードバレーとかち推進協議会」を設置し、オール十勝での連携体制を整えた。また、札幌市・江別市・函館地区と共同で、国際戦略総合特区の提案を行っているところ。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	オール十勝での推進体制が整ったことから、企業訪問や企業が活動しやすい環境づくりなどを進める必要がある。		

3-7

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	22 産学官連携(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	企業訪問等による情報交換		
①事業概要	各企業の課題等を把握するため、商工観光部では100社目標のヒアリングを実施。このほか、産業連携室でも食を中心に企業訪問を強化		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	積極的な企業訪問等による情報交換を行い、企業の技術的な課題等の解決を支援する。		
③事業の到達状況	商工観光部では、平成23年10月末現在84社の訪問を実施。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	今後とも積極的な企業訪問を実施し、課題把握等に努める。		

3-8

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	専門員 夏井 恵太
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	22 産学官連携(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	都市エリア産学官連携促進事業(発展型)の実施 (現:地域イノベーション戦略支援プログラム)		
①事業概要	平成21年6月より5カ年の計画で採択された文部科学省都市エリア産学官連携促進事業(発展型)により、食の機能性・安全性に関する高度な技術開発とその事業化を行い、地域産業の持続的な発展に寄与するアグリ・バイオクラスターの形成を最終目的に取り組む。		
②事業主体	(提案自治体)北海道、帯広市 (中核機関)財団法人十勝圏振興機構		
※市が支出している金額	平成21年度決算	2,000千円	
	平成22年度決算	2,000千円	
	平成23年度予算	2,000千円	
②事業の目的・成果	大学や試験研究機関の研究成果の幅広い活用のため、国等の支援制度を導入して地域の取組みを進める。		
③事業の到達状況	○定量的目標(当初～平成23年度末まで) ・製品化 4件 ・試作 20件 ・特許出願及び取得 6件 ・起業 1件 ・品種登録 0件 事業成果による商品売上見込(H23末) 8,000,000円 ○平成23年7月現在までの実績 ・製品化 11件 ・試作 25件 ・特許出願及び取得 6件 ・起業 1件 ・品種登録 0件		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	機能性素材(ベタイン、イヌリン等)の抽出技術、品質特性については研究が進んでいるため、更なる企業へのPR・活用促進。イヌリンを抽出しているチコリの栽培・普及・収穫機の開発などの実施について、関係機関と連携して取り組む。食品検査ラボの一般運用の体制整備、コンサルティング業務運営の検討。公定法に代わる簡易かつ迅速な食中毒菌等検査方法の確立に向けたエビデンスの蓄積。付加価値向上のためのブランド化戦略の展開。		

3-9

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	鎌田 晋
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	22 産学官連携(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	十勝事業化評価委員会(産学官金連携)の充実		
①事業概要	技術開発からマーケティングまでの様々なジャンルの産学官の専門家で構成する「十勝事業化支援委員会※」が平成19年度に帯広畜産大学、22年度からとかち財団を事務局に運営中。企業のビジネスモデル審査の実証実験を行い、金融機関の目利き機能の補完、企業のビジネスプラン作成へのアドバイスを図る。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出する金額	平成21年度決算	2,550千円	
	平成22年度決算	2,550千円	
	平成23年度予算	2,550千円	
②事業の目的・成果	十勝事業化支援委員会の充実を図ることで、地元事業者のビジネスプランの内容の向上、事業化を図る。		
③事業の到達状況	とかち財団への支援を行うとともに、「十勝事業化支援委員会」の帯広市ものづくり総合支援補助金要望事業に対する意見聴取を行うなど活用を図っている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	現在、帯広市ものづくり総合支援補助金においては事業前のプレゼン会や事業実績報告において意見聴取を行っているが事業途中での助言が重要であると考え、中間検討会等を実施する。		

3-10

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	専門員 夏井 恵太
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	22 産学官連携(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	帯広リサーチ&ビジネスパーク構想に基づく協議会等の設立、研究成果活用連絡会議、情報交流サロンなどの開催ほか		
①事業概要	帯広リサーチ&ビジネスパーク構想に基づき地域の産学官の関係機関で組織する協議会を設置、また、とち財団を通じて、地域で実施されている研究成果の活用や関係者による情報交流の場を開催。大学の研究を加速する基金の創設を検討する。		
②事業主体	帯広市、とち財団		
※市が支出している金額	平成21年度決算	2,550千円	
	平成22年度決算	2,550千円	
	平成23年度予算	2,550千円	
②事業の目的・成果	地域ニーズを踏まえた産学官の連携を進め、大学等と連携した産学連携集積の形成を進める。		
③事業の到達状況	国の拠点地域指定を目指し、帯広地域産学官連携会議を平成21年7月に設置したが、政権交替、事業仕分け等により、国の制度が変更されたことから、産学官連携の取組みは、地域イノベーション戦略支援プログラムをはじめとする、現在実施中の産学官連携事業と、「フードバレーとち財」の実現に向けた一つの手段として取組んでいる。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	「フードバレーとち財」の実現のための一手法として産学官連携の強化に努める。		

3-11

事業シート(概要説明書)			
担当課名	産業連携室	担当者名	田口
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑪地域資源活用・農商工等連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	19 地域産業資源活用促進		
ビジョン掲載事業	地域資源活用の手法について学ぶ場を提供し、地域資源を有する側と活用する側を結び付けるための事業の実施		
①事業概要	地域資源を活用した商品開発の取組支援や、セミナー、マッチング事業などを行う。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	1,000千円(帯広市食産業振興協議会負担金)	
	平成22年度決算	2,500千円(帯広市食産業振興協議会負担金)	
	平成23年度予算	7,795千円 (帯広市食産業振興協議会、フードバレーとかち推進協議会負担金)	
②事業の目的・成果	地域資源の高付加価値化や、地域資源を有する側と活用する側を結びつけることにより、新たな取組や商品開発を促進する。		
③事業の到達状況	帯広市食産業振興協議会を通じ、十勝産小麦の付加価値向上のために有識者によるセミナー、十勝産小麦を使った料理の試食会などを行い、広く一般への普及拡大を図った。また、十勝産小麦を使った商品開発を希望する企業の支援を行い、商品化につなげた。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	十勝産小麦の利用促進・高付加価値化は一定の成果が得られたが、今後は小麦以外の地域資源の活用、また帯広市だけではなくオール十勝で取組を進めていく必要があることから、フードバレーとかちを推進する中で、こうした取り組みも進めていく。		

3-12

事業シート(概要説明書)			
担当課名	産業連携室	担当者名	田口
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	①地域資源活用・農商工等連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	19 地域産業資源活用促進		
ビジョン掲載事業	地域資源活用情報交流事業の庁内検討		
①事業概要	地域資源を活用した商品やイベント等の情報を、メーリングリストで帯広市食産業振興協議会の会員へ発信		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	1,000千円(帯広市食産業振興協議会負担金)	
	平成22年度決算	2,500千円(帯広市食産業振興協議会負担金)	
	平成23年度予算	7,795千円 (帯広市食産業振興協議会、フードバレーとかち推進協議会負担金)	
②事業の目的・成果	情報発信を通じ、地域資源を活用したい企業同士のマッチング、取組成果のPRを図る。		
③事業の到達状況	メーリングリストは平成21年よりスタートし、平成23年9月末時点で41回、延べ2,626人に対し情報発信をしている。 また、帯広市産業振興担当職員ブログを作成し、タイムリーな情報発信を行っている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	現在はこちらから通知するという一方通行の情報発信となっていることから、生産者や企業が相互に交流できるようなシステムを作る必要がある。		

3-13

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	21 産業支援機能の充実		
ビジョン掲載事業	十勝産業振興センターや食品加工技術センター等の産業支援機関に設置されている機械装置の技術指導や製品化支援活用のPR		
①事業概要	十勝産業振興センターや食品加工技術センター等の産業支援機関に設置されている機械装置に関する技術指導や、製品化支援への活用について、ものづくり総合支援補助金の周知や事業実施に合わせてPRを行う		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	十勝産業振興センターや食品加工技術センター等の産業支援機関に設置されている機械装置の利活用促進を図る。 十勝産業振興センター 機器利用 H21 159件、H22 116件 食品加工技術センター 機器利用 H21 265件、H22 440件		
③事業の到達状況	食品加工技術センターでは、利用が伸びているが、十勝産業振興センターでは逆に減っている。 機器利用について、さらなるPR等利用促進が必要。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	ものづくり総合支援補助金を活用した新製品開発等にあたり、センター設置機器の利用促進を促すなど、様々な機会を通じたPRを実施する。		

3-14

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	鎌田 晋
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	23 地域産業コーディネート		
ビジョン掲載事業	地域の優位産業の分析、クラスター形成に資する事業検討、各事業への展開(見直し含む)		
①事業概要	平成23年度テスト事業として、「食品関連企業&鉄工関連企業マッチング会」を実施。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	地域の優位な産業を分析し、その結果を活用してクラスター形成に資する事業の検討を進める。		
③事業の到達状況	地域の優位性ある食関係企業と技術力を有する地場鉄工業が結びつきを強めるきっかけづくりができた。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	地域の優位産業の発掘を強化。		

3-15

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	鎌田 晋
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	24 大規模化へ頑張る工房支援		
ビジョン掲載事業	食品・木工・金属等の懇談会の設置、ものづくり相談・支援・ものづくり技術力強化、中小企業支援		
①事業概要	平成23年度テスト事業として、「食品関連企業&鉄工関連企業マッチング会」を実施。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	技術力を持つが、営業人材などの経営資源を持たない、小規模事業所が、受注の拡大や大規模化を目指し、頑張る企業への支援を検討する。		
③事業の到達状況	平成23年度 テスト事業「食品関連企業&鉄工関連企業マッチング会」の実施		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	地元産業界での技術向上、販路拡大を目的とし、企業マッチングを通じて新しい技術を拾い上げ、ものづくり総合支援補助金での支援や技術力研究会・講習会等を実施する。		

3-16

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	専門員 夏井 恵太
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑭地域ブランドの形成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	27 市場開拓・販路拡大		
ビジョン掲載事業	十勝のストーリーづくり検討会の設置、十勝を総合的にプロデュースする活動		
①事業概要	「十勝(とがち)」のイメージを更にアピールするため、ものづくりや商品に付随するストーリーを創出する取り組みを進め、十勝を総合的にプロデュースする活動を検討し、売れる商品戦略の取り組みを進める。		
②事業主体	産業振興会議 十勝のストーリー作り検討小委員会(ブランド研究会)		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算	72千円	
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	地域ブランド化を進め、「十勝」のイメージを更にアピールするため、開拓からの歴史を踏まえたストーリーの創出などによる、更なる首都圏等へのPRを実施するとともに、十勝を総合的にプロデュースする活動を進める。		
③事業の到達状況	平成21年度より特許庁の知的財産活用支援連携モデル事業の採択を受け、産業振興会議に小委員会を設け、商標の取得、またそれを用いたブランド化のマニュアル(ブランドショーケース)を作成した。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	商標の活用方策・使用基準等の検討、ストーリー作りとこの取り組みを活かす方策の検討。		

3-17

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	専門員 夏井 恵太
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑭地域ブランドの形成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	27 市場開拓・販路拡大		
ビジョン掲載事業	域外展示会や物産展への出展支援		
①事業概要	<p>特色ある製品をもつ地域企業を域外企業との継続的なBtoBの新規取引につなげるため、多面的なアプローチで販路開拓を支援する。一般社団法人首都圏産業活性化協会(TAMA協会)のネットワークを活用し、首都圏及び中国・上海への販路開拓を支援。また十勝として開催する物産展等の支援を行う。</p>		
②事業主体	帯広市		
※市が支出する金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算	4,622,780円	
	平成23年度予算	8,518,000円	
②事業の目的・成果	<p>人口減少による国内市場の縮小から、新たに市場開拓・販路拡大が迫られており、展示会や物産展等への出展を支援することで、地域企業の持続的な展開を支援する。</p>		
③事業の到達状況	<p>首都圏販路開拓事業では、H21年度より毎年3社を対象に実施し、新規商談、人的ネットワークの開拓、新商品開発につながっている。海外販路開拓支援として、中国・上海との継続的な関係性を築き、H22年度は3社が商談に、今年度は、北海道中小企業家同友会とかち支部、帯広商工会議所と連携し、10社程度のミッション派遣・商談会開催を予定。物産展の支援等は国の緊急雇用により実施。</p>		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	<p>海外展開のための知識(商習慣・物流・文化の違い等)や情報の共有、ネットワーク化を図るため、「十勝海外ビジネス研究会」を設置し、セミナー形式の勉強会の取り組みを進めている。また、震災の影響もあり食品の輸出が厳しい状況となっていることから、継続的な取り組みの必要性も考慮しつつ、他支援機関の取り組みとの連携も検討しながら、他地域(台湾・シンガポール等)への展開支援も検討する。</p>		

3-18

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑭地域ブランドの形成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	28 とかちブランド育成		
ビジョン掲載事業	十勝地域の複数の認証制度や認証機関の相互連絡調整、及び確立		
①事業概要	未着手		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	十勝地域に存在する複数の「認証機関」や「認証制度」の相互の連携と棲み分けについて検討する。		
③事業の到達状況	未着手		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	様々な機関でそれぞれの目的をもってブランド形成に向けた取り組みを進めており、情報交換の実施が必要。		

3-19

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑭地域ブランドの形成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	28 とかちブランド育成		
ビジョン掲載事業	認証取得に対する優遇措置の検討、モデル実施		
①事業概要	未実施		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	認証機関又は認証制度、認証品がより価値のあるものとして確立される。		
③事業の到達状況	未実施		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	ものづくり総合支援補助金等の見直しに伴い制度化について検討する。		

事業シート評価表

(委員名:)

4. 産業基盤の強化			
	展開事業	ビジョン掲載事業	委員評価
4-1	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)	企業立地法に基づく、立地企業の固定資産税減免制度の実施	
4-2	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)	企業立地促進条例の見直し	
4-3	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)	企業立地促進法に基づく支援策の有効活用、支援制度のPR、企業誘致活動の推進	
4-4	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)	共同利用施設の必要性調査、検討	
4-5	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)	とちかち応援団のネットワーク化	
4-6	31 産業集積に関する検討(重点プロジェクト)	食料品製造業集積支援機能の検討(試験研究機能強化等に関する検討)	
4-7	31 産業集積に関する検討(重点プロジェクト)	食料品関連産業、機械金属関連産業、環境・リサイクル関連業種の集積に関する検討	
4-8	35 産業立地環境の整備(重点プロジェクト)	産業立地環境の整備(産業用地の確保に関する検討)	
4-9	29 産業集積誘導のための交流連携	産業集積誘導のための交流連携事業の実施	
4-10	30 工業用公共料金に係る負担軽減の検討	工業用公共料金に係る負担軽減の検討(周辺自治体や道内自治体の制度を参考に検討)	
4-11	32 道央圏、道東圏への商圏拡大PR	道央圏、道東圏への商圏拡大やPRの取組みに対する支援	
4-12	36 食料品製造業集積支援機能の検討	食料品製造業集積支援機能の検討(技術者の養成や資格取得を支援する仕組みの検討)	

4-1

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	企業立地法に基づく、立地企業の固定資産税減免制度の実施		
①事業概要	企業立地法に基づき制定した基本計画に規定する製造業や卸売業等の企業が新設や増設する場合に、新たに投資した土地、建物、設備機械等の固定資産税を3年間免除する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	帯広市への立地企業増加を目指し、企業立地促進法に基づく支援策を導入した。		
③事業の到達状況	制度の改正についてPRをした結果、平成22年度に課税免除企業が4社となった。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	課税免除制度をはじめ、市の補助制度等をPRし、企業誘致や新たな設備投資を促進する。		

4-2

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	企業立地促進条例の見直し		
①事業概要	正社員雇用の場合の補助金額の増額や、低炭素社会促進加算や工場見学施設加算など、企業立地促進条例を拡充する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	100,606千円	
	平成22年度決算	14,487千円	
	平成23年度予算	43,061千円	
②事業の目的・成果	帯広市への立地企業の増加を目指し、平成21年度に帯広市企業立地促進条例を改正した。		
③事業の到達状況	条例改正に基づく支援策のPRに取り組んだ結果、平成21年度2件、平成22年度5件が対象となった。今後についても支援制度をPRをし、企業誘致や設備投資を促進する。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	企業立地補助金のほか、西20条北工業団地の販売促進のため工業団地立地奨励金について、平成23年度、24年度に限り補助対象に土地も加え、補助率を4%から8%に増加するなど拡充を図っている。固定資産税の免除制度などと合わせ、PRを図る。		

4-3

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	企業立地促進法に基づく支援策の有効活用、支援制度のPR、企業誘致活動の推進		
①事業概要	帯広十勝地域産業活性化協議会により、十勝地域への企業誘致PRを促進するため、東京での企業誘致フェアへの出展等を実施。		
②事業主体	帯広十勝地域産業活性化協議会		
※市が支出している金額	平成21年度決算	559千円	
	平成22年度決算	558千円	
	平成23年度予算	559千円	
②事業の目的・成果	企業誘致を広域で進めるため、企業立地促進法に基づき1市6町で設置した協議会が一丸となって、支援策等をPRし、十勝への企業の立地を図る。		
③事業の到達状況	協議会の企業誘致活動としては、現時点で成果は上がっていない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	十勝の残る12町村で構成するとかち田園地域活性化協議会とともに、十勝一体となったPRを促進することで、各自治体が個別に行うよりも効果的に「十勝」をPRできることから、今後も活動を継続する。		

4-4

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	共同利用施設の必要性調査、検討		
①事業概要	未着手		
②事業主体	帯広市 他		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	自然エネルギー利用施設等、コスト負担が大きい設備については、地元企業が共同で利用できる施設整備手法について検討する。		
③事業の到達状況	未着手		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	共同利用施設の内容や設置場所、財源等、課題が多い中で、企業ヒアリング等を通じ、必要性について調査を進める。		

4-5

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	とちぎ応援団のネットワーク化		
①事業概要	平成22年度に関西帯広会、東京帯広会への帯広市の産業情報の提供等を実施したほか、平成23年度はフードバレーとちぎサポーターズが組織された。		
②事業主体	帯広市 他		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	帯広・十勝の出身者や帯広・十勝に居住経験のある人など、帯広、十勝にゆかりのある人をネットワークすることにより、関係機関と協力し企業誘致など地域の活性化に向けた取組を推進する。		
③事業の到達状況	「フードバレーとちぎ」を応援しようとしてくれる企業等の有志により「フードバレーとちぎサポーターズ」が結成されるなど、帯広十勝に注目が集まってきている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	十勝、帯広にゆかりのある人のネットワーク化、及びそのネットワークを活用した企業誘致等について、さらに手法等を検討する。		

4-6

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑮産業基盤の強化	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	31 産業集積に関する検討(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	食料品製造業集積支援機能の検討(試験研究機能強化等に関する検討)		
①事業概要	十勝圏地域食品加工技術センターに平成22年度、新たな機器の整備や、地域プロジェクト等を活用した帯広畜産大学における検査ラボなどの整備などが進められている。		
②事業主体	帯広市、とち財団		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	大学や試験研究機関などが持つ「知の機能」を有効に活用し、時代に即したハード、ソフト面からの新たな産業支援機能整備について検討する。		
③事業の到達状況	農産物等の地域資源を積極的に活用することで更なる集積が期待できる業種であることから、集積に必要な環境整備として、小麦粉の加工関連の施設が十勝圏地域食品加工技術センターについて整備されたほか、地域イノベーション戦略支援プログラム(都市エリア型)で実施してきた事業の成果として、より安全、安心な食に対してお墨付きを与える検査ラボの整備が進められているが、まだこれを活用した企業の立地はない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	「フードバレーとち財団」を推進する中で、試験研究機関のこうした機能をPRしながら企業誘致を促進する。		

4-7

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑮産業基盤の強化	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	31 産業集積に関する検討(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	食料品関連産業、機械金属関連産業、環境・リサイクル関連業種の集積に関する検討		
①事業概要	帯広市企業立地促進条例の改正により、低炭素社会推進加算などの創設や、固定資産税免除等により支援制度を拡充。さらに西20条北工業団地の奨励金制度を改正し集積を図っている。		
②事業主体	帯広市 他		
※市が支出する金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	地域特性や強みを生かした産業をより一層集積していくため、食料品関連産業や機械・金属関連産業、環境・リサイクル関連産業などの集積に必要な支援などについて検討し、これら関連業種の集積を図ることを目的としており、立地企業数はH21～H23. 10月現在で、条例、奨励金対象企業数は9社となっている。		
③事業の到達状況	円高や設備投資意欲の減退もあり、思い通りの立地には至っていない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	「フードバレーとかち」の推進をはじめ、帯広十勝の優位性などをPRすることと、企業立地補助金や固定資産税免除、工場立地奨励金等の支援制度をPRしながら、企業立地の促進に努める。		

4-8

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	35 産業立地環境の整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	産業立地環境の整備(産業用地の確保に関する検討)		
①事業概要	環境をキーワードとした用地造成手法の先進事例の調査を平成22年度実施		
②事業主体	帯広市 他		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	企業立地環境の整備や産業用地の確保について検討を進める。		
③事業の到達状況	手法についての参考事例の調査にとどまっており、新たな用地確保のめどは立っていない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	西20条北工業団地については、1万㎡を超えるような大規模用地がないことから、新たな工業用地の確保について、庁内関係部と連携を進めながらさらに検討を行う。		

4-9

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑮産業基盤の強化	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	29 産業集積誘導のための交流連携		
ビジョン掲載事業	産業集積誘導のための交流連携事業の実施		
①事業概要	大手企業と中小企業の情報交換会的な会合を開催する方向で検討中(実施時期未定)		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	食料品関連産業や機械・金属関連産業、環境・リサイクル産業などの集積が進みつつあることから、これら関連産業の集積を誘導するため、大手企業と中小企業の交流や連携を促進する。		
③事業の到達状況	未実施		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	誘致企業と地場企業の交流を行うことで、企業誘致につながる効果的な手法を検討する		

4-10

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑮産業基盤の強化	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	30 工業用公共料金に係る負担軽減の検討		
ビジョン掲載事業	工業用公共料金に係る負担軽減の検討(周辺自治体や道内自治体の制度を参考に検討)		
①事業概要	水道をはじめ工業用公共料金の負担軽減について、周辺自治体や道内自治体等の制度を参考に検討する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	水道等、工業用公共料金の負担を軽減することで、水を大量に消費する食料品製造業等の負担軽減、生産性の向上につなげ、食産業を中心とした企業の集積を図る。		
③事業の到達状況	現在、上下水道料金が使えば使うほど高くなる逓増制をとっていることから、そうした実態の解消が可能かどうか上下水道部から状況を聴取。水道料金については、料金表の見直しが施行済みであり、公平な負担の観点からは特定の業種の優遇は現状難しいとの見解を得ている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	水道料金自体の見直しは現段階で困難な状況であることから、独自の補助制度等による支援策の実施が可能かどうか研究中。		

4-11

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑩交通ネットワークの活用	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	32 道央圏、道東圏への商圈拡大PR		
ビジョン掲載事業	道央圏、道東圏への商圈拡大やPRの取組みに対する支援		
①事業概要	平成23年10月29日に北海道横断自動車道の道央圏-十勝圏間が全線開通し、交通ネットワークが改善したことから、道央圏はもとより道東圏に、帯広・十勝の魅力を発信し商圈を拡大する取組みについて支援する。		
②事業主体	帯広物産協会、とかちの魅力発信プロジェクト推進協議会		
※市が支出している金額	平成21年度決算	15,344千円	
	平成22年度決算	17,234千円	
	平成23年度予算	17,234千円	
②事業の目的・成果	北海道横断自動車道の開通による交通ネットワークの改善を活かし、道央圏、道東圏に帯広・十勝の魅力を発信し、商圈を拡大する。		
③事業の到達状況	道央圏、道東圏で開催された食のイベントにオール十勝で出展し、十勝の食の魅力をPRした。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	道央圏、道東圏における食のイベントの開催 道央圏、道東圏での物産展やバイヤーとの商談会の実施		

4-12

事業シート(概要説明書)			
担当課名	工業労政課	担当者名	毛利
施策の基本方向	4産業基盤の強化		
基本施策	⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	36 食料品製造業集積支援機能の検討		
ビジョン掲載事業	食料品製造業集積支援機能の検討(技術者の養成や資格取得を支援する仕組みの検討)		
①事業概要	十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業の実施により、資格取得には至らないものの、食料品製造業に関係する人材を養成するといった観点による取組みを実施しているほか、帯広高等技術専門学院等との意見交換を行っている。		
②事業主体	帯広市、帯広畜産大学		
※市が支出する金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	地域の職業高校や大学、専門学校、技術技能育成機関などと連携して、食肉等の食料品製造業を支える技術者養成や資格取得を支援する仕組みについて検討し、関連業種の立地を促進する。		
③事業の到達状況	帯広高等技術専門学院において、食肉の技術者養成学科等の可能性について意見交換をしたが、実現にはいたっていない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	市内の人材養成機関、関係機関との連携を深め、様々な角度からその可能性について引き続き研究する。		

事業シート評価表

(委員名:)

5. 集客交流産業の振興			
	展開事業	ビジョン掲載事業	委員評価
5-1	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)	飲食店みどり提灯推進のためのネットワーク化と地産地消の推進・PR	
5-2	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)	産業観光推進会議の設立・モデルルート検討	
5-3	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)	とちかちグルメ市の開催	
5-4	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)	街めぐりチケットの発行	
5-5	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)	ふるさと宅配便事業	
5-6	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)	アンテナショップの拡充	
5-7	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)	帯広版ミシュランガイドの発行	
5-8	38 総合観光情報提供(重点プロジェクト)	総合観光情報サイトの構築	
5-9	39 観光客誘致、ロケ誘致推進(重点プロジェクト)	観光プロモーション及び国内線・国際チャーター便の利用促進キャラバンの実施	
5-10	39 観光客誘致、ロケ誘致推進(重点プロジェクト)	フィルムコミッション支援・ロケ地観光PR事業の実施	
5-11	42 幸福魅力づくり整備(重点プロジェクト)	魅力づくり整備促進(ハード・ソフト)	
5-12	42 幸福魅力づくり整備(重点プロジェクト)	景観と食のスポット起業化・立地誘導	
5-13	40 移住促進・移住体験	プチ留学体験プログラム事業	
5-14	41 観光「人財」育成	観光プロデュース人材の養成	
5-15	41 観光「人財」育成	シティガイド・ボランティアガイド育成事業・仕組みづくり	
5-16	43 まちの魅力再発見	まちの魅力再発見事業の実施	
5-17	44 コンベンション誘致HQの設置	コンベンション誘致推進体制の強化	
5-18	44 コンベンション誘致HQの設置	コンベンションセンター機能の調査検討	
5-19	45 観光インフォメーション機能の充実	観光インフォメーション機能の充実	
5-20	46 環境・景観づくり	花でようこそ環境・景観整備事業	
5-21	47 シーニックバイウェイ推進	環境美化運動・幹線道路花植事業・お勧め観光スポットの情報発信	
5-22	48 海外旅行者の受入れ歓迎体制の充実	旅行者へのアナウンス、外国語案内標記の充実	
5-23の1	49 チャーター便の拡充と国際化の検討	チャーター便の拡充と情報収集	
5-23の2	49 チャーター便の拡充と国際化の検討	国際化の検討	
5-24の1	50 空港利用促進	東京線新規就航準備	
5-24の2	50 空港利用促進	施設整備	
5-25	50 空港利用促進	航空路線の充実	

5-1

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	飲食店みどり提灯推進のためのネットワーク化と地産地消の推進・PR		
①事業概要	旬の地場食材で料理を提供する飲食店のネットワーク化による地産地消に取り組む。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	地場食材を提供する飲食店を増加させ、食観光に結びつけるとともに地産地消を推進する。		
③事業の到達状況	地場食材を提供する飲食店のネットワーク化に至っていない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	地場食材を提供する飲食店のネットワーク構築に向け飲食店経営者による情報交換を実施する。		

5-2

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	産業観光推進会議の設立・モデルルート検討		
①事業概要	特徴的な農作業や食品加工現場の視察、体験、試食を通じた産業と観光を結びつけたモデルルートづくりに取り組む。		
②事業主体	十勝観光連盟		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算	10,437千円(緊急雇用創出事業)	
②事業の目的・成果	農作業や食品加工現場の視察、体験、試食などを組み入れた滞在型観光モデルルートの造成		
③事業の到達状況	今年度、農作業や工場視察などの体験観光ルートの造成を実施している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	農作業や食品加工現場の視察、体験が可能な箇所調査、発掘		

5-3

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	とかちグルメ市の開催		
①事業概要	食のメッセにつながる食と物産の新たなイベントの実施		
②事業主体	とかちの魅力発信プロジェクト推進協議会		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	オール十勝の食と物産を集めたイベントを開催し、管内外に十勝の食をPRする。		
③事業の到達状況	平成22年度にオール十勝の食のイベントを開催。平成23年度も帯広競馬場で実施予定		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	道東道が開通したことから道央からの観光客誘致につなげていく。		

5-4

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑱集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	街めぐりチケットの発行		
①事業概要	花、菓子のほか、飲食、温泉、体験などの要素も取り入れた街めぐりチケットの発行		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	十勝の観光施設を割安に利用できるとともに、知名度の低い観光施設への誘導効果や滞在型の周遊観光を推進できる。		
③事業の到達状況	民間団体、観光協会などで、ガーデンやスイーツ、温泉などの種類ごとのチケットが発行されている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	各種チケットの統合に向けた検討		

5-5

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	ふるさと宅配便事業		
①事業概要	十勝で採れる旬の農畜産物や加工品などを宅配便で注文できる仕組みづくり		
②事業主体	帯広物産協会		
※市が支出している金額	平成21年度決算	300千円	
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	十勝の旬の農畜産物や加工品を取り寄せる仕組みをつくることにより、十勝の農畜産物の流通を促進する。		
③事業の到達状況	帯広物産協会のHPである十勝市場から十勝の農畜産物などを発送している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	十勝市場の利用増に向けた周知		

5-6

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	アンテナショップの拡充		
①事業概要	十勝の旬の農畜産物や加工品を販売するアンテナショップの拡充		
②事業主体	帯広市、帯広物産協会		
※市が支出している金額	平成21年度決算	14, 144千円	
	平成22年度決算	16, 034千円	
	平成23年度予算	16, 034千円	
②事業の目的・成果	十勝の旬の農畜産物や加工品を取り扱うアンテナショップを拡充し、十勝の農畜産物の流通を促進する。		
③事業の到達状況	現在、JR帯広駅にとち物産センターを開設しているが、道央圏や首都圏へのアンテナショップの拡充には至っていない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	北海道のアンテナショップの利活用の検討		

5-7

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	帯広版ミシュランガイドの発行		
①事業概要	民間を主体とした(仮称)「帯広版ミシュランガイド」の発行		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	十勝の食観光を推進するため話題性のある飲食ガイドを発行することで観光客誘致を推進する。		
③事業の到達状況	帯広観光コンベンション協会と連携して飲食ガイドブックや豚井マップを発行しているが、帯広版ミシュランガイドの発行には至っていない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	話題性のある飲食ガイドの内容の検討		

5-8

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	38 総合観光情報提供(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	総合観光情報サイトの構築		
①事業概要	行政や観光協会だけでなく、民間主体の情報サイトを取り入れた総合的な観光情報サイトを構築する。		
②事業主体	帯広観光コンベンション協会		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	行政だけでなく観光施設など民間の情報サイトを取り入れることにより、十勝の魅力を調べやすくなり、観光客の増加につながる。		
③事業の到達状況	帯広観光コンベンション協会のホームページの充実により、アクセス数が向上し、一定の効果が図られている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	更なる民間の情報サイトとのリンクによる内容の充実		

5-9

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	39 観光客誘致、ロケ誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	観光プロモーション及び国内線・国際チャーター便の利用促進キャラバンの実施		
①事業概要	道央圏や首都圏、東アジア地域など海外を含めた国内外での官民一体となった誘致宣伝活動や誘客を促進する取り組みを強化する。		
②事業主体	帯広市、とかちの魅力発信プロジェクト推進協議会		
※市が支出している金額	平成21年度決算	3,611千円	
	平成22年度決算	8,611千円	
	平成23年度予算	6,411千円	
②事業の目的・成果	道内、首都圏、東アジア地域への誘致宣伝活動を実施することで観光客誘致を促進する。		
③事業の到達状況	平成22年度から道東道の開通に向けた道央圏でのプロモーションや中国観光プロモーションを実施したほか、官民挙げて台湾プロモーションを実施するなど国内外に十勝の魅力を発信している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	道東道の開通後のPRとして道央圏でのプロモーションを継続する。国際チャーター便の誘致に向け、東アジアへのプロモーションを継続する。		

5-10

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	39 観光客誘致、ロケ誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	フィルムコミッション支援・ロケ地観光PR事業の実施		
①事業概要	映画、テレビ、CMなどのロケーション撮影を誘致し、ロケ地観光を推進する。		
②事業主体	帯広市、とがちフィルムコミッション連絡協議会		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	映画、テレビ、CMなどのロケーション撮影を誘致することで十勝・帯広の知名度の向上及び観光地をPRし、観光客の増加を図る。		
③事業の到達状況	映画、テレビ、CMなどの撮影時にエキストラの募集や許認可手続きなどの協力を行っている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	映画やテレビの撮影場所をまとめたパンフレットの作成		

5-11

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	42 幸福魅力づくり整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	魅力づくり整備促進(ハード・ソフト)		
①事業概要	ばんえい競馬を主体とした市内の観光施設を活かし、恋人の聖地となった幸福駅周辺に飲食、農畜産物、土産物品販売などの魅力的な観光拠点施設を整備する。		
②事業主体	帯広市、(株)SPCとかちむら		
※市が支出している金額	平成21年度決算	2,494千円	
	平成22年度決算	38,840千円	
	平成23年度予算	38,937千円	
②事業の目的・成果	恋人の聖地である幸福駅に食の魅力を加えることにより複合的な観光拠点施設を整備し、観光客の誘致を図る。		
③事業の到達状況	幸福駅周辺の整備は、所有者である地域との整備方針の検討中である。なお、観光交流拠点施設としては、平成22年8月に帯広競馬場にオープンしたとかちむらの整備を支援したところである。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	幸福駅の複合的な整備に向け、地域との協議を進めていく。		

5-12

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	42 幸福魅力づくり整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	景観と食のスポット起業化・立地誘導		
①事業概要	景観と食を満喫できる場所づくりとして、ファームレストランや農村カフェなどの起業化を誘導する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	ファームレストランなどの起業化を誘導することで十勝の最大の魅力である景観と食を売り込み観光客の誘致を図る。		
③事業の到達状況	ファームレストランや農村カフェにメディアや旅行エージェントに訪問してもらい、雑誌への掲載や観光客の誘致を推進することにより、新たな起業化の誘導施策を図っている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	ファームレストランや農村カフェの紹介冊子の発行によるPR		

5-13

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	40 移住促進・移住体験		
ビジョン掲載事業	プチ留学体験プログラム事業		
①事業概要	ライフスタイル型の体験事業を通じ、滞在期間中に各種資格を取得したり、生涯の趣味を見出していける「プチ留学体験プログラム」を開発提供するとともに、長期滞在にお得な宿泊施設の斡旋、紹介をする。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	プチ留学体験プログラムの開発、安価で長期滞在可能な宿泊施設の斡旋により、移住体験者を増加させ、最終的には移住者の増加を図る。		
③事業の到達状況	安価で長期滞在可能な宿泊施設の斡旋を行っている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	宿泊施設の調査やプチ留学体験プログラムの検討		

5-14

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	41 観光「人財」育成		
ビジョン掲載事業	観光プロデュース人材の養成		
①事業概要	観光振興の地域プロデュース推進組織として、帯広観光コンベンション協会や十勝観光連盟の組織機能や人材育成の強化を図る。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	59,836千円	
	平成22年度決算	62,736千円	
	平成23年度予算	56,836千円	
②事業の目的・成果	帯広観光コンベンション協会及び十勝観光連盟の組織機能や人材育成の強化を図ることで、地域の観光振興を担える人材を養成する。		
③事業の到達状況	帯広観光コンベンション協会や十勝観光連盟と連携して職員研修を実施し、観光振興の担い手を養成している。また、平成22年度からは緊急雇用創出事業を活用し、地域観光の担い手の育成、発掘も行っている。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	人材育成のためのカリキュラムの構築		

5-15

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	41 観光「人財」育成		
ビジョン掲載事業	シティガイド・ボランティアガイド育成事業・仕組みづくり		
①事業概要	ご当地検定資格を有するホテルやタクシー従業員や観光ボランティアガイドの育成を図り、観光客に利用してもらえる仕組みづくりを進める。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	ご当地検定資格を所持者や観光ボランティアガイドの育成を図り、地域のホスピタリティを向上させ、リピーターの増加を図る。		
③事業の到達状況	未着手		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	観光ボランティアガイドの活用・周知方法の検討		

5-16

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑱拠点づくりの推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	43 まちの魅力再発見		
ビジョン掲載事業	まちの魅力再発見事業の実施		
①事業概要	市民や観光事業者を対象とした観光資源の探訪会などにより、まちの魅力再発見事業を実施する。		
②事業主体	とかちの魅力発信プロジェクト推進協議会		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	地域住民が十勝の魅力を検証、再発見することにより、観光客に対し、地域の魅力を具体的に伝えることが可能となる。		
③事業の到達状況	同協議会により地域の観光の魅力の検証、再発見事業を行い、観光事業者向けのガイドブックを作成、配布することで地域の魅力の再発見事業を実施した。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	地域の魅力の再発見に努め、広く周知していく。		

5-17

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑱拠点づくりの推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	44 コンベンション誘致HQの設置		
ビジョン掲載事業	コンベンション誘致推進体制の強化		
①事業概要	コンベンション誘致に向けて観光関連団体を含めた情報収集と誘致推進体制の強化を図る。		
②事業主体	帯広市、帯広観光コンベンション協会		
※市が支出している金額	平成21年度決算	3,300千円	
	平成22年度決算	3,300千円	
	平成23年度予算	3,300千円	
②事業の目的・成果	コンベンション誘致により集客型交流産業の活性化に効果が見込まれる。		
③事業の到達状況	帯広観光コンベンション協会内に「交流人口を増やす会」が設置され、コンベンション誘致に向けた取り組みを協議している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	コンベンション主催者に対する優遇措置の検討		

5-18

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑱拠点づくりの推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	44 コンベンション誘致HQの設置		
ビジョン掲載事業	コンベンションセンター機能の調査検討		
①事業概要	都市規模にあった屋内コンベンションセンターの在り方について、民間の役割分担も含めコンベンション機能を検討する。		
②事業主体	帯広市、帯広観光コンベンション協会		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	コンベンションセンター機能の設置により、戦略的なコンベンション誘致が図ることができる。		
③事業の到達状況	未着手		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	他都市のコンベンションセンター機能の調査		

5-19

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	①9拠点づくりの推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	45 観光インフォメーション機能の充実		
ビジョン掲載事業	観光インフォメーション機能の充実		
①事業概要	交通結節点である駅や空港の観光案内所や観光案内板による観光インフォメーション機能を充実する。		
②事業主体	帯広市、帯広観光コンベンション協会、十勝観光連盟		
※市が支出している金額	平成21年度決算	24,575千円	
	平成22年度決算	24,163千円	
	平成23年度予算	24,656千円	
②事業の目的・成果	駅や空港の観光案内所や観光案内板によるインフォメーションにより地域のホスピタリティを向上させ、リピーターの増加を図る。		
③事業の到達状況	帯広駅ととちかち帯広空港の観光案内所に加え、帯広競馬場内の馬の資料館に観光案内所を整備した。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	観光案内人及び観光施設従事者の観光知識の向上を図る。		

5-20

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	①9拠点づくりの推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	46 環境・景観づくり		
ビジョン掲載事業	花でようこそ環境・景観整備事業		
①事業概要	市民や企業、町内会などの市民団体との協働により、幹線道路に花を植える事業などの景観に配慮した取り組みを実施する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	700千円	
	平成22年度決算	700千円	
	平成23年度予算	700千円	
②事業の目的・成果	幹線道路に花を植栽することで地域を挙げて観光客等を歓迎し、十勝への印象を向上させリピーターの増加を図る。		
③事業の到達状況	とちち帯広空港からの幹線道路に花を植栽している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	道東道インターチェンジからの幹線道路への事業拡充を検討する。		

5-21

事業シート(概要説明書)			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑳ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	47 シーニックバイウェイ推進		
ビジョン掲載事業	環境美化運動・幹線道路花植事業・お勧め観光スポットの情報発信		
①事業概要	シーニックバイウェイの取り組みの一環として、幹線ルートとなる沿線の四季折々のお勧め観光スポットに関する情報提供の発信を強化する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算	40千円	
	平成23年度予算	40千円	
②事業の目的・成果	シーニックバイウェイのルートマップなど情報発信事業への支援を実施し、観光客の誘致を図る。		
③事業の到達状況	シーニックバイウェイイトカプチ雄大空間が公認ルートとなり、ルートマップの作成などの情報発信事業を支援している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	十勝にはシーニックバイウェイが3ルートあることから効率的な情報発信事業の検討		

5-22

事業シート(概要説明書)			
担当課名	空港事務所	担当者名	伊藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	㊸ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	㊹
(番号)展開事業	48 海外旅行客の受入れ歓迎体制の充実		
ビジョン掲載事業	旅行者へのアナウンス、外国語案内標記の充実		
①事業概要	海外旅行客に対して通訳を配置するとともに、案内標識等に外国語標記を加えることにより空港を利用する外国人の利便性向上を図る。		
②事業主体	とかち帯広空港利用促進協議会・帯広空港ターミナルビル(株)		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	国際チャーター便などの就航に対応し、海外旅行者の利便性を向上させることにより、海外からの観光客の増加を図る。		
③事業の到達状況	海外からのチャーター便に際して通訳を配置し、出入国の手続きが円滑に行われるようにしている。空港ターミナルビル内の標記については、一定の標記を実施している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	今後も空港ターミナルビル内の標記を充実させるとともに、国際チャーター便だけではなく、空港を利用する海外旅行客の受け入れ体制の充実を進めていく。		

5-23の1

事業シート(概要説明書)			
担当課名	空港事務所	担当者名	伊藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	㊟ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	49 チャーター便の拡充と国際化の検討		
ビジョン掲載事業	チャーター便の拡充と情報収集		
①事業概要	十勝の魅力を台湾や中国などアジア諸国にPRし、国際チャーター便の就航促進を図るとともに、受け入れ体制の整備を進める。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	1,076千円	
	平成22年度決算	1,190千円	
	平成23年度予算	1,063千円	
②事業の目的・成果	十勝に海外からの観光客を誘致するため、国際チャーター便の拡充を推進するための情報収集を行い、就航促進を図る。		
③事業の到達状況	海外航空会社の日本支店等に情報収集を行いながら就航を要請するとともに、中国や台湾などにトップセールスによるプロモーションを実施し、チャーター便の拡充を進めている。 とちち帯広空港のホームページの英語バージョンを作成し、情報発信を充実させる。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	今後も積極的なプロモーション活動や情報収集を実施し、チャーター便の拡充を図る。		

5-23の2

事業シート(概要説明書)			
担当課名	空港事務所	担当者名	中寺
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑳ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	49 チャーター便の拡充と国際化の検討		
ビジョン掲載事業	国際化の検討		
①事業概要	国際チャーター便の誘致を進め、地域経済を活性化させるために国際化に対応した空港のあり方を検討する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出する金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	将来のとかち帯広空港の国際化に向けて検討を行う。		
③事業の到達状況	海外航空会社や海外観光客の動向を見据えながら、とかち帯広空港としての国際化をハード・ソフトの両面で検討している。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	海外観光客を増加させるための施策と連携しながら、とかち帯広空港にとってベストな検討を進めるが、海外の動向に柔軟に対応する必要がある。		

5-24の1

事業シート(概要説明書)			
担当課名	空港事務所	担当者名	中寺
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	㊸ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	50 空港利用促進		
ビジョン掲載事業	東京線新規就航準備		
①事業概要	ダブルトラッキング化を実現するため、航空会社への支援策として着陸料の軽減幅を拡大し、積極的な利用促進活動を実施する。また、新規就航する航空会社の除雪機材等購入の補助も行う。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算	49,762千円	
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	航空会社に対して各種支援策を実施し、東京線のダブルトラッキング化を実現することを目的とする。		
③事業の到達状況	平成23年3月27日に北海道国際空港が新規に就航したことにより当初の目的は達成された。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	ダブルトラッキングを維持し、利便性を確保するために今後も継続して利用促進活動等を展開していく必要がある。		

5-24の2

事業シート(概要説明書)			
担当課名	空港事務所	担当者名	国枝
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	㊟ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	㊟
(番号)展開事業	50 空港利用促進		
ビジョン掲載事業	施設整備		
①事業概要	航空機の安全な運航を確保するために、滑走路や照明施設の改良や更新、補修等を実施する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算	69,500千円	
	平成23年度予算		
②事業の目的・成果	老朽化した施設の更新や修補等を適切に実施し、航空機の安全運航を確保することを目的とする。		
③事業の到達状況	現在、整備に向けて検討中である。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	市の財政状況等を考慮し、可能な限り施設の延命化を図る視点で計画を見直す必要がある。		

5-25

事業シート(概要説明書)			
担当課名	空港事務所	担当者名	中寺
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	㊸ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	50 空港利用促進		
ビジョン掲載事業	航空路線の充実		
①事業概要	現在のとちぎ帯広空港の路線は東京線のみとなっていることから、可能性のあるあらゆる航空会社へ関西及び名古屋への路線復活に向けた要請活動や情報収集を実施する。		
②事業主体	帯広市		
※市が支出している金額	平成21年度決算	203千円	
	平成22年度決算	265千円	
	平成23年度予算	846千円	
②事業の目的・成果	関西線、名古屋線を復活させるなど路線の充実を図り、利用者の利便性を向上させることを目的とする。		
③事業の到達状況	平成21年に関西線、翌22年に名古屋線が運休になっているが、現在のところ路線復活には至っていない。		
④事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点	継続して航空会社へ要請活動を実施していく。		